

クラシックカー・イベント

『みちのく
ラリー』
への道



Miyabi

[1] 「夢と憧れ」

ブォォォォォォォォォォォォ〜ン!!!!

澄み切った青い空に、青い山々…。

まるで、どこまでもどこまでも駆け上がっていけるかの様に…、

空に向かって、ひたすら切り開かれた山岳コース…。

グボボッ、グボボッ!!!!

辺りに、キャブレターの荒っぽい息遣いを響かせながら…、

力強く登ってくる、懐かしいクルマたち…、

見えてきたのは、もう街中では滅多にお目に掛かれない勇姿…、

それは、クラシックカー…!!

「来たぞーッ!!」

ブォォォォォォォォォォォォ〜ン!!!!

バラバラバラバラババラバララバラ〜!!!!

緑の草花が生える沿道から、手を振って応援する地元の人々…。

「頑張ってーッ!!」

「がんばれー!!」

「ガンバレヨ～!!」

「ワーワーワー!!!!!!!」

ウオオオオオオオオオ～オオオオン!!!!

ヴィィィィィィィィーンンンンン!!!!

風のように去っていった後、彼らが残していったのは…、

山々にこだまする、エキゾーストノートと…、

旧車特有の、排ガスの残り香…。

レトロなクルマが趣味の者にとって、やはり憧れるのはクラシックカーのラリーです…。

博物館に飾るような貴重なクルマを、公道で思いっきり走らせられたら…?

仲間と共に、楽しみながら長距離のコースを競い合えたら…?

それは贅沢な夢ですよ…?

日本で唯一、国際的に認められているのが…、

タレントの堺正章さんや近藤正彦さんら、著名人が出場することで知られている…、

『ラ・フェスタ・ミッレミリア』ですが…、

あまりにも敷居が高過ぎて、私にはチョット…。

でも、一応ですが…、

古いクルマを所有している私には…、

あの、沿道の人々の声援を浴びながら愛車を長距離走らせるシーンなんて…、

本当に憧れてしまいます…。

例え一度でも良いから、そんな夢が実現できたなら…？

それが近年…、

我が東北にも、そんなイベントが立ち上がったのです…!!

今から遡ること4年前(平成19年)、岩手県の雄志が...

東北地区で初の、宿泊型のクラシックカーのラリー・イベントを企画したのです...

それが、『ツール・ド・みちのく』です...!!

その知らせは、私たち宮城県のクルマ好き仲間にも届きましたが...

残念ながら、私は諸事情により申し込みませんでした...

「いつか出てみたい...!」

私の...

『みちのくラリー』参加への道は、こうして始まったのです...!

▼昨年の、『ラ・フェスタ・ミレミリア2010』の様子です。

場所は宮城県白石市で、蔵王の険しい山岳地帯を駆け上がる参加車両たち。

1920年代から1950年代という博物館から出てきたような世界の名車が、思いっきりヒルクライムする迫力のシーンは、私の胸に強く刻み込まれました。



[2] 「『ツール・ド・みちのく』とは」

「いや～、第1回の『ツール・ド・みちのく』良かったぞ～。
いや～、行く先々で地元の人が手を振って応援してくれるのさ～。
いや～、Miyabi君も来年は是非とも出てみなさい～」

と言って....

ある日の飲み会に顔を出した私に、ビール片手で力説する赤ら顔の男性...

最初に、『ツール・ド・みちのく』の出場を勧めてくれたのは....

石巻市でお世話になった、クルマ愛好会のA会長でした...

『ツール・ド・みちのく』 ...!

『ツール・ド・みちのく』 ...!

当たり前ですが、みちのくプロレスとは関係ありません...(笑)。

今から4年前、東北地区で初のクラシックカーのラリーが開催されました...

それが、『ツール・ド・みちのく』なのです....

第1回は、盛岡を出発して1泊2日かけて....

八戸から三陸沿岸を回って帰ってくる、約400Kmのコースだったようです....

『ラ・フェスタ・ミッレミア』の様な敷居の高いイベントと違い…、

クイズを解きながら、楽しく走れるのが特徴だったのです…。

当初は参加者も予定を下回ったようですが、天候にも恵まれ成功裏に終了…。

東北の新聞やTVでも採り上げられ、注目度もますますだった様です…。

翌年(第2回)も…、

また次の年(第3回)も…、

『ツール・ド・みちのく』は、開催されましたが…、

エントリーが可能な、クラシックカーを所有しているのに…、

憧れのラリー・イベントなのに…、

私は、出ませんでした…。

その理由は…？

三陸沿岸を一度でも走ったことがある方は、ご存じだと思いますが…、

太平洋のあの退屈な海岸線を、クネクネひたすら走るなんて真っ平ごめんです…。

というのは冗談ですが...(笑)。

他にも色々と事情があって、出場を毎年見送ってしまっていました…。

昨年(第4回目)の『ツール・ド・みちのく』は、コースが大幅に変更になりました…。

盛岡を出て、秋田の男鹿半島への往復となったのです…。

それならば、私も出場してみたいと思いました…。

ところが…、

『ツール・ド・みちのく』の人気は、年々うなぎ登りで…、

関東や東海、関西地区からも希望者が申し込んでくるほどなのです…。

早々とエントリーを締め切って、しかも足切り状態…。

気付いた時、既に遅しでした…。

毎年『ツール・ド・みちのく』が、終わった頃に…、

「無理してでも、出れば良かった…。」

と…、

いつも後悔している、私がいたのです…。

出場を毎年見送ってしまった、その事情とは…？

▼『ツール・ド・みちのく』第1回(平成19年)と、第3回(平成21年)のポスターです。
この2つを見比べると、数年の間に立派なラリー・イベントに成長したことが伺えます。
その裏には、主催者をはじめとする各関係者の苦労があると思います。

第1回 ヒストリックカー ランフェスタ in 岩手 2007

ツール・ド・みちのく

じゃじゃじゃすんげの走ってる。べっこ外見でみるね。
東北創!! 小岩井農場から420kmに及ぶ名車のロングラン。

9/8 9



秋の岩手路を50台のクラシックカーが駆けめぐる。

主催：ツール・ド・みちのく実行委員会 <http://www.tourdemichinoku.com>

特別協賛：小岩井農場まきば園

協賛：募集中

後援：募集中

Suzuki • Takizawa • Hachimantai • Iwate • Ichinohe • Niinohe • Karumai • Hachinohe

1st Historic Car Run Festa in Iwate

Tour de Michinoku 2007

Hachinohe • Hashikami • Hizen • Kuj • Noda • Fudai • Tanohata • Iwaizumi • Miyako • Kawa • Morioka • Suzuki

Tour de Michinoku 2009 3rd Historic Car Run Festa in IWATE

第3回 ヒストリックカー ランフェスタ In 岩手 ~400km 2days rally~ みなさんのお家の前を58台のクラシックカーが走ります。ご声援よろしくお願いたします。

ツール・ド・みちのく 2009

September
9/**SAT** 12・13
SUN

東北唯一のクラシックカーラリー
それはまるで走る
自動車博物館



77年から19年の間、使い続けるエコ。捨てないエコ。エコの原点がここに。



南は大阪、北は青森より懐かしの名車が大集合!!

じゃじゃじゃ、べっこ外見てみる!! すんげの走ってらじゃ、わら見やんる。はらぶらぶらお所はこんなな車っこだったぞ。

予定通過時刻

9/12(土)
9:30~12:30 盛岡市つくり村内車庫前
13:00~盛岡市中央通/県庁前/名浜川町
13:30~岩手県レストハウス
14:00~道の駅 三田貝分校
14:30~岩手町 農業庁
・スペシャルステージ1
(盛岡市第3駐車場)
15:30~岩手町 安楽洞
16:30~道の駅 いわいずみ
17:30~グリーンピア田老

9/13(日)

8:30~グリーンピア田老
9:00~宮古市 国道45号線
9:30~山田町商店街
・スペシャルステージ2
(鮎と海の科学館P)
10:00~大畑町 国道45号線
10:30~磐石市 国道283号線
11:00~遠野市 国道398号線
11:30~遠野市 みるさと村
13:30~大畑町 ワインハウス早池埴
14:00~石鳥谷町
14:30~奥波町・矢巾町
15:00~盛岡市つくり村

沿道でご観覧の皆様へお願い
・危険ですので走行中の車両を制止するなどの行為は決して行わないで下さい。
・道路上へ乗り出している乗客は大家危険ですので決して行わないで下さい。
・見守の方や、お子様が道路上へ飛び出さないようご注意ください。
・旗チランはホイ捨てせず必ずお持ち帰り下さい。

[3] 「故障の心配」

私が所有しているのは…、

『マーコス1600GT』(マーコス2号)という…、

その昔、イギリスで製造されたスポーツカーです…。

実は、日本国内に6~7台有るかどうかという、大変珍しいクルマなのです…。

何故、こんなクルマを持っているのかは、後々詳しく記述いたしますが…、

この様なクラシックカーを…、

現代のクルマの様に日常で扱うことは、少々無理があるのはご承知の通りです…。

時々耳にするのですが…、

長年憧れていた大好きなクルマを手に入れたものの、いざ所有してみると…、

維持管理に苦勞して、乗り続けることに断念…、

あっさり手放してしまった…、

などというケースが、後を絶たないのだとか…。

その一番の原因は…、

やっぱり、故障なのです…。

さて、岩手県を舞台に毎年開催されている、東北唯一のクラシックカー・ラリー…、

『ツール・ド・みちのく』…。

このイベントにエントリー出来るのは、1985年以前に製造された車輛となっております…。

私のマーコス2号は、1968年式なので参加資格は十分有ります…。

しかし問題なのは、かなりのボロだということ…(笑)。

マーコス2号を手に入れた当初は、それはそれは不調のかたまりみたいなコンディションで…、

なかなかエンジン掛からない始動不良…、

異常燃焼による熱害…、

突如発生するミス着火でエンスト…、

セルモーターが嘔んだり…、

等々のエンジントラブルに加えて…、

お約束の電気系統のトラブルで…、

ヒューズが飛んだり…、

ランプが点かなくなったり切れたり…、

バッテリーが直ぐ上がったり…、

燃料メーターがいい加減でガス欠になったり…、

古いクルマに付き物のトラブルが、まあ出るわ出るわ、呆れるほど…。

月に1、2回多賀城市内をクルッと回っておしまいみたいな乗り方しかしてないのに…、

過去の路上エンストは、ざっと20回は数えます…。

こんなアホなマーコス2号ですから…、

ラリー・イベント出場となると、臆病になってつい尻込みしてしまうのです…。

『みちのくラリー』は、仙台から盛岡に向かうだけでかなりの距離ですから…、

ラリーが始まる前に、スタート地点に辿り着けるかどうかさえ危ういものです…(笑)。

ところが…。

「マーコスで、サーキットを全開走行してみろッ!!
ガンガン攻めて、クルマの限界を知っておいた方が良いんだぞッ!!
壊れたら、俺が直してやるからッ!!
負荷を掛けて壊れれば、どこが弱いかハッキリ判るだろッ!!」

と、マーコス2号をサーキットに持ち込むことを、強く勧めてくれたのは…、

いつも熱く語る、「(有)大場モーター」(石巻市)のO社長でした…。

ビクビクして乗るより、思いっきり走らせた方が、やはり気持ちが良いですね…。

そして、どうせ壊れるなら、早く発見した方が良いわけです…。

そう思って、あの頃はSUGOの走行会に足を運びました…。

結果は、ズバリ…。

それからというもの…、

マーコス2号は、不良箇所を1つ1つ潰していくように数々の改造が施されていきました…。

但し、自分で出来る箇所は、なるべく自分自身で直しました…。

プロでないと無理な箇所は、O社長に依頼しました…。

結果的に、何年も何年も掛かってしまいましたが…、

少ない予算で、マーコス2号の戦闘力はUPし…、

同時に、故障の心配も減っていったのです…。

そして何より…、

マーコス2号を自分自身の手で改造していくと、大抵のトラブルに対処出来るようになったのです…。

故障の一つや二つ、もう恐くなんか有りません…!

けれど、『みちのくラリー』に出れない事情はまだ他にも…!?

▼私の愛車、1968年式『マーコス1600GT』(マーコス2号)です。

SUGOのコースで全開走行することで、弱点を浮き彫りにしてそこを強化していったのです。





[4] 「羞恥心」

東北唯一のクラシックカー・ラリー、『ツール・ド・みちのく』出場を…、

私が何年も、ためらっていた2つ目の理由は…。

紳士の国イギリスの、数あるメーカーの中でも…、

マーコス…、

恥ずかしいクルマだからなのです…。

「何だこれ？」

「何て名前のクルマだったっけ？」

「フェラーリのバッタもんか？」

これは一般の方が…、

私の、マーコス1600GT(マーコス2号)を見て…、

よく言うセリフです…。

「これは、ミニマーコスですよね？」

「マーコスって、キットカーなんだよね！」

「確か、木で出来てるんですよ、危なくないですか？」

クルマの詳しい方が見ても、だいたいこんなセリフが飛び交います…。

「ブラジルのクルマでしたよね、初めて見ました！」

これを言われた時は、さすがにゴツンとしました…。

マーコスなんて、まあ、所詮くだらないキットカーですから…。

イギリスの片田舎で生まれた、迷車や珍車の部類に属します…(笑)。

ですから、英国の中でも…、

カーレースの歴史が長い、正統派のジャガーやアストンマーチン…、

それにオースチン、ローバー、MGやトライアンフ、そしてロータスといった名門と比べられると....

それはそれは恥ずかしい、肩身が狭いのです....。

ちなみに、私のマーコス2号は....

どうせキットカーなんだから、と割り切って....

とりとめのない改造を施し続け....

2011年現在の仕様は....

サイドミラー：ピタローニ(イタリア)
ステアリング：モモ(イタリア)
シートベルト：サベルト(イタリア)
各メーター類：ヴァリア(イタリア)
フルトラのアンブ：ルーミネーション(イタリア)
キャブレター：ウェーバー(スペイン)
ワイパーアーム：ポッシュ(ドイツ)
シューズ、グローブ：OMP(イタリア)

ラジエターホース：クールフレックス(アメリカ)
ホースフィッティング：アールズ、モロソ(アメリカ)
イグニッションコイル：MSD(アメリカ)
スターターソレノイド：ブルーストリーク(アメリカ)
エンジンオイル：バーダル(アメリカ)

プラグコード：永井電子(日本)
オルタネーター：三菱(日本)
フェールポンプ：ミツバ(日本)
タイヤ：日本グッドイヤー(日本)
ホイール：RSワタナベ(日本)
マフラー：ワンオフ(日本)

その他：ステッカー類は、イタリアやアメリカのメーカーに関するもの

って、どこの国のクルマなの...?

つまり....

M2号の不良個所を1つ1つ潰していくように年々改造を重ねていった結果....

オリジナルと、かけ離れたものになってしまったのです…。

それから、ボディカラーはフェラーリの塗装「コルサ」という赤色…。

英国車は、やっぱりブリティッシュグリーンだよ、タイヤはダンロップだよ、オイルはBPだよ…

、

などと、ぬかす連中と何となく並べたくないのです…。

かといって、伊車と並べるのはもっと恥ずかしいし…。

とにかく、こんなマーコス2号を見れば…、

誰だって、もっとイギリスのクルマらしくしたら…?

と、指摘されても当然だと思います…。

まあ、人からどう見られようが構うもんか、と開き直っていますけど…。

だから、インド製のクルマ乗りのAmbyさんと気が合う訳です…(笑)。

東北のクラシックカーのオーナー達は、オリジナルに拘って保つ方が多いので…、

私のマーコスが余計に、キワものに見えてしまうのです…。

はあ…。

ところが…?

「マーコスのオーナーさん、気にすること無いよー。

大幅に外見改造したらマズイけど、中身をオリジナル保つのは無理無理ー。

俺だって、要所要所は日本製使ってるよー。

そうだー。

『ラ・フェスタ・ミッレミア』で走ってる戦前のクルマはだなー、

殆ど中身に手を加えてるんだぞ、知ってたかー?

クランクを手回しなんかしないで、セルで始動するんだぜー。」

と、教えてくれたのはイヅミーの仕掛け人、仙台ヒストリックカー&クラシックカー・クラブの

事務局長M氏でした…。

やがて、石巻のクラシックカー・ミーティングや、仙台ヒストリックカー&クラシックカー・ミーティングに…、

私のM2号を展示するようにと勧めてくれたのも、M氏でした…。

その時の私は…、

「マーコスを名車と並べるのは恥ずかしいから、会場の一番端っこにお願いします…。」

…と、参加する条件として、そんな希望を出した程だったのです。

そんな訳ですから…、

東北唯一のクラシックカー・ラリー『ツール・ド・みちのく』出場も…、

羞恥心から、なかなか参加する決心がつきませんでした…。

そして、出場をためらっていた最後の3つ目…、

その最大の理由は…!?

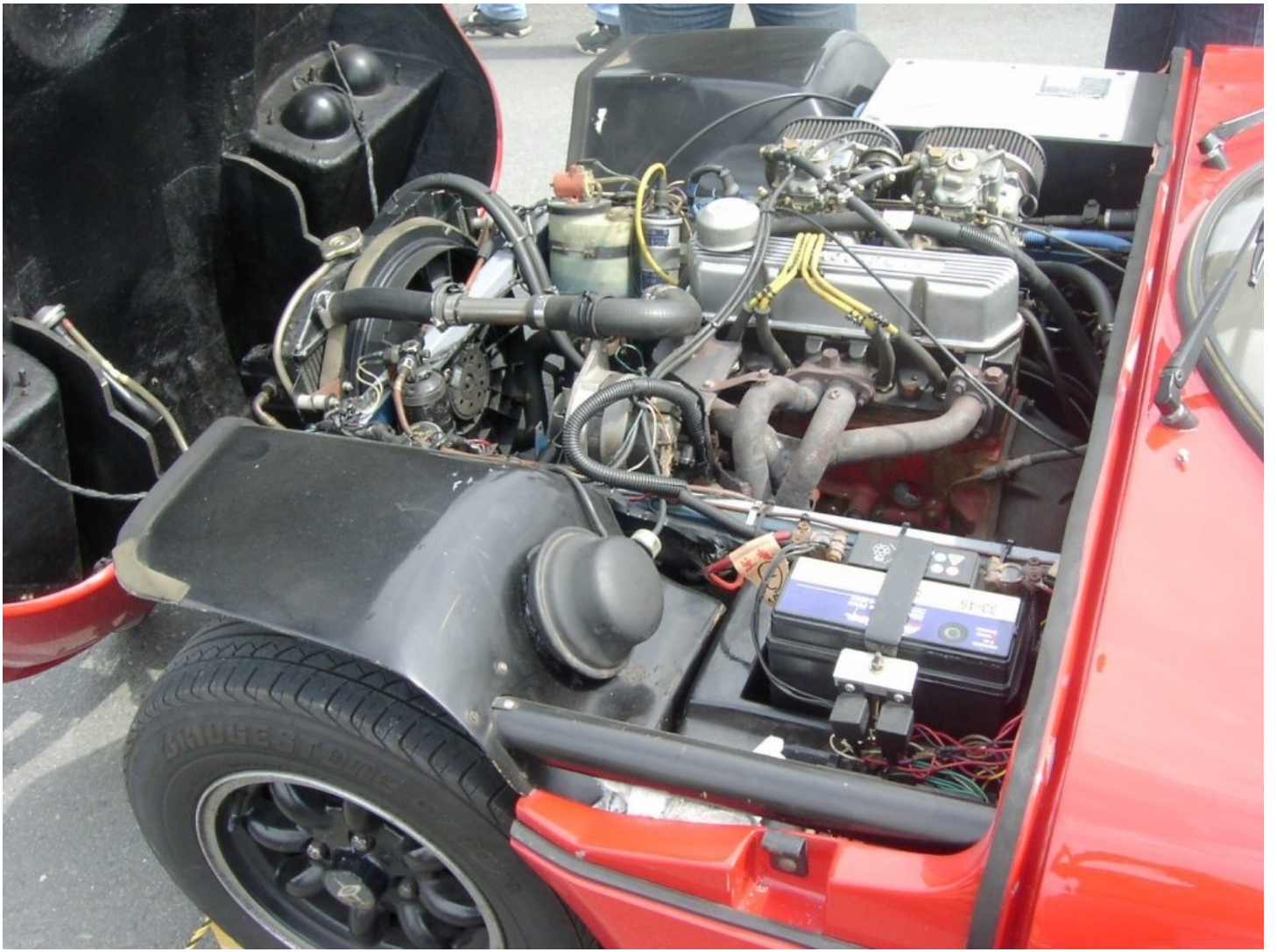
▼マーコス2号の、エンジンルームです。

FORDケント(OHV)をベースに、COSWORTHチューンした総排気量1,650ccとなっております。

(写真上)は、入手した頃の状態です。

(写真中)は、何年も掛けてコツコツ改造を重ねた現在の様子です。

見栄えと信頼性が高まったのと引き替えに、本来のオリジナルの姿とは離れてしまいました。





[5] 「ナビは誰が？」

東北で唯一の、クラシックカーのラリー・イベント....、

『ツール・ド・みちのく』に....、

愛車1968年式マーコス1600GT(マーコス2号)で出場するのが....、

ここ5年来、私の夢でした....。

マーコスとは....、

本国イギリスでも滅多に見ることがないと云われる....、

バックヤード・スペシャル(まさに裏庭のような粗末な町工場で、1台1台手作りによって造られる部品寄せ集めの少量生産車)で....、

しかも、他の英国車と並べるも恥ずかしいイタリアンレッドに塗られた、我がマーコス2号は....、

修理と信頼性を増す目的で、国産やアメリカ製そしてイタリア製の汎用品を使って、

長年に渡り、自らシコシコと手を加えていった個体ですが....、

こんな改造車でも、羞恥心を捨てて....、

故障の不安を抱えながらも....、

一度は走ってみたいのが、『みちのくラリー』なのです...!

ところが....

ラリーに欠かせないのが....

ナビゲーター(コ・ドライバー)の存在です....。

1泊2日の競技に同伴し....

コマ地図(主催者が作成したコース図)を片手に、道案内を指示する補佐を....

誰がやるのか...?

マーコスみたいな野蛮なクルマの助手席に、喜んで座ってくれる人間が....

果たして居るのでしょうか...?

これは大問題です...!

そもそも、マーコス2号を所有してから....

隣に乗って走ったことがある方は、滅多にいません...(笑)。

親しい人でさえ、いつブッ壊れるか判らないような得体の知れないクルマに....

気味悪くて乗ってくれないのです...(泣)。

ところで...!?

マーコス2号の助手席に....

最も数多く座ったことが有る人物は、一体誰でしょうか...!?

【第4位】 ナナ (娘／高2)

2回程度 ……「このクルマうるさいし、臭い。」

【第3位】 マミ (家内／年齢?歳)

3回程度 ……「乗り降りが大変、腰が痛くなる。」

【第2位】 ユウヤ (息子／中2)

4～5回程度 …「人にジロジロ見られるの恥ずかしい。」

【第1位】 カノン (姪っ子／小3)

5回以上 ……「うるさいけど、カッコいいから好き。」

果たして...!?

この中から、『みちのくラー』のナビゲーターが誕生するのでしょうか...!?

今年の初めに....

『みちのくラリー』のナビの件を、ある人物にこぼしたら....、

彼は、ラリーと聞いただけでアツく語り始めました....。

「いやいやいやいや～、どうもどうも～。

いやいやほう～。

マーコスに乗って～、クラシックカーのラリーですか～。

ほう～、いいですね～、ほうほう～。

Miyabiさん～、

本当は私がナビ兼メカニックで付いていきたいところですが～。

何だったら、後輩の若手ラリーストを紹介しますよ～。

私がラリーの走り方教えますから～。

何だったら、一緒に練習に行きますか～。

ラリー楽しいですよ～。」

「Miyabiさん～、ラリー出場するからには～。

優勝目指しましょうよ～。

コース作ってるスタッフに、スパイを送り込んで～。

事前にコースまで行って、走りながら下調べするんですよ～。

まあこの位は～、ローカル大会では常套手段ですから～。

これで絶対優勝まちがい無しですね～。

ははははははは～。」

とは....、

全日本ラリー選手権で、3度シリーズチャンピオンという輝かしい経歴を持つ...

元ダイハツ・ワークスドライバーの...

『小野寺 清之(おのでら きよゆき)』選手(石巻市)の談話でした...

▼マーコス2号の隣に最も座った人物は、姪っ子のカノンでした(笑)。

そして、ラリーといえばこの人、石巻市が誇るラリーの神様、小野寺清之氏。
果たして、誰が『みちのくラリー』のナビを務めることになるのでしょうか。





[6]「参加表明」

それは、昨年11月のことです…。

愛車1968年式マーコス1600GT(マーコス2号)で…、

イツズミー(仙台・泉ヶ岳ミーティング)に、顔を出したら…、

Mさん(仙台HCCS事務局・イツズミーの世話係)

「あー、Miyabiさん、ちょっとー。
彼が『みちのくラリー』やってる、ミヤノさんだー。」

私

「はッ…!?
こ、こんにちは…!!」

ミヤノさん(岩手県・『ツール・ド・みちのく』実行委員長)

「初めまして～。
マーコスいいですね～。
Miyabiさん、来年の『ツール・ド・みちのく』に、
マーコスで参加しませんか～?」

私

「はッ…!?
えッ、私なんかが出ても良いんですかッ…!?
実は、一度出てみたいなって憧れていたんです…!!
でも、現地に着くまでに壊れたりして…(笑)!?」

ミヤノさん

「皆さんそうおっしゃいますが、
楽しくて毎年出たくなるみたいですよ～。
では来年、Miyabiさん宛てに実施要綱お送りしますからね～。
『ツール・ド・みちのく』で、是非お会いしましょう～。」

私

「よ、宜しくお願いします...!!」

...という訳で、ナント!!

紹介者を経て....、

主催者側から、直接に参加を打診されていたのです...!!

その場で私は、快諾...!!

小心者の私は、実を言うと....、

自らイベントに申し込んだことが無いのです....。

これまでもお伝えしました通り、マーコス2号を人様に見せるのは気恥ずかしいので....、

意外に思われるかも知れませんが....、

人から誘われない限り、クルマのイベントに参加したことは無かったのです....。

そして、今回は密かに憧れていたクラシックカーのラリー・イベント....、

『ツール・ド・みちのく』に....、

是非とのラヴコールですから…、

長年のトラウマだった羞恥心を捨てて…、

これはもう出るしかないでしょう…!!

男ですから、挑戦状を叩きつけられた以上、引き下がる訳にはいきません…!!

やってやろうじゃありませんか…!!

と、意気込んでみたものの…、

仙台から開催地の盛岡まで、片道200Km以上の距離が有ります…。

そして、『みちのくらりー』は2日間で400Km以上の距離で競われます…。

合わせて800Km以上を走破するのです…。

ちなみに前回の車検では、走行距離数が770Km伸びていたのも…、

『みちのくらりー』1回で、マーコスの2年分以上は走ることになるのです…(笑)。

ともかく、現代の最新のクルマでは何てことない様な距離でも…、

マーコス2号の様な古いクルマにとっては負担も掛かるし…、

未知数の不安がつきまとうのです…。

しかも、ラリー開催時期の9月は、まだ暑い盛りです…。

特に、猛暑の昨夏は…、

気温が35度近い日に走らせたならトラブって、軽くオーバーヒート起こしました…。

名古屋から遊びに来てくれた、ロードスター乗りのザウルスマニアさんの目の前で…、

大量にお漏らしのパフォーマンスを披露してしまう有様…(笑)。

そこで、『みちのくラリー』本番までに、冷却系を中心に更なる改造を施していく決心を固めたのでした…。

…と、まあこんな感じで平成22年を締めくくりました。

しかし、年が明けてから、徐々に焦りが…。

一体、誰にナビゲーター(コ・ドライバー)をお願いするのか…!?

1泊2日の競技に同伴し、コマ地図(主催者が作成したコース図)を片手に道を指示する補佐を誰がやるのか…?

マーコスみたいな、いつブツ壊れるか判らない様なクルマの助手席に、座ってくれる人が居るのでしょうか…?

最大の問題です...!

やはり....

あの方に頼むしかないのでしょうか...!?

▼昨年11月、クルマ好き仲間が集まる「イッツミー」の会場で、『ツール・ド・みちのく』実行委員長から直々に、ラリーへの有り難いお誘い受けました。





[7]「ナビの最有力候補者」

今年の1月頃、私は....、

地元のクルマ愛好会のA会長に、ある相談を持ち掛けました....。

彼は、東北で唯一のクラシックカーのラリー・イベント『ツール・ド・みちのく』に、第1回から欠かさず出場している経験者なのです....。

私

「実は、今年の『ツール・ド・みちのく』に....、
マーコスで出場することに決めました...!
実行委員長のミヤノさんに口説かれて、約束したんですが....、
ところが、ラリーなんて全く経験が無いので心配で....、」

A会長

「何だそんなことか〜。
Miyabi君、『ツール・ド・みちのく』は〜、
本格的なラリーと違うから大丈夫だよ〜。
簡単なクイズを解きながら、ドライブ気分で走ったり〜。
SSだって全然難しくないから、十分楽しめるぞ〜。」

私

「そうなんですか...!?
でも、ナビゲーターがコマ地図を読むんですよね...?
それは、誰でも出来るものなんですか...?」

A会長

「確かに、コマ地図は少し慣れが必要かもな〜。
じゃ、昨年使ったのをコピーしてあげるよ〜。
うちのだってナビ務まったんだから、誰だって大丈夫だよ〜。」

私

「ありがとうございます...!

A会長さんは、毎年奥様と出てますが....、」

どうやって誘ったんですか...?」

A会長

「それまでウチのは、クルマのイベントどころか～、

俺のポルシェに、殆ど乗ったこと無かったんだよ～。

ウルサイとか、乗り心地が酷いとか言ってさ～。

でも、『ツール・ド・みちのく』はペアだから、仕方なく誘ったんだ～。」

私

「やっぱり....。」

A会長

「ところが、『ツール・ド・みちのく』に出た途端～、

人が変わったみたいになっちゃってさ～。

楽しかった、また来年も出ましようだってさ～。

きっと、沿道で手を振って応援されるのが気に入ったんだよ～。」

私

「へえ、そうだったんですか...!?!」

愛車1968年式マーコス1600GT(マーコス2号)の....、

ナビの最有力候補者は....、

心の中では決めていました....。

私が結婚したのは平成4年....。

早いもので、あれから19年も経ったのか…。

その間、転職したり子供が産まれたりで、とにかく無我夢中で生活に追われる毎日でした…。

ここ10年以上は共稼ぎ…。

そして、私は土日祝も働いていて、月に数日しか休ません…。

こんな生活の2人ですから…、

気が付くと…、

夫婦水入らずで旅行など、一度も無かったのです…。

来年はいよいよ結婚20周年を迎えますので、その記念に…(?)、

今年の『ツール・ド・みちのく』に、夫婦でマーコスで出場…!!

…と、いうのも悪くないかも知れませんね!

これで、マーコス2号のナビにお願いするのは…、

うちの奥様に…?

(今年9月の『ツール・ド・みちのく』に、夫婦でマーコスに乗って参加しようよ...!)

...ところが、家内にコレが、なかなか言い出せずに...(泣)。

今日言おうか、今頼もうか、いや明日にしようか...と、

男らしく無いですね、とうとう誘えずに...

今年の1月も言えなくて...

2月になっても、まだ言えなくて...

とうとう言えず。

夫婦って、ヘンですね、肝心なことが照れ臭くて話せなくなるような...?

それでも、今年の夏もかなり暑くなることを想定して...

2月の後半から、マーコス2号の改造を少しずつ進めていました...

ゴム製のラジエターホースを金属製に交換しようか? 水温メーターを追加しようか? 高性能のクーラントを入れようか? 空気抜きの減圧ブリーザータンクを追加しようか? ...などと、思いを巡らせていました...

そして、今年の3月に入った頃には...

家内がナビ、私がドライバーで…、

沿道の人々に手を振りながら走る…、

東北で唯一のクラシックカーのラリー・イベント『ツール・ド・みちのく』に出場する…、

真っ赤なマーコスが、華やかなゲートを潜る、素晴らしいシーンを…、

私は思い浮かべていました…。

そろそろ、家内に真剣に言おう…!!

結婚20周年記念に、夫婦で『ツール・ド・みちのく』に参加しよう…!!

それを目標に、いや励みに…、

今年も仕事に家庭に、頑張ろうじゃないか…!!

と提案しようと…、

私は思ったのです…。

そんな矢先…、

3月11日(金)に、あれが起こったのでした…。

▼多賀城市の実家に置いてある、マーコス1号とマーコス2号の貴重なツーショットです。





[8] 「大津波で絶望的になる」

A会長

「Miyabi君～。

『ツール・ド・みちのく』、奥さんにナビ頼めたのかい～。」

私

「そ、それが、まだ言い出せないんです...(苦笑)。」

小野寺清之氏(元ラリーチャンピオン)

「Miyabiさん～、マーコスでラリー参加はどうなったんですか～。

奥さん誘えたんですか～、OK貰えましたか～。」

私

「そ、それが、照れ臭くてまだなんです...(苦笑)。」

5年来の憧れだった....、

東北唯一のクラシックカー・ラリー『ツール・ド・みちのく』に....、

結婚20周年記念のお祝いに....、

夫婦で愛車マーコス1600GTに乗って出場しよう...!!

よし、今日こそ家内に打ち明けよう...!!

と、抱いていた矢先のことでした....。

3月11日(金)の午後2時、宮城県石巻市立町....、

店(3階建てビルの1階テナント)で、いつも通り仕事をしていると....

凄まじい轟音と共に、途方もない上下動が長い時間続き...!!

仕事場の壁や床が、尋常でない揺れ方で激しくうねったのです...!!

店の備品や飾りが、次々となぎ倒されたと思ったら...!!

建物の外壁が大きく剥がれて、激しく地面に叩き落ちました...!!

地震が収まって十数分後には....

家内から、子供を連れて小学校へ避難するとメールが入りましたが....

私は、やはり自宅が気になったので....

まずはドアをぶち破って、外へ脱出....

仕事場を後にしたのです...。

電気も信号も停まった街は、長いクルマの渋滞と、人々でごった返していました....

耳を澄ますと、スピーカーから大津波警報が発令されています....

日和山(ひよりやま)の空き地に、普段の足に使っている愛車『サターン』号を置いたまま....

歩いて海の方へ向かう私....

群衆は、山へ山へと避難して来るのに…、

私は逆らうように、海側へ海側へと下りて行ったのです…。

「津波は怖いもんだヨー！」

と、牡鹿半島の浜辺の住民から…、

津浪の怖さは、幾度となく言い聞かされていたのですが…、

どこか他人事のように思っていた私でした…。

ちょうど1年前、平成チリ津波が三陸沿岸を襲いました…。

その時は、湾内の浸水程度の被害で済んだので…、

きっと今回も大したことはないのではないか、と思い込んでいたのです…。

まさか、海岸線から何kmも離れた自宅付近まで…、

津波が来るなどと…、

想像が付きませんでした…。

その認識の甘さが、生命の危険に繋がったのです…。

石巻市築山にある、自宅(平屋1階建て・借家)に着くと....

建物の中は想像通りの状態でした....。

タンスや食器棚、冷蔵庫、本箱、とにかく有りとあらゆる物が倒れていて....

買ったばかりの地デジのテレビは大丈夫でしたが....

大地震によって、何もかもが散乱していました....。

私は、倒れた家財道具の隙間に分け入って、寝室に辿り着き....

そこで貴重品を探そうと、散らばった物を片付けていました....。

その時です....。

初めは、サーッと水の流れる音が聞こえてきました....。

間もなく、無気味な轟音と共に黒い波が...!!

こちらに向かって来たのが、窓から見えたのです...!!

まるでヘビが体を左右にくねらせる様に、住宅街の中を縫って現れた....、

真っ黒な大津波は...!!

勢いよく流れる川の濁流の様な状態で...

駐車場に停めてあったネイキッド号と、他のクルマをいっぺんに押し流して...!!

アッという間に自宅にぶつかり、今度は物置とバイクをさらいました...!!

私はただ啞然として外を眺めていましたが、躊躇する暇を与えず...

次の瞬間、畳の下からドンドン海水が押し寄せ...!!

下から凄い力で、家財道具ごと持ち上げるでは有りませんか...!!

私の目の前で、家の中が何もかも海水に飲まれていくのをただ見てました...

水が押し寄せると言うよりも、むしろ家が海中に沈んでいくみたいに見えました...

堪らずベッドの上に逃げ込んだ私でしたが...

呆れるくらい海水がなだれ込み、アッという間に胸まで水が...!!

その水の、冷たいこと冷たいこと...!!

しかも、天井付近に達したときには...

真っ黒な汚い水が、すっぽりと辺りを覆うので...

部屋の中が、真っ暗な闇に包まれてしまったのです...!!

海水が、これ以上増したら...!?

この冷たい海水と、真っ暗闇の中で...

自分は、家の中で寂しく、溺れ死ぬんだな...

と、いよいよ死を覚悟したのです...

自分が死ぬと意識した瞬間...

思い浮かべたのは、家族と...

マーコスでした...

▼石巻市立町クルーザービル1F、『Miyabi』の店の前です。(5月頃撮影)



[9] 「生き延びるための脱出」

石巻市に住んで10年…。

押し寄せた大津波の濁流と共に、その10年間の思い出が沈んでいく…!!

家族のアルバムも、ビデオも、子供の絵本も、クリスマスに買ってあげたゲーム機も、オモチャ、2匹のハムスターも、家族の茶碗や箸も、テレビも、パソコンも、アーチェリーも、衣類も、全てが…!!

目の前で、家の中のあらゆる家財道具が、真っ黒な海水に飲み込まれていく…!!

水位は、私の胸元まで迫ってきました…!!

間もなく、俺も溺れ死ぬのか…!?

そういえば…、

家族の次に大切な、マーコス1600GTは…、

多賀城市の実家に保管してあるが…、

愛車を遺して、この世から居なくなるのか…!?

それは嫌だ、まだ死にたくない!!

絶対、死ぬもんか!!

私は、胸まで迫る海水に絶体絶命の状態から、逃げ出そうと…、

タンスやベッドの手摺りに足を掛け、部屋の天井下をまるでスパイダーマンの様に移動しつつ...
、

押入れの天井をブチ破ろうと下から強く叩きましたが、まったく歯が立ちません...!!

部屋の中は、海水で真っ暗闇になってしまいました...!!

が、何故か....、

暗黒の中で唯一、ピカピカと光が射し込む箇所を見つけたのです...!?

そこには、ある御守りが貼ってあったのです...!!

部屋の中を海中に潜って、家財道具を避けながらそこまで辿り着き....、

その辺にあった物で、サッシガラスを力いっぱい叩き割ったのです...!!

割れ目から何とか身体が潜り抜けたものの、屋根のひさしが...!?

渾身の力を込めて、ひさしを右手で叩き壊すこと数十回...!!

右腕が血だらけになる頃、ようやく空が見えました...!!

そこに這い上がろうとしましたが....、

海水で重くなった体は、思うようにいきません...!!

それでも、必死に食らい付くように両腕の力でギリギリと登って....、

何とか、屋根の上に逃れました...!!

自宅の屋根の上から見下ろす景色は...

津波の濁流がどんどん流れていて、見渡す限りどこもかしこも海になっていました...

1階建ての建物はどれもこれもが、海水に浸かって屋根しか見えません...!!

あっちこっちから、泣き叫ぶ声が聞こえてきます...!!

堪らないのが、寒さです...!!

空から雪がドンドン降って、濡れた身体はガクガクと震えが止まりません...!!

私は、屋根から屋根に飛び移りながら、少しでも高い建物へ移動しました...!!

途中、水の中で何かに掴まって動けなくなっている男性が居たので声を掛けました...

私は彼に手を貸し、全身の力を込めて屋根の上に引き上げてやりました...

その後は、2人で逃げる計画を立てました...

流れてきた竹竿を杖にして、海水の中を掻き分け掻き分け必死に進み...

近くの2階建ての建物まで、何とか移動しました...

その夜は、そこを拝借して夜を明かしたのです...

翌朝、さらに竹竿で水の中を必死に歩いて…、

小学校で、家族と再会を果たすことが出来たのです…。

1階が水没した小学校は、劣悪な環境でした…。

着の身着のまま、勿論電気も暖房も無いまま、僅かの食料を皆で分けながら…、

寒さをしのぐ毎日…。

私は、60数名多いときで80名近く避難者が居た部屋のリーダーをしました…。

学校中からダンボールなど掻き集めたり、とにかく夢中で…、

4日目には、とうとう倒れてタンカで保健室に運ばれました…。

結局、水が引いて幹線道路が使える様になったのは、5日目でした…。

家族と共に、多賀城市の実家に帰る日がようやく来たのです…!!

石巻市に、サヨナラする瞬間が近づきました…。

これも、生き延びるための脱出なのです…。

しかし気掛かりなのは、まだ実家と電話が繋がらないこと…。

日和山の頂上に置いてきた、サターン号のガソリンが、僅かしか残ってないこと…。

そして…、

多賀城市も、津波の被害が大きいとの情報を耳にしたことでした…。

▼石巻市築山の自宅です。(5月頃撮影)



[10] 「非常時なら悪にだってなるッ!!」

「多賀城市は、仙台港から八幡まで津波にやられたヨー!」

「や、八幡もですかッ...!?!?!?」

実家と連絡が取れず悶々としていた、小学校避難生活4日目...

多賀城市から、ヒッチハイクと徒歩で2日掛けて来たという、ある男性の言葉でした...

それを聞いて私は、つい最悪の状況をイメージしてしまいました...

実家も、マーコスも被災したのではないかと...!?

そして、数少ない情報主に、堪らず尋ねたのは...

「た、多賀城市まで、どこの道を通れば行けますかッ...!?!?」

「そうだなァー、」

大地震による地盤沈下と、大津波による浸水で街の至る所が冠水し続けた石巻市...

橋が落ちたり、道路が瓦礫やクルマで塞がったり、まさに陸の孤島と化し...

自衛隊の車輛や救援の物資が、なかなか入れなかったのです...

その為、私達の小学校1,000人程の避難者に分配される食料は、1日2度でしかも少量...

下着も何も着たままで、小学生のジャージを拝借し、捨ててあった靴を履き、そんな生活に限界を感じていました...

でも、県の北部を大きく迂回するコースを辿れば...

多賀城市の実家に、家族4人で帰れそうなのです...!!

山の上に停めたサターン号が無事なのは、他の避難者には隠していました...

ここに居るとどの家族もが、家とクルマの両方を失っているのです...

私は、家内と子供に小声で伝えました...

「明日、必ずここを出る...!!」

サターンに乗って多賀城市に帰るから、あと少し辛抱してなさい...!!

それから、周りの人には黙っていなさい...!!」

翌朝、被災して5日目のまだ真っ暗な、寒い寒い午前4時…、

私は小学校をこっそり抜け出して、サターン号に乗り込みました…。

ぶつけても元に戻るポリマー・ボディで、あっちこっちの瓦礫に体当たりしながら…、

泥まみれクソまみれになって、津波の傷跡の生々しい石巻市の街を進みました…!!

ところが、燃料計はエンプティ、これでは帰れません…!!

この当時は、ガソリンが大量に不足、緊急車輛以外は手に入らない状況だったのです…。

でも、実はそれは想定していました…。

サターン号はまだ幾らか冠水している路地裏や、パチンコ屋に大量に停まっている被災したクルマに近づき…、

私は手当たり次第に、燃料キャップをこじ開け…、

ガソリンを盗もうとしたのです…!!

実は前もって小学校から、バールと灯油ポンプと長いホースを、用務員室やプール室から盗んでいました…。

陽が開けない暗い中で、泥で体中ドロドロになりながら、寒さを堪えて…、

1台、また1台と手をつける私…!!

窃盗を非難されも仕方ありません、しかし非常時なのです…!!

生き抜くためには、社会のルールより、自分の身は自分で守るという事の方が優先されるべきです…!!

着る服や、靴を拝借し、流れてきた食糧をあさる…、

拾ってきた物で何とかする…、

津波から生き残った者、その現場で必死に生きようとする者にしか判らない気持ちかも知れませんが…。

ところが...

1滴も採れないのです、ガソリンが1滴も...!!

後に判ったのですが、ガソリントankがクルマの底にあるので、手押しポンプでは難しかったのです...

それでも、何としても多賀城の実家に帰りたい一心で...

何台も何台もバールで壊す私、幾度も幾度もポンプを絞る私...!!

もう何時間も掛けて、泥まみれで10台以上のクルマをこじ開けても...

太陽が昇って、周りがとっくに明るくなっても...

1滴も採れないのです、ガソリンが1滴も...!!

これでは、帰れないッ...!!

私は、疲れと寒さと一緒にあって、叩きのめされて絶望のどん底にいるような心境になり...

これでは、帰れないッ...!!

天国のジイちゃん、バアちゃん、お願いだから助けてよッ...!!

と、その時です...!!

▼被災から免れ、瓦礫の街を体当たりしても平気なラフな扱いに応えた頼もしい、

『サターン』号(1999年式サターンSC2・3ドアクーペ)です。

強靱なスペース・フレーム構造と、ぶつけても傷つくことなく元に戻るポリマー樹脂ボディが特徴です。

アメリカの合理的なクルマ造りに改めて敬服しました。(7月頃撮影)





[11] 「思い出の町を捨てた日」

天国のジイちゃん、バアちゃん、お願いだから助けてよッ...!!

と、その時....、

奇跡が起こったのです...!!

1台の軽自動車が見えたかと思うと....、

何故か、私に声を掛けてきました...!?

「そのポンプ、
ちょっと貸せよー!」

「こ、これを...!?
これを、どうするんですか...!？」

「俺、燃料持ってるんだけどー、
給油ポンプが無くて、
だから、それを貸して欲しいんだー!」

「が、ガソリンが....、
ガソリンが有るんですかッ...!？」

「いやー、
持ってるのは、ラッカーシンナーなんだー!
一斗缶が、ここに有るんだけどー、

俺、ペンキ屋なんだけどサー、」

「し、シンナーで、クルマ動くんですかッ...!?
エンジン、大丈夫なんですかッ...!？」

「だから、大丈夫かどうかを一、
クルマに入れて、試してみたいんだよー!
ラッカーシンナーは、第四石油類だから一、
きっと、燃える筈なんだけどサー!」

私はここで、イチかバチか賭けに出ました....。

「お、お願いです...!!
そのシンナー、私にも分けて下さい...!!
子供と妻を乗せて、今日中に多賀城に帰りたいんです...!!
それを入れてもらえば、帰ることが出来るんです...!!
私、どうしても多賀城に帰りたいんです...!!
お願いします...!!
シンナー分けて下さい...!!」

「よし、判ったよお兄さん一、
俺は独身だから、アンタの方が大変そうだから一、
半分、わけてやっから一!」

「ほ、ホントですかッ...!!
お願いします...!!
シンナーお願いします...!!」

私の熱意が、ペンキ屋さんの心を動かした瞬間です....。

もし、彼の主張が正しければ…、

ガソリンエンジンに、ラッカーシンナーを入れても燃焼するという…、

前代未聞の実験が…、

無数の被災したクルマ群と瓦礫が取り囲む…、
あるパチンコ店の駐車場で行われたのです…!!

私は、サターン号の給油口を開けました…!!

間もなく、そこに注ぎ込まれたシンナー、約16リットル…!!

辺りは強烈なシンナー臭が漂って…、

果たして…!?

キーを捻ると…!?

ギョルルルルーッ、ボンッ!!! ヴボボボンッ!!!! ボンッ!!!

ノッキングが著しいものの…、

サターン号のエンジンは、見事に掛かりました…!!

その瞬間、私は嬉しさのあまり…、

堪えきれずに泣いてしまいました…。

「う、うわああああああ～ン…!!

こ、これで帰れます…!!

家内と子供を乗せて、多賀城に帰れるんですね…!!

こ、これで帰れます…!!

う、うわああああああ～ン…!!

ぺ、ペンキ屋さん、ありがとう…!!

ホントに、ホントにありがとうございました…!!」

恩人に出来る限りのお礼をしてから、私は車に乗り込み…、

小学校へ家族を迎えに行きました…。

たった5日間なのに、ツラくて非常に長い期間居たような気がする小学校…。

同じ教室で5日間を一緒に暮らすうちに、避難者50数名と人間関係が出来ていました…。

私たち家族は、後ろ髪を引かれる思いで、ここを出ることに…。

仲間1人1人に声を掛け、涙ながらにお別れの挨拶をしました…。

ヴォォォォォォ～ン!!!! ボンッ!!!

家族を乗せ、サターン号でまず向かった先は…、

被災した自宅です…。

あの日以来、深く海水に浸かったままだった我が家の一帯…、

だいぶ水は引いたものの、泥と瓦礫にまみれた近所の変わり果てた…、

大津波の爪痕も生々しい、3月16日の現実…、

家内と子供は、終始無言でした…。

私は瓦礫にぶつかりながら、自宅になるべく近い付近までサターン号をギリギリ乗り入れ…、

あとは、家族1人ずつ交代で背中にオンブして…、

膝下まで泥に浸かり…、

10年暮らした懐かしの我が家を…、

皆一緒に、涙を流しながら見ました…。

大人は勿論、子供たちにとっては、途方もなくショックな現実を…、

私はあえて見せした…。

何故なら、背けたくなるような本当のことを隠さず、皮膚感覚で掴ませることで…、

これからの長い将来を、強く生きて行って欲しいと思ったからなのです…。

再び、クルマに乗り込み…、

私たちは石巻市を、思い出の町を捨てる決心をしました…。

ヴォォォォォォ〜ン!!!! ボンッ!!!

シンナー臭をまき散らし、終始ノッキングしつつ、アイドリングも一定せず…、

一時停止ではエンストしそうになるものの…、

健気に走るサターン号、さすがアメ車です…。

実家のある多賀城市まで…、

何とか走り切ってくれ、サターン号…!!

▼10年住んだ思い出の、石巻市とお別れしました。

(今年4月に撮ったものです。)



[12] 「実家を飛び出した過去と理由」

ヴォォォォォォ〜ん!!!! ボンッ!!!

あの日以来、全く連絡が繋がらないまま5日を迎え....

お互いの安否確認が取れないまま、今日ようやく走り出した私たち....

実家のある多賀城市まで....

何とか走り切ってくれ、サターン号...!!

瓦礫を掻き分け掻き分け進み....

あっちこっちが海水で浸水し、信号機も消え、至る所が傷む道路を慎重に進みました....

クルマの窓から見える景色は....

右を見ても左を見ても、街はメチャクチに破壊されています....

どこの道路も瓦礫の山が邪魔で、道幅が狭く....

しかも凸凹に荒れて、うっかりしていると腹を打ちそうになります....

また、どこの道路脇にも被災したクルマが乗り捨てられていて....

途中、渋滞があったり、緊急車輛に道を譲りながら....

ノロノロながらも、何とか石巻市を脱出したものです....

県北部に向かう道に入っても、走行可能な幹線道路に限られている為なのか....

勿論、高速道路は通行できないままですので....

通常では考えられない程、大きく迂回した道を辿り....

途方もない時間が掛かっていますが....

実家のある、仙台圏まで....

一歩、また一歩と近づいて行ったのです....

頼む、何とか走り切ってくれ、サターン号...!!

ヴォォォォォォ〜!!!! ボンッ!!!

「もし、サターン号が途中でブツ壊れたら...、
そこから、何日掛かったって歩いて帰るゾ...!!」

と、家族に言い聞かせながら走らせました...。

今振り返ると、シンナーを炊いて何時までエンジンが保つか判らないまま...、

もう後戻り出来ない道を、とにかく祈るような思いでひたすら走った訳です...。

まるで、パリダカ...!?

サバイバル・レース...!?

本物のラリーより、手に汗握るドライブでした... (笑)。

今から10年前、あの頃の私たちは...、

何をやっても上手くいかない、そんな状況でした...。

私の転職、子育ての問題、嫁姑問題などが重なって...、

私たち4人は、実家を飛び出していったのです...。

行く先は、当初は決まっていなかったのですが...、

ある方の強い誘いを受けて、石巻市に移り住むことにしたのです...。

ヴォォォォォォ〜!!!! ボンッ!!!

「多賀城の街が、見えてきたッ...!!」

私は月に数回は、実家に置いてあるマーコスに逢いに来ていました...。

石巻市に住んでいても、マーコスのお陰で両親とは音信不通にならずに済んだのです...。

両親はこの処すっかり身体が弱くなって、病院通いばかりしています...。

10年も経てば、お互い歳も取るし、状況が色々と変わってきました...。

私は、その間に貯金も貯蓄も出来ませんでした...

代わりに、10年の間に知り合った大勢のお客様が、唯一の財産だったのです...

その石巻市のお客様が皆、被災してしまったのです...

もう、石巻市に留まる理由は無くなりました...

実家に戻る日が来たのです...

でもまさか、こんなことで多賀城市に戻る日が来ようとは...

夢にも思いませんでした...

ヴォォォォオオオオ〜!!!! ポンッ!!!

「もう少しだ...!!」

やがて、多賀城市の見慣れた風景が視界に入ってきたのに従って...

私は、嬉しいと同時に...

嫌な予感がしてきました...

もしかすると...

実家も、マーコスも被災したのではないだろうか...!?

多賀城市の南東部は、昔から海拔が低くて...

大雨が降ると、冠水しやすい地域がありました...

かつての実家は、その低い地域の一つであるJR多賀城駅の近くに所在しておりましたが...

昭和61年の仙台平野の集中豪雨では、洪水による床上浸水の被害を受けました...

更に数年後にも、またもや多賀城市で集中豪雨が起こって...

その時は、床下浸水で済んだものの...

小6の時に出会ったあの『マーコス1600GT』1号車を、前オーナーに頼み込んで譲り受けたのに...

、

水没させて、オシャカにってしまったという…、

実は、思い出したくない様な事件があったのです…。

現在の実家は、親父が定年退職時に建てましたが、かつての場所からはだいぶ西に位置しております…。

ところが…、

仙台港から何kmも離れている筈なのに…、

見ると辺り一面、田んぼの色が不自然ではありませんか…!!

あらゆる道路に、泥とゴミが堆積しています…!!

そして、実家の間近に近づくと…、

周りの住宅のフェンスやブロックに遺された…、

恐れていた、津波が押し寄せた痕跡が目に入ったのです…!!

この高さだと…!?

ちょっと厳しいかも…(汗)!?



[13] 「被災していた実家と愛車」

ヴォォォオオオオオ〜ん!!!! ボンッ!!!

サターン号に乗った私たち4人は、ついに多賀城市の実家に到着しました...!!

よく見ると、庭じゅうが辺り一面泥だらけです...

間違いなく、ここまで大津波が押し寄せたのです...

家の前のどこを歩いても、靴底に泥がこびり付く有様でした...

そして...

「皆んなで、笑顔で『ただいま』って、入ろうねッ...!!」

と交わしてから、私たちは玄関の戸を開けたのです...!!

「おじいちゃん〜!!!!
おばあちゃん〜!!!!
ただいま〜〜〜ッ!!!!」

慌てて、玄関先に飛び出してきた両親...!!

「おおーっ!
無事だったかーっ(涙)!!」

「心配したのヨ〜!
よかった〜(涙)!!」

「実は今日にも、石巻市に一、
お前たちの安否確認に、行くつもりだったんだぞー(涙)!!」

「あたしはね〜、
絶対生きてるって、信じてたんだヨ〜(涙)!!」

「おじいちゃん〜(涙)!!!!
おばあちゃん〜(涙)!!!!
ただいま〜〜〜ッ(涙)!!!!」

家族、全員無事...!!!!!!

バラバラだった2つの家族は...

こうして....

10年ぶりに1つになったのです...!!!!!!

気になる、津波の被害は....

実家は、床下浸水....

マーコス、床上浸水でした....

「あの日は、母さんと2階でジッとしてたんだがー、
まさか津波が、ここまで来るとはなー、
玄関の中まで水が入ってきたがー、
床の一步手前までで、ギリギリだったんだぞー」

「最悪でなくて、良かった...(ホッ)。」

「仙石線が、もし無かったらー、
もっと、水が押し寄せていた筈だぞー
それに、家の周りのブロック塀も抑えになったようだー」

「そ、そうだったんだ...。
とにかく、マーコスのことが心配で...(笑)。
1号車は大雨で水没したのに...、
まさか今度は津波で、2号車までオシャカになったら...?」

「お前は、家よりクルマの方が大事なのかー」

「...(赤面)。」

「後で、本家の辺りを回って見て見ろー、
瓦礫や流れてきたクルマで大変なんだぞー、
浸水も、我が家はこの位の被害で済んでー、
良い方なんだぞー」

「...(無言)。」

我が実家の所在する多賀城市八幡地区は、大津波で甚大な被害がありました....

仙台港から国道45号線を跨いで、JR仙石線の高架橋の手前まで....

周辺の住宅は一様に、1.5mを越える高さまで床上浸水....

本家も叔父の家も、この地区なのですが...

建物の被害が大き過ぎて、もう住めなくなりました...

ところが、我が家は...

近くにあるJR仙石線の高架橋が、まさにガードになって...

津波を食い止める役割を、果たしてくれたようなのです...

しかし、我が家の直ぐ脇は、仙台港の臨海鉄道の路線が隣にあって...

大津波は数台のクルマを押し流しながら、ここまで襲ってきたのです...

もしも、家の周りのブロック塀が無かったら、どうなっていたことか...!?

想像しただけで、寒気を覚えました...

母屋の被害を確認した私は...

ようやく、クルマの様子を確かめたのです...

地面より高く土盛りされたカーポートには...

親父のクラウンと、マーコス1号車、マーコス2号車が有るのですが...

約31cmの高さまで、津波の痕跡が残っていました...!!

クラウンは問題無さそうでしたが、マーコス1号車は何とこれで2度目の浸水です...!!

とにもかくにも、マーコス2号車が心配です...!!

詳しく点検してみると...!?

車高の低いマーコスは、車輪のセンターハブ(車軸)の高さまで浸水した形跡があったのです...!!

海水を被って5日目...!!

海水の怖いところは、強烈な錆が発生すること...!!

これはマズイッ...!!!!!!

▼(写真上)大津波の勢いを抑えてくれた、JR仙石線の高架橋です。

(写真中)実家の周りのブロック塀も、臨海鉄道の側から来た水の進入を抑える、大きな役割を果たしたのです。

(写真下)カーポート上で、最大約31cmまで海水が押し寄せた痕跡が、今でもハッキリと残っています。







[14] 「海水に浸かった愛車」

マーコス2号のドアを、恐る恐る開けると...!?

左右の両フロアは....、

センター・コンソールの半分の高さまで、海水がシッカリと溜まっていて、タップタップ...!!

試しに、海水に指を漬けて舐めてみると...!?

しょっぱいッ...!!

雑巾とバケツで海水を掻き出し....、

フロアマットとフロアの下地は、剥がして捨てました...!!

シートは....、

運転席も助手席も、座面が海水を完全に吸収していて、指で押すとグッショリ...!!

私は気絶しそうになりました...。

しかし、インストルメント・パネルは無事です...!!

シートを全て取り外し....、

海水を含んだクッション材は、剥がして捨てました...!!

トランク・ルームを開くと....、

やはり海水が溜まっていて、タップタプ...!!

泣きそうです....。

雑巾とバケツで海水を掻き出しました...!!

いよいよ、フロントカウルを開けました....。

エンジン・ルームは一見、何とも無さそうに見えますが....、

下半分には、泥やゴミが無数に付着、海水を被った痕跡が生々しく残っています....。

セルモーターをはじめ、車体下にある機関はみんな水を被っています....。

幸いだったのは....、

オルタネーターとディストリビューターは、ギリギリで着水しなかったこと....。

そして....、

気になるのは、車体フレーム、ミッション、デフ、ステアリング・ラック、サスペンション、ブレーキ、ハブ、マフラー、その他....、

車体下の金属部分です....。

ここが、完全に海水に浸かってしまったのです...!!

車体フレームをはじめ、特に重要な足回りや回転部分が…、

錆びてしまうと、取り返しが着かないこととなります…!!

直ぐに、水道水で洗い流したいと思いました…!!

ところが…!?

あの日以来、断水…!!

水道は出ません…!!

それだけではないのです、食糧も、電気も、電話も、ガソリンも無い…、

ライフラインは途切れたまま…!!

当時、実家では…、

苦心して確保した、僅かの飲料水しか有りませんでしたので…、

ただでさえ貴重な水を…、

クルマの洗車に使うなど、もってのほかです…。

私は、目の前が真っ暗になりました…。

頭の中に描くのは、つい先日までの平和だった日常風景…。

マーコス2号で、思う存分走りを楽しんでいる自分…。

そして…、

本年9月開催予定の、『ツール・ド・みちのく』…。

思い返せば…、

小6の私が偶然にも、道ばたで目撃したマーコス…!!

そのスタイルに感激した私は…、

後ろ姿が見えなくなるまで、自転車で追い掛けたものです…。

そして、大人になったらマーコスに絶対に乗ると誓ったのです…!!

社会人になった私は、マーコスの持ち主から譲り受け…、

念願のオーナーになりました、それがマーコス1号車でした…。

それもつかの間…、

あろうことか、大雨の餌食となったのです…。

以来、夜眠りにつくつと繰り返して出てくる、夢の中の赤いマーコス…。

愛車を殺してしまった罪悪感に、さいなまれ続けました…。

再びハンドルを握りたくて…、

満を持して入手したのが、マーコス2号車だったのです…!!

小6の出会いから、35年の月日が経ちますが…、

今も昔も、マーコスが憧れのクルマであることに全く変わりがないのです…。

友人から、子供の頃に好きだったクルマに今乗ってるヤツなんていないよ…、

と、笑われますが…。

その憧れのクルマで…、

栄えある、クラシックカーのラリー・イベントに出場できたら…!?

この数年は、諸事情で見送ってきましたが…、

参加で出来る条件を整え、いよいよ今年は決心したのです…!!

それも、結婚20周年を記念して、

『ツール・ド・みちのく』に…、

家内と2人で参加しようと…、

それが、こんなことになるなんて…!!

マーコス1号に続いて、マーコス2号も水没するなんて…!!

この世に、神も仏も無いのか…!!

これほど無慈悲なことが、世の中にあるのか…!!

でも、愛車を何とか救い出したい…!!

と、こんな思いでクルマに手を掛けた私です…。

海水を被ったマーコス2号…、

車体フレームをはじめ、特に重要な足回りや回転部分が錆びるのを…、

何とか、防ぐ手立てはないものか…!?

水道水で洗い流す代わりに…、

そうだ…!!

私は、無我夢中でマーコス2号をジャッキアップし、ウマを掛けました…。

そして、手にしたのは...、

エンジンオイル...!!

ペンキ用の刷毛...!!

下から見える金属部分に、エンジンオイルをブツ掛けて...、

刷毛でペタペタ...、

ペタペタと、手の届く限りエンジンオイルを塗りつけたのです...!!





[15] 「イカれた愛車」

海水に浸かったマーコス2号を、何としても救いたい...!!

車体フレームをはじめ、特に重要な足回りや回転部分が錆びるのを防ぐべく...

エンジンオイルを塗って、塗って、塗りまくりました...!!

水道が出ないので、それしか考えられなかったのです...!!

もう、ベットベト...(笑)!!

次に、いよいよエンジンを始動させました...!!

私は祈るような気持ちで...

マーコス2号のキーを捻ったのです...!!

ギョルギョルギョルギョルツ...

ポッ、ポボポッ、ポッ、ポボポッ、ブヴオオン!!!!!!!!!!

ガラガラガラガラガラガラガラガラガラガラガラガラガラガラガラ〜!!!!!!!!!!

掛かったッ...!!

あれッ、エンジン音が酷いなあ...!?

ジャァァァァ〜。。。。ダラダラダラダラァ〜。。。。。

マフラーから、大量の海水が、出てくる出てくるッ...!!

電気系統は...!?

ヘンだな、どれもこれも正常に動くけど...!?

意外なことに、3月16日の時点では...

ランプ類をはじめ、どの電装品も問題なく作動しました...!!

ところが...

1日、1日、経過する毎に、じわじわと...

マーコス2号は、イカレでしたのです...!!

パワーウィンドウが、右も左も動かないッ...!?

室内灯が、点かないッ...!?

室内ファンが、回らないッ...!?

ホーンが、鳴らないッ...!?

モニターランプが、1つ点かないッ...!?

セルモーターが、回りづらいつ...!?

エンジンが、正常に燃えないッ...!?

見えないミクロの世界で、海水が進入した電気回路...

やはり只では済まないようです...!!

ここからが本当の救出なのかも知れません...!!

パワーウィンドウと室内灯の電気系統は、ミッションの脇を通っていて...

ホーンやその他は、車体の下部を通っている為に、着水したのでしょう...

私は、異常のある部分に繋がる電気配線を1本1本辿って行っては剥き出し...

疑いのあるリード線を切って引き直したり...

カプラー、金属端子を交換あるいはサンドペーパーで磨いたりして...

正常に電気が通じるように、手を加えていきました...

マーコス2号は...

製造からだいぶ年月が経っているので、そもそも既に腐食が進んでいたのです…。

そこに海水を被ったのですから、目も当てられません…。

クソッ、とにかくプラスとマイナスが繋がれば、動くに決まってるッ…!!

寒いのも忘れて…、

電気配線と格闘し続ける私…。

結局、不調の電気系統はヒューズボックスからリレーに至るまで…、

手の付けられる範囲を、部分的に配線を引き直すことにしました…

ですが…、

直ぐに手持ちの電材は底を尽いたのです…。

この3月は、近辺のカー用品店も、ホームセンターも被災して、休店状態…、

マーコス2号を早く直してやりたいのに、材料が手に入らない…!!

ただ、焦りだけが募っていきました…。

結局、手を付けた電気系統を引き直すのに、電材が入手できた4月から5月になっても作業がなかなか終わりませんでした…。

ギョルギョルギョルギョルッ…、

ポッ、ポボポッ、ポッ、ポボポッ、ブヴオオン!!!!!!!!

ガラガラガラガラガラガラガラガラガラガラガラガラガラ〜!!!!!!!!

ジャァァァァ〜。。。。ダラダラダラダラァ〜。。。。。

相変わらず、マフラーからは海水が噴き出します…。

毎日毎日、エンジンを掛けて、とにかく乾燥させました…。

セルモーターは、調子悪くて2度も降ろしました…。

結局、バラせないで…、

灯油に漬けてみたら、セルの動きが回復したのです…。

室内ファンのユニットは、助手席の足もとに設置してあった為に、完全にオシャカになってました…。

そっくり取っ払って、車内に穴が空いた箇所には…、

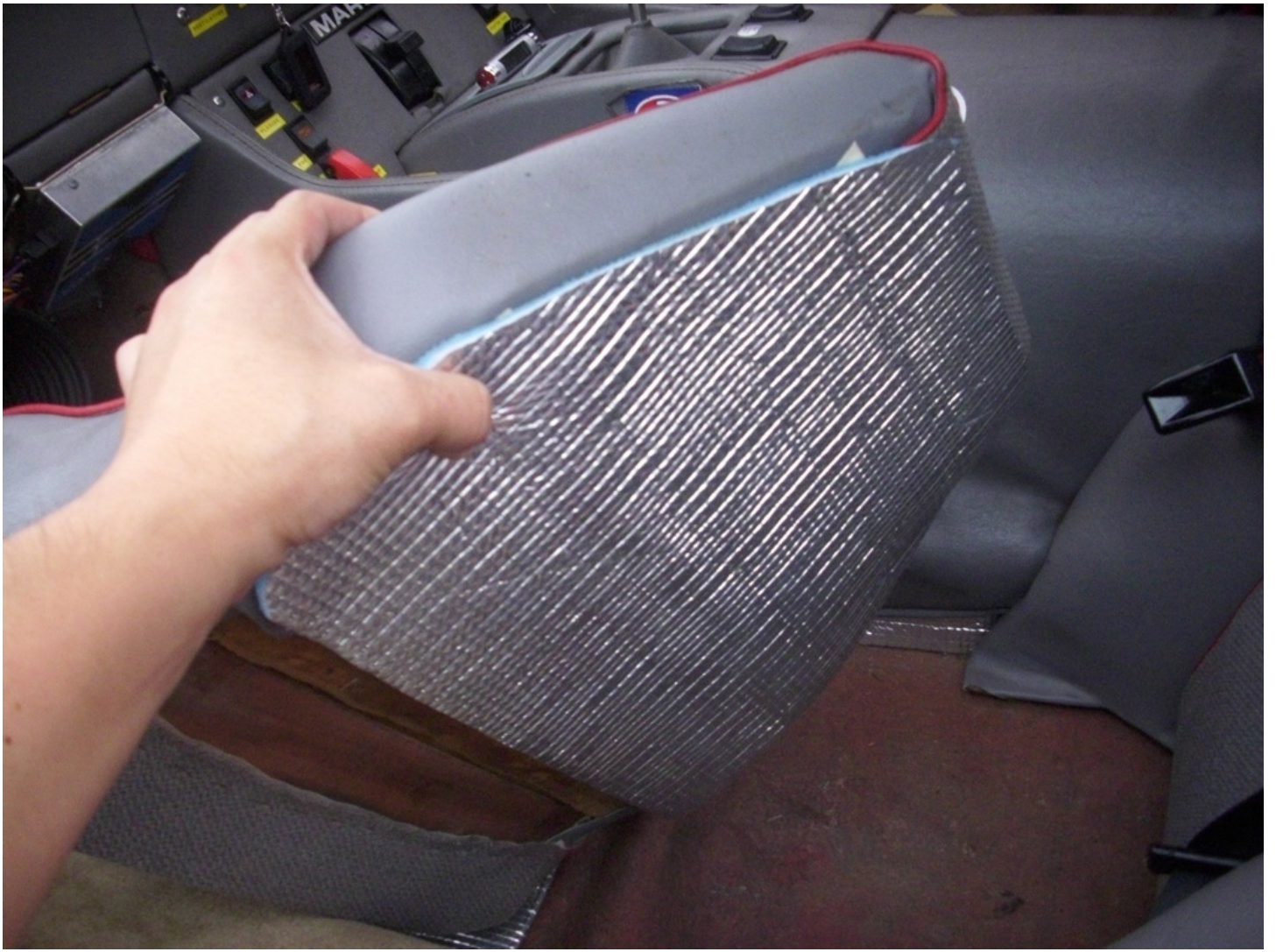
津波で流れ着いた、黒いプラバケツを切り取って穴を塞ぎました…(笑)。

海水を含んでグシヨグシヨの座席は、その後1ヶ月近く陰干して乾燥させました…。

捨てたクッション材の代わりに…、

津波で流れ着いた、レジャーシートをハサミで切って敷きました…(笑)。





[16] 「在宅避難生活」

ギリギリの床下浸水で、大きな損壊を辛うじて免れた多賀城市の実家ですが…、

それまで2人ノンビリ暮らしていたところに、我々4人が押し掛けてきた訳ですから、父と母は大変です…!!

孫と暮らせる嬉しさにそれはそれは張り切って、家族を受け入れる準備に追われる両親でした…。

部屋だけは沢山ある大きな家なので、急に6人家族になっても問題ナシの筈が…、

まず、着る服がない…!!

着の身着のまま石巻市から逃げてきた私たちは3月11日以来、パンツ1つ替えてないのです…!!

両親の服を分けてもらいました…!!

やがて、親戚の叔父さんや叔母さんからも、お古を分けてもらいました…!!

とっても、有り難かったです…!!

それから、水も食べ物もない…!!

多賀城市の全域に渡って水道管がやられたので、断水したままです…!!

近辺のスーパーは何処も彼処も全て閉店状態なので、家に備蓄していたもので当面しのぐしかないのです…!!

小学校など避難所に行けば配給がありますが、在宅者には何も手が差し伸べられなかったのです...!!

農家をしている親戚の叔父さんが、水や食べ物を運んで来てくれました...!!

とっても、有り難かったです...!!

寒いのに、暖房がない...!!

灯油は有りましたが、停電しているのでファンヒーターもエアコンも使えません...!!

服を着込んだり、毛布にくるまったりしながら我慢しました...!!

カノンちゃんのお父さんが、反射式ストーブを何とか探して買い求めてきました...!!

とっても、有り難かったです...!!

とにかく、何をするのにも不便な生活が続きました....。

今までは、灯りもお湯も好きなだけ使えるのが当たり前ですが....、

それがいかに贅沢な暮らしをしていたのかが、今回の震災でよく分かりました....。

いつでも何でも手に入る生活に慣れ過ぎて、感謝する気持ちが薄れていたかも知れません....。

ライフラインが途絶えていた3月中は、何をするにも体力が必要で…、

とにかく、家族全員の協力が不可欠でした…。

午前中は、総出で家の前に堆積したドロを掻き出す作業をして…、

給水車の知らせがあると、皆おのおのバケツやタンクを抱えて出向き…、

水を汲んでは、家まで何回も往復したり…、

食糧を調達しに、皆んなで遠くの店まで歩いて買いに行ったり…、

多賀城市の実家に帰っても、在宅避難生活は決して楽ではありませんでした…。

相変わらず、ガソリンは手に入りません…。

停電しているので、電化製品は一切使えません…。

どんなに寒くても、反射式ストーブ1つで我慢し…、

お風呂も沸かせません…。

陽が暮れると、直ぐに真っ暗になってしまうので…、

早めに夕飯を頂いて、夜8時には寝ました…。

きっと、時間と共に電気や水道が復旧し、食料品も普通に手に入るだろうと…、

その時まで頑張ろうと…、

家族みんなで、ひたすら我慢していたのです...!!

そんな生活の最中、ある事件が起こりました....。

3月22日、午後10時....。

お袋の様子がおかしいと、親父が叫びました...!!

見ると、母は目を開けたまま寝ています、いわゆる昏睡状態でした...!!

揺すっても大きな声で呼んでも、母の意識はありませんでした...!!

これは只事ではないと、救急車を依頼したのですが....、

救急隊が到着したものの、仙台圏の病院が何処も受け入れてくれないのです...!!

一つ、また一つと断られていく救急隊の方も焦っていました...!!

この非常時ですから、病院も通常の体制がとれないのだと思います、それにしても...!!

救急車の中に寝かされたままの母親は、相変わらず昏睡状態...!!

私たち家族は祈るような思いで、連絡のやり取りを聞いていました...!!

時間だけが、刻一刻と過ぎていきます...!!

40分が経過した頃....、

ようやく、受け入れてくれる病院が現れました...!!

それは何と、石巻市の日本赤十字病院でした...!!

急いで発車...!!

救急車には、親父が乗り込み付き添いました...

ピーポー！ピーポー！ピーポー！ピーポー！ピーポー！

後を追いつける私...

親父のクラウンを駆って、石巻市に向かいます...!!

まさか、こんな事件で石巻市に行くことになるとは...!?

3月22日、午後11時...

真っ暗...!!

真っ暗...!!

大津波で被災した国道45号線は、何処も彼処も真っ暗で...!!

全く灯りが無いのです...!!

真っ暗...!!

真っ暗...!!

▼親父の、『クラウン・ロイヤルサルーン』です。



[17] 「手を差し伸べてくれた全国の支援者」

両親の乗った救急車は、三陸自動車道へとコースを変えましたが...

この頃は、緊急車両以外は高速道路の通行は認められない状態でしたので...

街の灯りが消え暗黒となった国道を...

私は恐怖に怯え、クラウンのハンドルを震えながら握って走ってました...

所々狭まった道路は、あちこちが傷んでガタガタしますが...

それより怖いのは、景色です...

行けども行けども...

被災した建物と、乗り捨てられたクルマがまるでお化けのように左右に散らばっています...

とにかく、走っても走っても全く灯りが無いので、真っ暗なのです...!!

10年間、石巻市へ行き来していたのお馴染みの道が、こんなに無気味に感じるなんて...!?

この夜は、まるで恐怖の道路をクラウンで逃げていく....

そんなラリーをしているみたいでした...!!

石巻市の日本赤十字病院は、震災発生以来、大変な状況になっていた様です...

到着した私の目に飛び込んできたのは、正面入り口に設置された巨大なテント...

建物に入ると、廊下にもベットが並んでいて物々しい雰囲気です...

石巻圏では最大規模のこの病院に、飛び込んできた患者が相当数だったらしく...

震災直後は、まるで野戦病院の様だったそうです...

搬送されたお袋は、集中治療室で手当を受けていました...

私と父は、控え室で待つことに....

顔を合わす看護師さんたちは、激務の為か皆んな疲れた顔をしていました...

やがてドクターの説明がありました…。

心配無いようです、低血糖が原因だそうです…。

糖尿病の持病がある母が、何故低血糖にと思いましたが…、

極度のストレスと、食事のバランスと食べる量が少なかった為らしいのです…。

震災以来カロリー不足なのに、糖尿病のクスリは欠かさず飲んでいたので低血糖になったようなのです…。

意識を取り戻したお袋を見て、私はホッとしました…。

本人は、石巻市に運ばれたことを聞いてビックリしていました…。

朝方、快復した母を気遣いながら、3人無事にクラウンに乗って多賀城に戻りました…。

東日本大震災…。

これだけの未曾有の大惨事を、まともに味わったのですから…、

どんなに気丈な者でも、精神や体調を狂わせない方がおかしい位です…。

そして、私たちのことを心配した両親には、もうこれ以上負担を掛けたくないと言うのが私の正直な気持ちでした…。

こんな状況で、マーコス2号の修理なんぞ遊んでる場合か…!?

そんな時、気付いたのが全国の知り合いの方々の存在でした…。

SNS『趣味人倶楽部』を通じて、東北以外の方に支援をお願いしてみよう…!

必要なものは、多少高額なものでしたが…、

子供が必要なものや、近々仕事を再開するのに手に入れば助かるものを…、

恥も外聞も捨てて、頼んでみたのです…!

娘の携帯を使ってメールしてみたのです…!

メールを全国の皆様宛に発信すると、直ぐに支援の動きが起こりました...!

有り難いことに、翌々日には発送して下さる方が現れたのです...!

ひろさん、銀ちゃんさん、きまみにすたこらさん、satobooさん、マッシーブルーさん、mouさん、ザウルスマニアさん、矢島金太郎さん、ミナクアさん、R33乗りたいなさん、ピニンさん、のほか全国の皆さんが...

涙・涙・涙...!!

感謝致します...!!

4月に入ると、待ちに待った電気が復旧しました...!

テレビも見られるし、ファンヒーターの暖房が使えます...!

懐中電灯の灯りが頼りだった夜が、照明が点いて久しぶりに煌々と明るい団らんが返ってきました...!

少しですが、営業を再開した店が現れました...!

ですが、ガソリンは相変わらずでした...。

水も出ません...。

翌日分のガソリンを手に入れる為に、自転車で仙台まで行って並んだら...

目の前で整理券が無くなってガッカリした日もありました...。

やっとの思いで給油しても、もったいなくてクルマを使う気になりませんでした...。

それでも、数日後にはガソリンが普通の並に入れられるようになりました...。

そこで、いよいよマーコス2号の試運転をしたのです...!!

ブロッ、ブロブロッ、プロロロロロッ〜!!!!!!!

諦めないで手を掛けた毎日でしたが、こうしてまた走れると思うと夢のようです...!!

▼実家の南側、テラス脇に残っている津波の痕跡です。
ここまで押し寄せて、床の上に浸水しなかったのは奇跡かも知れません。







[18] 「復活した愛車」

ガソリンが誰でも給油できるようになった4月初め....

待ちに待った、マーコス2号の試走行をしました...!!

本当は、もっと早く走りたかったのですが....

「こんな非常時に、そんな目立つクルマで走ると石ぶっつけられるぞー」と....

親父に止められていたのです...(笑)。

一時はどうなるかと思いましたが、再び走れる日が来ることを信じていました....。

ブロッ、ブロボロッ、プロロロロロッ〜!!!!!!!

マフラーから水が滴ることは無くなりましたが....

ブロボロッ、パチンッ!!!!!!!、パンッ!!!!!!、パチンッ!!!!!!!

突如、バックファイヤーと共に燃調がおかしくなってしまいました...!!

マーコス2号を道ばたに停め、キャブの調整をしても....

走り出すと、また....

ブロボロッ、パチンッ!!!!!!!、パンッ!!!!!!、パチンッ!!!!!!!

これには困ってしまいました....。

やっぱり、海水の影響なのでしょうか...!?

と....

「再来週になりますが〜、
Miyabiさんの家に、支援物資を届けますからッ〜。」

それは、神奈川県のもうさんからのメールでした...!!

私は思わず耳を疑いました、だって走って来るといのですもの...!!

コリャ困った、もうさんに調子が良いマーコス2号を是非見せなきゃ...!!

そこで、繋がったばかりの家の電話から…、

クルマ屋さんに、トラブルの件を尋ねようとしたら…、

「マーコス、水を被ったのー？
海水に浸かったら、もう直せないわよー、
無理無理、即、廃車よー！
飾っておきなさいー！」

…と、言われて、思わずカーッとになりました…!!!!!!!

クソッ!!!!!!!、自分で直してやるッ…!!!!!!!

これで火が点いた私は…、

マーコス2号を、意地でも直してみせると誓いました…!!!!!!!

ブロッ、ブロブロッ、プロロロロロッ～!!!!!!!

走らせながら、不調の原因をつきとめようと…、

ブロブロッ、パチンッ!!!!!!!、パンッ!!!!!!!、パチンッ!!!!!!!

またです、突如吹き返しましたが、キャブが悪いわけでは無さそうです…。

どうもヘンです…。

エンジンフードを開け、道端で得体の知れないクルマが停まっています…。

路上トラブルは、過去20回は経験している私ですが…、

やっぱり人からジロジロ見られるのは照れ臭いですね…(笑)。

何故なのか、燃調が狂ったままでスパークする、やはりデスビか…？

やはりそうでした…!!

デストリビューターとフルトラのアンブとの間にある配線、そのカプラーを抜いてみたら…、

中は海水で湿気っていました...!!

その為に、時折リークしてはスパークが乱れていたのです...!!

カプラ&端子を洗浄し、接点復活剤を塗って、正常に通電させたのです....

遂に、最後まで残っていた電気トラブルが解決しました...!!

後は、キャブレターのセッティングをし直せば...

ブオン!!!!!!!! ブオン!!!!!!!! ブオオオン!!!!!!!!

ブロロロロロロロロロロロロロロッ~!!!!!!!!

ヤッターッ...!!!!!!!!

マーコス2号は、きれいに燃焼するようになりました...!!

その雄叫びは、まるで大津波を蹴散らすかのような勇敢な音色でした...!!

これで、mouさんに会える...!!

これで、9月の『みちのくラリー』にも出れるぞ、きっと...!!

ところが、この後とんでもないことが...!?

▼結局、クルマ屋さんに頼らずに復活することが出来たマーコス2号です。







[19] 「最大余震でも元気を与えてくれた人」

マーコスが一段落したし…、

幹線道路が繋がったし…、

ガソリンが入れられるようになったし…、

被災した石巻市の、自宅と店舗の後片づけに、そろそろ行こうか…？

と考えていた頃の、ある日の晩…、

寝ていたら、もの凄い地鳴りと共に建物が激しく上下動しました…!!

思わず飛び起きたものの、ただオロオロとするだけでした…!!

最大余震が起きたのです…!!

それは、本震より破壊力があつたのです…!!

揺れは収まったものの…、

先日整理したばかりの家財道具が、またも散乱…、

実家の壁の一部が、ひび割れていました…。

そして何より、またもや停電になってしまいました…。

悲しいことに、一度は片付けたラジオや懐中電灯を再び出して…、

反射式ストーブを、また出してきて…、

寒くて暗い夜、電気のない生活に逆戻りしてしまったのです…。

これには流石にガッカリしました…。

1週間後、電気が再び復旧、そして待ち遠しかった水道が使えるようになりました…!!

私たち家族は、1ヶ月ぶりにお風呂に浸かることが出来ました…!!

いやあ~~~~~!!!!!!!!!

お風呂って、ホント気持ちいいモンですねエ…!!

そして…、

4月16日に、神奈川県のもうさんが、愛車ゴルフで来てくれたのです…!!

早朝出て、遙々こんなに遠い宮城県まで支援物資を届けてくれました…!!

もうさんはとにかく誠実で、親切で本当に頼りになる方でした…!!

感謝感激です…!!

勿論、全国の皆様からも様々なものを頂きました...!!

でももし、自分が支援する側だったら、mouさんみたいに遠路届けたり出来るだろうか...!?

やっぱり、なかなか出来ることでは無いと思います...。

mouさんには勿論、直ったばかりのマーコス2号を見て頂きました...!!

そしてお帰りになる前に、こんなやり取りがありました...。

「mouさん、9月の『ツールド・みちのく』に....、
マーコスで出るつもりなんですけど....、
家内にナビ頼もうか、まだ言ってないんですよ...。」

「へえ、そうなの~。
自分がナビしてもいいよ~。
でも、奥さんにキチンと話してみたらどうですか~。」

「そ、そうですね...!!」

彼のお陰で、何だか元気が湧いてきました...!!

そうです、勇気を出して話したのです...!!

家内に....

「今年の9月、盛岡で開催の『ツールド・みちのく』に一緒に出ないか...!!」

返事は、OKでした...!!

ホッ....。

それからもう一つ....。

近い内に、『趣味人倶楽部』のクルマ仲間同士で集まる約束をしました...!!

mouさんが、呼び掛けるそうです...!!

それも楽しみです...!!

mouさん、元気をありがとう...!!

▼ツーショットです。(写真は、mouさんの日記より転載。)



[20] 「家の後始末と小さな命」

4月中旬....

古新聞を数十冊、ポロタオルを数十枚、ダンボール箱を十数個、ゴミ袋と透明なビニール袋を数十枚、水を入れたペットボトルを何本も、それから....

カップ、長靴、ゴム手袋、マスク、ティッシュ、スコップ、ノコギリ、バール、ハンマー、ドライバー、etc....

これらの荷物を、サターン号のトランクに積んで....

家内と子供、私たち4人は多賀城を後にしました....

被災した石巻の、かつての家の後片づけに向かったのです....

三陸自動車道の一般車の乗り入れが可能となったので、高速道路は多くのクルマが走行しています....

よく見ると、自衛隊や警察の車輛、そして救援物資と書かれた運搬車も数多く走っています....

全国あらゆる都道府県のナンバー・プレートが見受けられました....

石巻市に向かえば向かうほど混んできて、料金所前後では大渋滞になりました....

ようやく目的地に下りる頃には、だいぶ時間をロスしていました....

あれから1ヶ月以上経った、石巻市内....

私たちの目には、街の様子は大きく変わってませんでした…。

見渡す限り延々と続く、ブツ壊れた建物…、

ひしゃげたクルマが、道端に大量に残されていて…、

海水が残っている場所も方々にあり…、

大津波が押し寄せた深い爪痕が、生々しく残っていたのです…。

信号が消えた街は、全国から派遣された警官が手信号で誘導し…、

あちらこちらで自衛隊の方々が、行方不明者の捜索を続けている様子が伺えました…。

空き地や広場では、ボランティアの炊き出しに、人々が並んでいるのも見えました…。

見慣れた近所に近づくと、私たちは何とも切ない気持ちになってきました…。

石巻市築山…。

ここに越してきた年、ナナ(娘)はまだ幼稚園の年齢でした…。

翌春は小学校に入学、ユウヤ(息子)は保育所に預けました…。

当初は、友達ができるかを心配したものです…。

知らない土地に住んで、家内はいろいろ苦労があったようです…。

懐かしい我が家が見えました…。

瓦礫が邪魔で少し離れた場所に、サターン号を止めました…。

降りようとしたのですが、海水が染み込んだ地面は酷くドロドロです…。

長靴に履き替えて、私たちは急ぎ足で向かいました…。

10年お世話になったこの家は、あの津波のからボロ雑巾の様な状態で寂しく建っていたのです…。

海水が天井付近まで達したものの、流されずその姿を留めていました…。

家族は暫し呆然と、表構えを見つめていました…。

私の頭の中では、屋根に脱出したあの日のことが鮮明に思い返されました…。

買って1年しか乗らなかった家内の軽自動車、ネイキッド号が…、

よそのクルマの上に乗り上げたまま、子供部屋に頭から突っ込んでいました…。

長い間通勤に使っていた、ホンダジェイド号が…、

10m以上離れた先で、泥に埋もれていました…。

「通帳や、母子手帳、指輪やネックレス、それに、買ったばかりの、ええと」

家内は持ち帰りたい物が、沢山あるようでした…。

勿論、子供たちも是非ここに来たいと願っていたのです…。

それぞれ、この家に来る目的があったのです…。

「ハムスター、ご免ね。」

「亀は…、ボクの亀いるかな…」

家屋の中に入ると、想像を絶する光景が私たちを待っていました…。

ドロドロ!!!!!! グッチャグチャ!!!!!!

何もかもが、臭くて真っ黒のヘドロまみれで何が何だか判らないのです…!!

それに、本来ある場所に、それが見当たりません…。

畳の下から、コタツ、ヒーター、本棚、食器棚、PCラック等が見えました…。

つまり、重量のあるタンス以外は、上下左右が反対になっています…!!

まるで、家の中が洗濯機でクルグルかき回されたかの様でした…!!

私たちが出来ることは....

手当たり次第、掴んでは屋外に運び出す以外ありませんでした....。

信じられない位に堆積した、土汚泥をスコップで掻き出し....

どれもこれもドロまみれ、クソまみれの家財道具を掴んで....

手分けして1つ1つを、家の外に積み上げていきました....。

色々と持ち帰る予定だった家内は、諦めたようです....。

とにかく、何一つとして使い物にならないのです....。

子供たちの鞆や学生服、着る物や、ゲーム機、CDなど、思い出の品々が....

何もかもが、真っ黒で惨めな変わり果てた姿になっていました....。

私は、家族のアルバム、スナップ写真だけは....

なるべく捨てないで持ち帰ろうと、出来る限り拾い集めました....。

「ハムスターの、ゲージがあった。」

ナナは、2匹の小さな亡骸をティッシュで包んで葬りました....。

人一倍、小動物が好きな娘にとって辛い別れとなりました…。

恐ろしい大津波は、私たちの愛していたものを、大切にしてきた物を一瞬にして奪い去ったのです…。

憎い津波を、私は一生恨みます…。

▼家内が乗っていたダイハツネイキッド号と、私が通勤に使っていたホンダジェイド号です。残念ながら、どちらも失ってしまいました。





[21] 「亀の奇跡と店の後始末」

「じゃ、出発するよ...!」

かつての自宅の後始末に....

それから連日、足を運んでいました....

大家さんが、家財道具は外に積み上げて欲しいというので、とにかく家の中が空っぽになるまで後始末をしようと思ったのです....

本来なら、酷く汚れる作業なので大人だけでもいいのですが....

子供たちも手伝いたいというのです....

それに....

「亀はどこ...、ボクの亀...」

まだ、ユウヤの飼っていた2匹の亀が見つからないのです....

自宅ではトイレが使えないので、早めに作業を終わらせてJR石巻駅や役場まで行って済ませました....

お昼ご飯は、国道沿いの空き地にボランティアの方が炊き出しをしていますので....

カレーライスや、そばなど食べれる物は何でも頂いてました....

そんなある日、奇跡が起きたのです....

息子の飼っていた2匹の亀、その水槽が見つかったのです…。

家のあちこちを、しばらく探していたのですが…、

ようやく畳の下から、粉々になったガラスケースが出てきました…。

ということは、2匹の亀は割れた水槽から逃げ出したのではないか…？

私は、残っている畳を1枚ずつ運び出しました、すると…!?

何と、畳と家財道具のしたから、ドロまみれの亀が…!!

間もなく、近い場所に、やはり下敷きになって身動きが取れなくなっていた亀が見つかったのです…!!

「亀…、甲羅だけ…」

息子は、水を張ったバケツに2匹を放しました…、

何と、2匹の亀は、首や手足を少しづつ出したのです…!!

「生きてた…ボクの亀が…」

それは、ちっぽけな命かも知れません…。

でも、2匹の亀は…、

大津波の日から1ヶ月も生き長らえていたのです…。

私たち家族は、暗く落ち込みそうになっていましたが…、

小さな生命の奇跡のお陰で、とても明るい気持ちになれたのでした…。

10年住んだ築山の家は、ピリオドにしました…。

今度は、立町にある店舗の後始末です…。

石巻駅前、かつて漁業が盛んだった頃、それはそれは賑わった場所です…。

特に、アーケード街と呼ばれる立町商店街は、ドル箱商店街…。

船が着く度、電車やバスが到着する度に大勢の人が押し寄せて…、

手に手に買い物袋を下げて帰っていったのだとか…。

しかし、私が開業した時にはそんな面影はとっくになくなっていました…。

シャッター通りと呼ばれて久しいのです…。

そんな立町に、本格中国伝統療法の整体院『Miyabi』をオープンさせたのですが…、

当初は、近辺の商店主らから首を傾げられたものです…。

しかし、評判が評判を生み、口コミが広がって…、

押しも押されぬ人気店になっていったのです…。

ところが…、

こんな駅前通りが、海みたいになろうとは…!?

但し、水の勢いも量も自宅付近に比べればマシな筈です…。

私の私物、貴重品の一部はここ『Miyabi』に保管していたのです…。

それから今後、店舗を移動するにも…、

商売道具が使えるかどうか、気掛かりだったのです…。

自宅の後片づけが終わったので、ようやく『Miyabi』に手を付けられるのです…。

懐かしい『Miyabi』の前に到着すると…、

さすがに、海水は無くなっていますが…、

あの時のまま建物の外壁が店の前に山積みになっていました…。

ひしゃげたシャッターを開け、歪んでもう開け閉めできないドアを恨めしく見つめ…、

思い切って、外に面したガラスをハンマーで叩き割りました…。

ガシャン! ガシャン! ガシャン! ガシャン!

砕いた窓ガラスから、店舗内に入ると…!?

シャーッ!!!!!!!!!!

チョロチョロチョロチョロ〜!!!!!!!!!!

何と、天井の隙間から水道水が滴り落ちて…、

まるで雨の如く、降っているではないですか…!!

私は、目の前が真っ暗になりました…。

▼息子の2匹の亀は、奇跡的に生還を果たしたのです。



[22] 「子供たちの挑戦と新店舗の検討」

シャーッ!!!!!!!!!!

チョロチョロチョロチョロ〜!!!!!!!!!!

天井の隙間という隙間から、雨みたいに降ってくる水道水...!!

1ヶ月半ぶりに足を踏み入れた『Miyabi』の内部は....、

とんでもないことになっていました...!!

屋外の元栓を見つけて締めて、水は止まったものの....、

電化製品やその他大切なものが、水に濡れていたのです...!!

大津波の進入は床上15~6cm程で済んだのに、まさか上からも被っていたなんて...!!

しかも、カビ、カビ、カビ...!!

店の中のあらゆる物が、カビだらけになっていました...!!

仕方なしに、商売道具の1つ1つを雑巾で拭き取る私でした...。

時期店舗を何処にするか....、

新しい店が決まれば、商売道具をそこに移動すればいいのです…。

早めに決めないと…。

と…!?

「Miyabi先生ですかッ〜!？」

「は、はい、ご無沙汰してました…。」

「良かったッ、無事でしたのねッ〜!

早く再開して下さいねッ〜!

私、楽しみに待ってますからッ〜!」

「は、はあ…。」

この様に、シャッターが空いているのを見つけて…、

店舗にいる間、入れ替わりお客様が顔を出すのでした…。

もう、ここを出ていくのに…。

私は、何だか後ろめたい気がしてきました…。

私は一人、店の奥で思わず泣いてしまいました…。

5月上旬、子供たちの生活が大きく変わりました…。

大震災による、遅い遅い新学期のスタートです…。

中2のユウヤは、多賀城市の中学校に転校となりました…。

学校側から、卒業生の使った制服やジャージを提供してもらいました…。

石巻時代は、バレーボールで燃えていたので…、

クラブ部活は、またバレーボール部で頑張りたいとのこと…。

新しい中学で、新しい友達、新しい環境でのスタートです…!!

一方、高2のナナは、石巻の高校を転校したくないと固持…。

新学期も、多賀城市から石巻市まで通うことになりました…。

ところが、JR仙石線は大津波による壊滅的なダメージで…、

代わりに、朝6時発の…、

JR東北本線から、JR石巻線に乗り換えの迂回コースを…、

学校内では最も遠い、遠距離通学に挑戦です…!!

そんな、2人の子供たちの挑戦に…、

私も負けてはいられません…!!

新しい店舗…、

頭の中では、昔から構想がありました…。

それは、仙台市です…!!

出来れば、多賀城市の自宅から自転車で通える範囲で…、

大津波が、押し寄せてこなかった場所を…。

仙台市と言えは…!?

隣の、仙台市宮城野区が浮上してきました…。

ところが、ある不動産に問い合わせたものの…、

震災の影響で、良い物件が見つからないのです…。

地震で建物が壊れていたり、やたら家賃が高かったり、広すぎたり…。

気に入った物件は見つかりませんでした…。

そういえば、ガソリンが不足した時に…、

たまたま通りかかった地域があります…。

あの辺りに、空き店舗はないだろうか…!?

結局、自分の足で探したのです…。

ン…!?

ある店舗の前で、ピンとききました…!!

▼大震災でもくじけず、泣き言一つ言わずに頑張っているナナとユウヤです。
(写真は、4月末に制服を頂いたときに撮りました。)



[23] 「新店舗の決定」

その空き店舗を見た瞬間、直感が働きました…。

南側に面した鉄筋構造の建物は、古いがガッチリしていて丈夫そうです…。

店の前に、2台ほど駐車スペースもあります…。

仙台市宮城野区栄2丁目…、

(元)床屋『髪an』…。

問い合わせようと確かめたら…、

何処かで聞いたことがある業者の名前が…、

『塩釜中央不動産』…。

何と、10年前に…、

親父が家を建てた時の、施工業者でした…!

「何だ、Miyabi君かー、
久しぶりだナー、」

「専務、ご無沙汰してます…!
10年ぶりに、多賀城に戻ってきました…!
実は、床屋『髪an』の物件…、
内部を見せて欲しいんですが…!？」

「ああ、いいよー、
カギ持ってけー、」

と、まあこんな調子で話が進みました…!!

正式には、6月1日からの契約です…!!

遅くとも、6月末にはオープンと目論んでいました…!!

そして、驚いたことに…、

この大家さんは、何と石巻市出身の方で…、

棟続きの隣のスナックのママのご主人も、石巻市出身の方で…、

後で、新たに1台分駐車場を借りたら…、

その土地の持ち主も、何と石巻市出身の方でした…!!

コワッ…!!

店の中は、広々していて使いやすそうです…!!

家内も気に入ってくれました…。

家族も皆、気に入ってくれました…。

あちこちが傷んでいるので、自分で出来るところはなるべく自分で手を掛けることに…、

また、専門家でないと無理な箇所は依頼することで、経費を節約することに…。

とにかく、予算が厳しいものですから…(笑)。

嬉しいことに、大家さんがトイレの工事費用分を出してくれるというのです…!!

実は、和式のトイレを今風洋式に変えたいとお願いしたのです…!!

有り難いことです…!!

石巻『Miyabi』の、アジアなイメージも残しつつ…、

今度の新店舗には、より高級感を漂わせたいと思いました…。

店の内外を見ては、こうしようか、ああしようかと…、

構想が膨らんでいき…、

『塩釜中央不動産』さんには、幾つかのリフォームに絞り込んで発注しました…。

ところが…!?

大工さんをはじめとする職人たちが、震災復興で多忙な為に…、

いつまで経っても回ってこないのです...!!

待てども待てども、新店舗の工事は一向に始まりません...!!

これには参りました...。

止む終えず、石巻『Miyabi』の商売道具をレンタカーで運び出し....

新店舗の奥に積んで置きました...。

自分で出来るリフォームを進めていきました...。

新しい店の名称は....

『Ryu-jin』...!!

▼偶然見つけた、元は床屋だったこの物件を直して新店舗にすることにしました。
ここを見つけた時は、神の啓示に等しいものを感じました。



[24] 「アンナガーデンの誓い」

6月4日、澄み切った青空が広がる、清々しい朝....

私は早起きして、マーコス2号を点検したり磨いたりしていました....。

何故なら今日は、家内と2人きりでドライブだからです...!!

実は、神奈川県から物資を届けて下さったmouさんの提案で....

クルマ仲間同士で、集まることになったのです...!!

目的地は、福島県の『アンナガーデン』...!!

「行って来ます...!!」

「いってきま〜す。」

ブオン!! ブォォォォォォーン!!!!!!!!!!

初夏の陽気で、気温も湿度も遊びに行くのには絶好のコンディションですが....

チョット心配なのは、マーコス2号....。

海水に浸かって以来、初の遠出だからです....。

それから....

夫婦水入らずで出掛けるなんて、何年ぶりでしょう...?

しかも、考えてみれば....

マーコス2号に乗って、2人で遠出するのは初めてのことでした....。

私たちの乗ったマーコス2号は、沿岸部の大津波の被害が見下ろせる仙台南部道路を経て....

間もなく、東北自動車道に流入しました....。

高速道路に入ってもエンジンにあまり負担を掛けないようにと、80~90km/hの巡航速度でノン

ビリ走っていきました…。

ブオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

でも、今年9月に岩手県で開催予定の…、

クラシックカー・イベント『ツール・ド・みちのく』に、出場することを考えれば…、

その前に、思い切って長距離を走っておくのも良いと思ったのです…。

だって、もしクルマにトラブルが発生するなら…、

どうせだったら、早めに壊れた方が良いに決まってますから…(笑)。

ブオン!! プロロロロロー!!!!!!!!!! ブオオン!!

私たちは、途中一度の休憩を挟んで、早々と福島市に着いてしまいました…。

マーコス2号は予想に反して、すこぶる調子が良かったのでホッとしました…。

そして、間もなく目的地に到着したのです…!!

福島市の『アンナガーデン』は、緑の山に囲まれた中腹に…、

その一角だけが、まるでヨーロッパを思わせるようなメルヘンちっくな世界でした…。

ブオン!! プロロー!! ブオン!!

門を潜った脇に駐車、仲間はまだ着いてないようです…。

私たちは、クルマを降りて散策することにしました…。

アンティークショップ、瀬戸物や工芸品の店、地ビール屋などが建ち並び…、

そして、奥にそびえているのが『聖アンナ教会』です…。

「あ、式を挙げているわよ～。」

「ほ、ホントだ…!」

私たちが訪れると、一組のカップルが結婚式を挙げていました…。

幸せそうな若い男女…、

親族や友人と写真を撮っています…。

そうです…、

東日本大震災という、戦後最大の危機的状況下に於いても…、

人間は決して負けない…!!

人々の営みが途切れることは、決してあってはならないのです…!!

この日、永遠の愛を誓い合った若い夫婦を見て…、

20年前の結婚式を重ね合わせた、私たちでした…。

今回の震災では…、

10年掛けて積み上げてきものが、無くなってしまいました…、

かけがえのない、家族の絆までは奪われませんでした…。

何にも無くなってしまいました…、

またこれから、幸せを1つ1つ積み重ねていけば良いのです…。

何も語らなくとも、家内と私はお互いにそう感じていたのです…。

ブルルルルルルルルルル〜〜〜!!!!

ヒュルルルルルルルルルル〜〜〜!!!!

ブブブブブブブブブブ!!!!

やがて、個性的なクルマたちが1台、また1台と....

『アンナガーデン』に顔を出し始めました...!!

「やあー!」「初めましてえ!」

「こんにちは...!」「こんにちは〜。」

▼『アンナガーデン』は、東北道西ICからクルマで10分、福島県福島市南西部の荒井地内の山の中腹にあります。

聖アンナ教会を中心に、欧風の佇まいをした個性的な店舗が軒を連ねています。







[25] 「クルマ仲間」

「初めましてー!!」

「こちらこそ、初めまして...!
直したばかりのマーコスで、家内と来ました...!」

「はじめまして〜。」

「震災で、大変でしたねえ、よくご無事で、」

「いやその...、
悪運が強くてですね...。」

この日、『アンナガーデン』に顔を出したのは...

茨城県のひろさんが、ランエボに乗って、ご友人と同伴...!!

アルファJrザカートに乗った、神奈川県のもうさん...!!

同じく神奈川県の特ライアンフTR3のご友人...!!

さらに、山形県のサブクラさんが、サーブで...!!

そしてインドのアンバサダーに乗った、仙台市のAmbyさんも駆け付けました...!!

茨城県の銀ちゃんさんは、残念ながら都合が付かなかったようです...

私のマーコス2号を加えて...

挙式を終えたばかりの『聖アンナ教会』に、クルマたちを並べました....。

国籍も年式も全てバラバラの、何と個性的な顔ぶれでしょうか...!!

マニアじゃなくとも、一般の観光客も目をバチクリさせていました... (笑)。

私たち8名は...

お互い、初対面の方が多かったにも関わらず...

気さくに話せて、直ぐに打ち解けながら...

美味しい食事に舌鼓を打ちつつ...

クルマにまつわる話を中心に、盛り上がりました…。

ショップで買い物をしたり、飲み物を飲んだり…、

最後は、やっぱりクルマの前でおしゃべりを楽しみました…。

好きなことに夢中になると、イヤなことも忘れてしまい…、

楽しくて、時間が過ぎるのが勿体ないほど…。

家内も、とっても楽しそうです…。

ひろさんが、お連れ下さった方は…、

宮城県出身でしたので、より会話が弾んだようです…。

あんなに楽しそうにオしゃべりしている妻を、久々に見たような気がしました…。

考えてみれば、震災直後の辛く苦しかった生活が何ヶ月も続き…、

臭く汚い瓦礫の山を、ウンザリするほど目にする毎日…、

慣れない環境の変化と、今後の生活の不安が無くなることはありませんでした…。

私も家内も、ストレスが相当に溜まっていた筈です…。

良い天気、素晴らしい景色、美味しい物を食べて…、

素敵な仲間に出会って…、

何よりも、良い気分転換となりました…。

『アンナガーデン』に、家内を連れてきて本当に良かったです…。

ひろさん、サブクラさん、Ambyさん、そしてmouさん…、

本当にありがとうございました…!!

そして、またお会いしましょう…!!

皆さんと別れた後、マーコス2号は復路も順調に走り抜きました…。

病み上がりの長距離走行に、いささか不安もありましたが…、

むしろ、エンジンが軽くよく吹ける様になって調子が上がったのです…!!

これで、少し自信が持てました…!!

それから、長時間狭いコクピットに居て家内は…?

窓を開けて通気を良くしていれば、クルマ酔いはしないようです…。

これなら、9月のクラシックカーのラリー・イベント『ツール・ド・みちのく』に…、

妻に、ナビ・ゲーターを安心して任せてられそうです…!!

この5年、私は『みちのくラリー』に参加する夢を温めてきました…。

本年こそ出場という矢先に突如起こった、東日本大震災…!!

その時は、もう夢の実現は風前の灯火でした…。

しかし、幸運の女神が微笑んだのです…!!

今年、9月開催予定の…、

憧れのクラシックカー・イベントに、憧れのクルマで参加する夢が…、

いよいよ現実になる日が、直ぐそこまで来ているのです…!!

ところが…!?

クラシックカーのラリー・イベント『ツール・ド・みちのく』...

中止...!?!?!?!?!?

▼辛かった日々を一時忘れて、クルマ仲間たちと楽しいひとときを過ごすことが出来ました。







[26] 「新店舗の改装とアーチェリー」

仙台市宮城野区栄2丁目、『Ryu-jin』...!!

この部屋のカギが手渡された日から、そう呼ぶことにした新店舗は...

まず、家内と2人で、隅々まで掃除するところから始めました...

前の床屋時代から積もった、汚れを落とし...

本来なら、床にワックスを掛ければいいのですが...

その前に、奥の壁やトイレの工事が入るので、床磨きは後回し...

外の壁には、赤白青の床屋のサインがあって目障りです...

天気がいい日を狙って、水性ペンキを自ら塗りました...

ホワイトとアイボリーを混ぜて、外壁に似た色を出すのに苦労しましたが...

上手く塗れたようです...!!

表の大きな看板は、カラー鋼板にペンキで書きました...!!

取り付けるのが一苦労...

シワシワになってしまいました...(笑)。

天井からつり下げる照明器具は...

石巻から持ち帰った物に加え、気に入ったものを探してきて...

これまた自分で設置しました...!!

トイレの扉を外して、磨いて...

色を塗って切ったベニヤを、組み合わせて貼り付けたり...

換え室のドアは、クロスを貼ってみました...!!

意外に苦労したのが、家具類です…。

石巻の店で使っていた物が、カビて汚いので…、

洗って乾かして、上からペンキを塗ったり手を加えたりして…、

家具のリフォームですね…!!

カーテンや、ソファカバーなど装飾品は、家内のセンスも生かしました…。

連日、ホームセンターに出入りしましたが…、

当初は震災の影響で、わざわざ遠くの店まで買い求めに行く不便がありました…。

6月から『Ryu-jin』は、2人で毎日少しずつ手を加えていったのですが…、

肝心の大きな工事が始まらないので、効率がすごく悪かったのです…。

業者に依頼した、奥壁のリフォームと、トイレ工事がまだ…。

それが片づかないと、カーペットや畳が敷けないのです…。

それが終わって、はじめて家具類が乗せられるわけですから…。

待てど暮らせど、大工さんは現れません…。

このままでは、店の開店に間に合わないかも知れません…!!

焦っても仕方がないのに、時間だけが過ぎていく毎日にイライラしました…。

それに…、

待ち望んでいた、東北唯一のクラシックカー・イベント『ツールド・みちのく』は…?

支援者に譲って頂いたPCを、自宅に設置し…、

ようやく、ネット環境が整ったところで…、

検索したのですが…、

本年、2010年の大会の概要が見つからないのです…!?!?!?

ま、まさか…、

東日本大震災の影響で、中止か…!?!?!?

落ち込む私でした…。

そんな中で、励まされたのが…、

神奈川県でアーチェリーをやっている、マッシーブルーさんでした…。

彼から…、

アーチェリーの道具が、届いたのです…!!

実はマッシーさんから、幾度も支援物資を送って頂いたのです…。

頭が下がるのは、会社の皆さま方から…、

女性の夏・冬物の衣服を大量に集めていただきました…。

これには、我が家の女性陣が大喜びでした…。

そして、今回はご自身がお使いになっていたアーチェリーの道具を…!!

私は、学生時代からアーチェリー競技を20年もやっていました…。

もう、すっかり忘れていたアーチェリー…、

マッシーさんの弓を握って、そして立ち上がって引いてみたのですが…、

その瞬間に、燃えていたあの頃の感触が蘇ってきたのです…!!

涙が出るほど嬉しくなりました…!!

私は人一倍、反骨精神が強い男です…。

今までアーチェリーは、楽しくてやっていたというより…、

負けて悔しいとか、悔しくてやっていたのです、それが私の生きるバネになっているのです…。

それを、再認識させられました…。

マッシーさん、本当にありがとう…!!

今もそうです、そしてこれからもです…。

悔しいから頑張る自分…!!

どんな困難にも、くじけずに、最後の最後まで、諦めずに挑戦していこう…!!

▼外壁を塗ったり、出来るところはD I Yで乗り切った新店舗、その作業風景の一部です。







[27] 「新店舗Ryu-jinの完成」

新店舗『Ryu-jin』...!!!

6月中の開店を目指して....

夫婦2人、来る日も来る日も準備に追われていました...。

問題だったのは....

遅れに遅れていた、奥の壁とトイレの工事...。

この2ヶ所は、素人には無理なのでプロに依頼したのですが...

待ちに待った、職人さんが手を掛け始めたのは....

6月22日になってからでした...。

ウィイ~イイイイ~イン!!!!!!!!!!

トントントントントンッ、トントンッ!!!!!!

床屋時代に洗面台があった奥壁には、上からコンパネを貼って....

下地を綺麗に仕上げしてから....

ギコギコギコギコギコギコギコギ~!!!!!!

パカッ!

その中央を、微妙な曲線にくり抜き....

可愛い形状の、飾り窓を造ってもらいました...!!

ガガガガガガガガガガガガガガガ!!!!!!

大変そうだったのが、トイレの工事でした...。

古めかしい和式トイレや、タイルを壊して....

ウィー~イイイイ~イン!!!!!!!!!

トントントントントンッ、トントンッ!!!!

板で囲って、綺麗に仕上げて....、

今風の洋式トイレに、交換してもらいました...!!

不動産屋さん、大工さん、内装屋さん、電気工事屋さん、水道工事屋さん、電話会社さん、畳屋さん、火災報知器の業者さん、etc....

新店舗が完成するまで、様々な業者の方々が出入りして....、

多忙な中を、施工して頂いたのです...。

ところが...!?

エアコンが手に入らないのです...!?!?

震災の影響で品不足、夏の需要増と重なってメーカーの製造が追いつかないのだとか...。

夏の暑さに、冷房無しで営業は困難です...!

止む終えず、『Ryu-jin』のオープンは7月12日にすることにしました...。

床を磨いてから、パンチカーペット、センターラグを敷き詰めて....、

施術コーナーに、タタミを6畳を敷いて....、

リフォームした家具を設置して....、

カーテンを下げて....、

細かい飾り付けをして....、

あとは...。

とにかく、私たちは毎日が無我夢中でした…。

毎日、毎日、開店の準備を進めました…。

7月に入って、エアコンも何とか取り付けてもらいました…。

新店舗『Ryu-jin』、ついに完成です…!!!!!!!

気持ちよくてしかも高い効果がある、珍しい中国伝統療法の整体院なのです…。

偶然見つけた、仙台市宮城野区栄2丁目のこの場所に…、

『Ryu-jin』が、いよいよ開店するのです…!!!!!!!

まるで、夢のようです…!!!

オープン前日には、家族でここに集まってお祝いをしました…!!!

新しい仕事場…、

心の片隅にあった、仙台市への進出…、

それが、まさか東日本大震災がきっかけで実現することになるとは…!!!

世の中、本当にわからないものです…。

しかし、ここまで漕ぎ着けたのも…、

家族の応援、全国の支援して下さった方々、恩人の皆様のお陰です…!!!

皆様、本当にありがとうございました…!!!

7月12日、『Ryu-jin』オープンしました...!!!!!!!

私は、やや緊張すると共に...

仕事が再開できたという、大きな喜びに包まれていたことは言うまでもありません...

こんな、ちっぽけな店ではありますが...

夫婦で働くのに適した、夢のある仕事場なのです...

後は2人で、嬉しい時も、苦しい時も、互いに励まし合って...

頑張っていくだけです...!!!!!!!

あれッ...!?

2人で頑張るといえば、東北唯一のクラシックカー・イベント『ツール・ド・みちのく』は...?

本当に、今年は中止なのかな...!?

ケータイも手紙も大津波で流された為、肝心の連絡先が判らないのです...

東北のクルマ愛好家の方々の、誰にも確認が取れないのです...

新店舗が開店して暫く経ってから、私はPCで情報を探したのです...

すると...!?

『ツール・ド・みちのく』の同日に...

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』というイベントが...

代わりに載っていたのです...!!!

▼ようやく完成した新店舗、『Ryu-jin』(仙台市宮城野区栄2丁目、誓渡寺うら)です。

Ryu-jin

ACE

RYUJIN

Ryu-jin
山口県洋装協同

Ryu-jin
7/12(火)
オープン

予約制
10時～17時
2F 7F

Ryu-jin
7/12(火)
オープン

Ryu-jin

RYUJIN
Ryu-jin
Ryu-jin
Ryu-jin
Ryu-jin







[28] 「『プレイ・フォー・みちのく』に出たいッ!!」

開催日は、9月10日(土)・11日(日)となっている...!?

やっぱり、これは『ツール・ド・みちのく』の代替イベントなんだ...!!!

申し込み締め切りは...!?

ゲッ...!?!?!?

もう、とっくに過ぎてるッ...!?!?!?

PCを覗き込んだ私が、突然カエルを潰したような声を出したので....、

家内は怪訝そうな顔していました....。

だって、一大事なんですもの...!!!

5年越しの憧れていた『ツール・ド・みちのく』に、様々な障害を乗り越えて....、

いよいよ参加出来る筈なのに....、

中止だけは勘弁して欲しいと願ってました....。

それが、今年は大震災の影響を考慮して....、

規模を縮小し、違う名称のイベントとして開催するらしいのです...!!!

その名も…、

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』…!!!!!!!

ところが、気付いた時にはもう締め切って、何日も経った後だったのです…!!!

これはショックです…。

しかし、簡単には諦めないのが私のモットー…(笑)。

私は思い切って、実行委員長のミヤノさんの会社を調べて…、

その場で直接、電話してみたのです…!

すると…!?

「もしもし、あ、あの…、ミヤノさんでしょうか…!?

石巻のMiyabiです…!!

マーコスのMiyabiです…!!

あ、あの…、出たいんです…!!

キャンセルでもあったら、交ぜて下さい…!!

是非お願いします…!!」

「Miyabiさん、わざわざ電話ありがとうございます～。

大丈夫ですよ～、数台まだ空きが有りますから～。

直ぐに、実施要項を送りますからね～。」

「ほ、ホントですかッ…!!

良かったぁ…!!」

という訳で....、

58台中、56番目に申し込むことが出来たのです...!!!

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』...!!!!!!!

家内にナビをお願いしました...。

2人で参加することを、家族も喜んでくれました...。

遂に、憧れのクラシックカーのラリー・イベントに....、

マーコス2号で出場することが、決定したのです...!!!!!!!

嬉しさ、そして興奮を隠しきれない私です...。

でも、新店舗『Ryu-jin』の毎日の仕事に、張り合いが出ました...!

どんなに疲れても、ラリー・イベントのことを想像しただけで疲れも吹き飛びます...!

マーコス2号を駆り、競技と移動距離を合わせた約600kmのツーリングが....、

実現する日は、もう近いのです...!!!!!!!

▼9月10日(土)・11日(日)開催の、

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』のポスターです。

Rival cheer run by historic car in IWATE

Pray for Michinoku

ヒストリックカー 復興応援ラン in 岩手

プレイ・フォー・みちのく

『ツール・ド・みちのく2011』代替えイベント 200km チャリティーラリー

参加料の一部を岩手の震災孤児のために「いわて学びの希望基金」へ寄付します。

60台のクラシックカーで復興を応援する。



クラシックカーお絵かきコンテスト開催

- まだ心癒えぬ人々がいる。
- まだ時の止まった景色がある。
- まだ走ることの出来ない道がある。
- 東北に笑顔を取り戻す 1 日 ■



プレイイベント
9/10 SAT
盛岡手づくり村

メインイベント(ラリー)
9/11 SUN
雫石プリンスホテル START

主催:ツール・ド・みちのく実行委員会 共催:盛岡手づくり村
お問い合わせ TEL:090-9035-5202 E-mail: t.d.m@nifty.com 代表 宮野

協力:雫石プリンスホテル・ホテル安比グランド 後援:若手県・財団観光コンベンション協会・盛岡市・雫石町・テレビ若手・IBC若手放送・若手朝日テレビ・めんこいテレビ・NHK盛岡放送局・エフエム若手・読売新聞盛岡支局・朝日新聞盛岡総局・盛岡タイムス・アキュート

8:00 スタート:雫石プリンスホテル→滝沢村→西根峠走り→八幡平パノラマライン→八幡平樹海ライン→八幡平頂上→八幡平アスピーテライン→ホテル安比グランド(軽食)
→沼宮内広域農道→道の駅石神の丘前→盛岡広域農道→名須川町→中央通→14:00 頃映画館通→菜園→開運橋→館坂交差点→盛岡手づくり村 14:30 ゴール

【メインイベント】ということで...

朝8時に、『雫石プリンスホテル』前を30秒間隔でスタート...!

滝沢村→西根焼走り→八幡平パノラマライン→八幡平樹海ライン→八幡平頂上→八幡平アスピー
テライン→

『ホテル安比グランド』で朝食...

午後は...

沼宮内広域農道→道の駅石神の丘前→盛岡広域農道→名須川町→中央通→

午後2時頃、盛岡市の街の真ん中にある『映画館通』の前をラン...!

そしてフィナーレは...

菜園→開運橋→館坂交差点→

『盛岡手づくり村』に、午後2時30分頃からゴール...!

コースは約200kmあるらしいけど、結構な山岳コースと...

日曜日なので、盛岡市内の渋滞が予想され...

気温も高そうだし、暑さと疲労で...

結構キツイんでねの？

ゴール出来るかな...(汗)

という訳で...

マーコス2号に、お乗り頂くナビゲーターの方の為に...

座席にクッション敷いたり...

車内の消臭をしたり...

シュッとすると、車内が涼しくなるスプレーを用意しました...(笑)。

対策は、他にも...?

あ、それから....

高速代は、罹災証明書があるので、無料です...!

▼長距離ドライブを快適にする、ささやかなアイテムの数々です。







[30] 「『プレイ・フォー・みちのく』に行って来ます!!」

『ツール・ド・みちのく』代替イベント...

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』...!!!!!!!

念の為に...

先日、クルマ屋さんにマーコス2号の点検をお願いしたのです...

あの大津波から救い出したことは、既に記述した通りなのですが...

海水に浸かって以来、初めてプロに見てもらったのです...

すると...!?

特に問題ナシ、とのこと...

ホッ...

フレームもサスも、外見上は綺麗でした...

前後のブレーキを分解しても、内部は錆びてなかったのです...

これは、奇跡かも知れません...!!!

初のラリー出場ということで、マーコス2号には...

スペアのファンベルト、パンク修理剤、スモールランプのスペア、ガソリンの携行缶も積みま
した...

オーバーヒート対策として...

ワコーズのクーラントブースターを購入...

これを入れると、ラジエター液のキャピテーション防止に役立ちます...

それから...

自分で作ったMARCOSや、『Ryu-jin』のステッカーを、マーコス2号のテールに貼りました…。

少しは、店の宣伝になるかも...(笑)。

さあ、いよいよです...!!!!!!!

憧れだったクラシックカーのラリー・イベントに挑戦...!!!!!!!

ドライバーは私...!!!!!!!

ナビゲーターは妻が...!!!!!!!

「行って来ませ〜!」

「いきます〜。」

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』

【最終エントリーリスト】（申し込み順）

- 01-1979 メルセデスベンツ450SLC5.0 福島
- 02-1987 BMW M6 仙台
- 03-1963 メルセデスベンツ190SL 花巻
- 04-1973 MG-B 多賀城
- 05-1975 ポルシェ914-4 石巻
- 06-1956 MG-A 花巻
- 07-1965 アストンマーチンDB5 盛岡
- 08-1948 MG-TC 宇都宮
- 09-1971 SAAB99 立川
- 10-1973 BMW3.0S 京都
- 11-1964 ホンダS500 福島
- 12-1952 MG-TD 北上
- 13-1986 フェラーリ モンディアル3.2カブリオレ 仙台
- 14-1969 モーガンプラス8 大阪
- 15-1953 MG-TD2ミジェット 鹿沼
- 16-1985 ホンダ シティカブリオレ 矢巾
- 17-1981 メルセデスベンツ380SL 盛岡
- 18-1953 VW タイプ1 仙台
- 19-1967 マツダ コスモスポーツ 花巻
- 20-1958 MG-A 名取
- 21-1927 ロールスロイス ファントム1 熱海
- 22-1990 ロールスロイス シルヴァースパー2リムジン 仙台
- 23-1956 トライアンフ TR-3 一関
- 24-1958 オースチンヒーレー スプライト 大船渡

25-1969 ホンダS800M 福島
26-1956 オースチンヒーレー100/4 横浜
27-2000 ローバー ミニクーパー 盛岡
28-1972 MG-B GT 栗原
29-1979 MG ミジェット 栗原
30-1965 オースチン ミニ カントリーマン 横手
31-1982 BMW323i 横浜
32-1957 オースチンヒーレー スプライト 鹿沼
33-1970 いすゞ ベレット1600GTR 喜多方
34-1966 ホンダ コニリオ 行田
35-1964 ポルシェ356C 大井
36-1966 ジャガーMkII 相模原
37-1974 いすゞ117クーペ 紫波
38-1969 トヨタS800 多賀城
39-1973 日産プリンススカイラインHT 2000GT-R 盛岡
40-1973 ポルシェ911 盛岡
41-1933 MG-L マグナ 山形
42-1968 MPラッフェル 盛岡
43-1973 セドリック 郡山
44-1969 MG-B 盛岡
45-1973 日産ブルーバードU1600SSSハードトップ 郡山
46-1967 メルセデスベンツ300SE 名取
47-1971 いすゞ ベレット1800GT 奥州
48-1974 MG-B 栗原
49-1984 ホンダCR-X 仙台
50-1989 メルセデスベンツ560SL 矢巾
51-1968 ランボルギーニ イスレロ 宇都宮
52-1972 フェラーリ ディノ あきる野
53-1991 日産フィガロ 山形
54-1969 スバル360 紫波
55-1974 シトロエンSM 蔵王
56-1968 マーコス1600GT 多賀城
57-1990 アルファロメオS.Z. 荒川
58-1970 マツダ コスモスポーツ 黒石

オフィシャル 1978 ロータス エスプリS1 盛岡
サポート ポルシェ911 盛岡
サポート プジョー407 矢巾

※天候等により車種変更の可能性あります。

▼念願のクラシックカーのラリー・イベントに出場することが決まりました。
数々の困難がありましたが、お陰様で実現します。
出発前に準備をしているマーコス2号の様子です。







[31] 「『プレイ・フォー・みちのく』な朝!

ピピピピピピピピピピピッ……♪♪♪♪♪(目覚ましのアラーム音)

9月10日(土)...

『ツールド・みちのく』代替イベント...

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』...!!!!!!!

その日が、とうとうやって来ました...!!!!!!!

夕べは興奮して、なかなか寝れなかった私...

はやる気持ちを抑えながら、早起きしてマーコス2号を点検したり磨いたりしました...

家内はいつも以上に、念入りに化粧をしています...(笑)。

さあ、いよいよです...!!!!!!!

様々な障害を乗り越えて...

クラシックカーのラリー・イベントに、夫婦で挑戦する日なのです...!!!!!!!

ところが、天気予報は...

曇りのち雨の、グズグズの天候を伝えていました...

私はマーコス2号のライトカバーに、黄色のビニールテープを貼り付けました...

愛車のライトは、上からアクリル製のカバーがビス1本で留まっているだけなので、隙間から雨が吹き込むのです...

雨の日に高速走行することを前提に、中が曇らないようにグルリと取り囲む様に貼ったのです...

。

まるで絆創膏みたい...(笑)。

「えッ...!?

こんなに荷物があるのッ...!？」

「だって〜。」

大きめのスポーツバッグにクーラーボックスを、マーコス2号のトランクへ...

実はトランクが2段構造になっているのです...

下部には、ガソリンの携行缶や工具類を忍ばせました...

午前6時30分...

準備万端、整ったところで...

マーコス2号の始動です...!

ブォン!!!!!!!! ブォン!!!!!!!! ブォォォン!!!!!!!!

ブロロロロロロロロロロロロロッ〜!!!!!!!!

一発でエンジンが掛かりました...!

「気を付けてねエ〜!」

お袋が、私たちを見送ってくれました...

「行って来ます...!!」

「いってきま〜す。」

ブォン!! ブォォォォォォォーン!!!!!!!!

今にも雨が降り出しそうな、厚い雲の下...

2人を乗せたマーコス2号は、岩手県盛岡市へ向かって出発しました...!

朝のうちは涼しいですが、これから気温も湿度も恐らく上昇していきだろうと思われま...

私たちの乗ったマーコス2号は、まずは三陸自動車道を北上...

途中から、東北自動車道に流入します…。

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

「朝、一発でエンジン掛かるなんて、キモチ悪いなァ…!?
どこも異常なしなんて、気味悪い…。
こんな時は、良からぬトラブルが起きたりして…!？」

「そうなの〜？」

「ゲッ…!?
スピードメーターが動いてないぞォ…!?
あちゃ…!!
トリップメーターも止まったままだ、コリヤまいった…!!
家を出発していきなり故障とは、トホホ…。」

「そうなの〜？」

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

東北自動車道に入っても、エンジンにあまり負担を掛けないようにと…、

トラックやバスの後を付いて行く、ノンビリとした走りに徹しました…。

多分ですが、80~90km/h位の巡航速度でしょう…。

速度計が作動しないことを除けば、マーコス2号は順調そのものでした…。

しかし、これ以上のトラブルは避けたいものです…。

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

私たちは、長者原SAに一旦寄って小休憩…。

「お土産は、どれにしようかしら〜？」

「ここは、まだ宮城県だよ…(汗)！」

ブオン!! ブロロー!! ブオン!!

再び走り出して…、

午前8時頃...

岩手県の前沢SAで、朝食をとることにしました...

「お土産は、どれにしようかしら〜？」

「もう買うの...(汗)?」

満タンだったマーコス2号ですが、既に1/4が減っていたので...

ここ前沢SAで、1回目のガソリンの給油をしました...

ガソリンといえば...

今回、マーコス2号には緊急用の携行缶も積んでいるのです...

ガソリンの携行缶を積んだのは、元全日本ラリー・チャンピオンの小野寺清之氏のアドバイスでした...

今回の『プレイ・フォー・みちのく』は、八幡平の山岳コースが主体なのです...

彼にコースの概要を説明したところ、念のため予備を持ち歩いた方が良いのでは、との助言を頂いたのです...

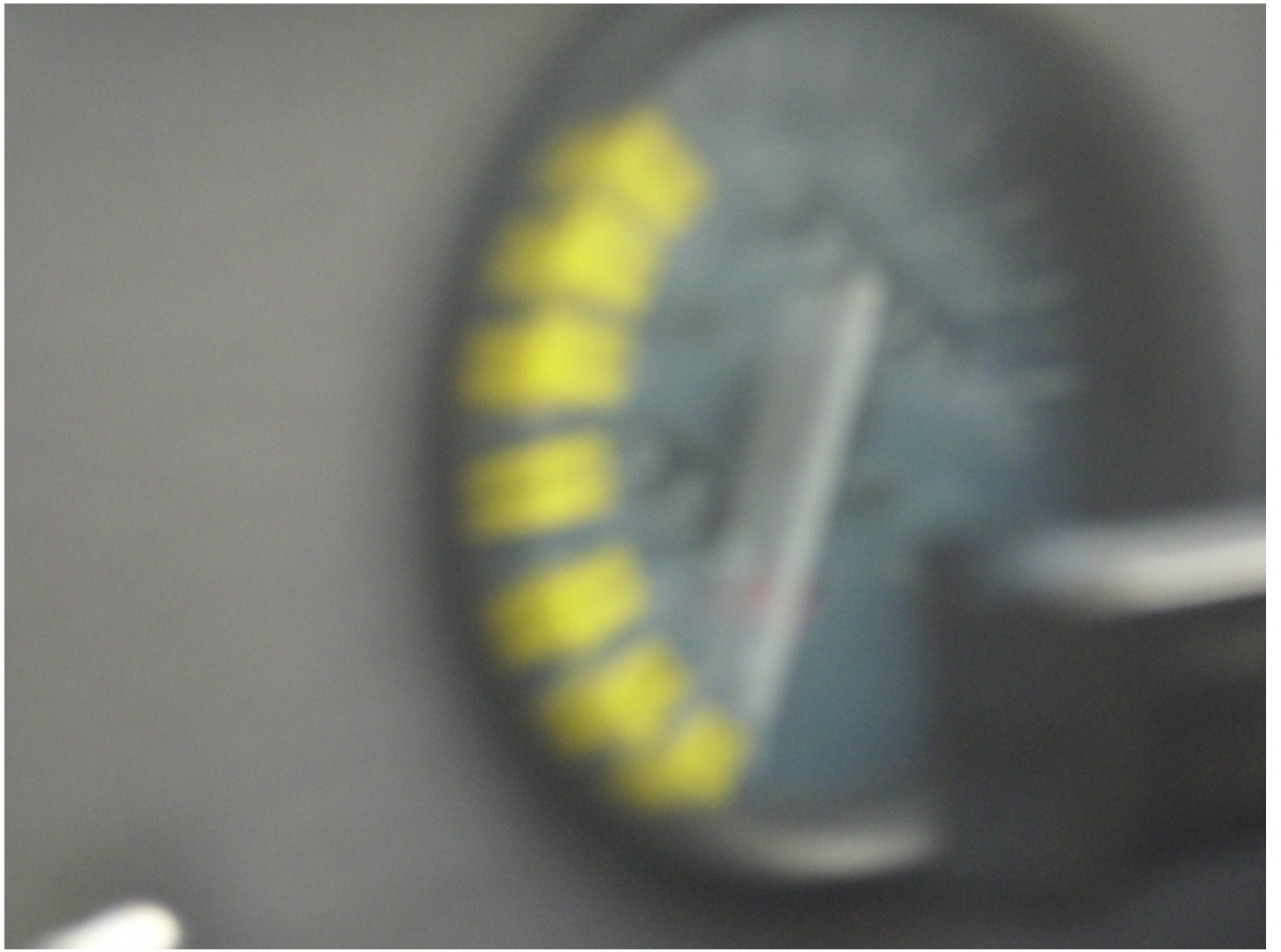
そもそもマーコス2号は、極端にガス食いなのです...

ツインキャブにハイカム、しかも4速ギア+クロスミッションですから、燃費が良い筈はないのです...

今回のラリーでは、山岳地帯に入るとガソリンスタンドが全くないらしいので、ガス欠が心配...

早め早めに給油しておくという作戦なのです...!

▼速度計の故障と、グズグズ天気以外は順調だったマーコス2号、途中で給油の様子です。







とうとう、私たち夫婦とマーコス2号は…、

念願だった、栄えあるクラシックカー・イベントに、登場を果たしたのです…!!!!!!!

スタッフに誘導されるがままに駐車させ…、

ブォォロロー!!

エンジンを切って、ようやくホッと一息つきました…。

「おおッ…!!

凄いのが来てるよ、ホラ見てごらん…!!」

「そうなの〜?」

『盛岡手づくり村』の特設会場に、ズラリと並んだ古今東西の数々のクラシックカーたち…、

直ぐ目に飛び込んで来たのは、80年も前に製造されたロールスロイス…!

他にも、ポルシェ、オースチンヒーレー、ジャガー、メルセデスベンツらの舶来モノが勢揃い…

、

それに、ベレットやホンダS800、コスモスポーツなど懐かしい国産車もいます…!

そして、会場の中央に建っているのが…、

夢にまで見た、スタート・ゲートです…!!!!!!!

赤と白で塗り分けられたスタート・ゲートは、真っ赤な絨毯が敷いてあります…。

ここを潜り抜けてスタートし、そして…、

2日間の激走後、ここをゴールするのか…!!!!!!!

夢にまで見た、スタート・ゲートを見て…、

目頭が熱くなる私でした…。

家内はというと…!?

「お土産は、どれにしようかしら〜?」

「ん...(苦笑)。」

と、前方に見える2人組は…?

懐かしいその風貌は、石巻市でお世話になったクルマ愛好会のA会長と奥様です…。

「A会長さん…!!

奥さん…!!

やっと、やっと出れましたッ…!!」

「はじめまして〜。」

「お〜、Miyabi君来たか〜。」

「ンまー!

Miyabiさん、無事で良かったわネー!」

「はい...(涙)。。。。」

A会長とお会いするのは、震災以来です…。

津波により甚大な被害を受けた石巻市から参加の、A会長ご夫妻…。

強く明るい性格のお2人は、大変な苦勞をしているのにも関わらず…、

そんな様子を感じさせませんでした…。

4人はクルマを前にして暫しの間、談笑に花を咲かせたのです…。

そこには、懐かしさと嬉しさと、そして被災した者同士にしか判らない悔しさが入り交じっていました…。

「Aさんも本当に大変なことでした…。

何と申し上げてよいやら…。」

「大変なのは〜、皆同じさ〜。」

でもマーコス無事で良かったじゃないか〜。」

半年前まで、私たちは石巻市に住んでいました…。

そこから逃げ出して行ったという…、

何となく後ろめたさがあるというのが、私の正直な気持ちです…。

でも…、

優しいご夫妻は、私たちの状況を理解してくれたのです…。

「石巻を出て行っちゃって残念だったけどー、
家が無くなったんだから、実家に帰ったのは仕方ないわよネー!」

「新しいお店、出せて良かったじゃないか〜。」

「はい...(涙)。。。。。」

A会長に、『石巻』ロゴ入りのTシャツを頂きました…。

明日は、それを着て走ることにします…!!!!!!!

その後、大会本部のテントへ、受付の手続きに行きながら…、

『プレイ・フォー・みちのく』実行委員長のミヤノさんにも、挨拶しました…。

雑務に追われ、忙しそうなミヤノさん…。

「こんにちはミヤノさん…!!

マーコスのMiyabiです…!!

無理言って交せて下さってありがとうございました…!!」

「『みちのく』を楽しんでいて下さい〜。」

▼スタート&ゴールの会場となった『盛岡手づくり村』の様子と、
夢にまで見た、赤い絨毯のスタート・ゲートです。







私に強い握手と笑顔をくれたのは、多賀城市在住のA氏(東北MGクラブ会長)です…。

彼は、かつての私のマーコス1号の存在を知っている数少ない御仁なのです…。

携帯を無くした私は、同じ街に居ても連絡が取れずじまいでしたので、盛岡市でご対面となったのでした…。

「八幡地区まで津波来たから、ご実家とマーコスが大丈夫かずっと気になってたんだぞォ!!」

「私たち、実家に帰ってきたんです…!!
10年ぶりに、多賀城市民に戻りましたよ…(涙)。。。。」

マーコス2号に、『No.56』のゼッケンを貼り付けます…。

ボンネットと左右のドアに計3枚、きれいに貼るのはなかなか難しいのですが…、

でも…、

この『みちのく』のゼッケンを纏って疾走することを夢見ていた私にとっては…、

愛車に貼る、この一時は…、

何だか、くすぐったくなるような嬉しさを感じました…!!!!!!!

そんな、『みちのく』のゼッケンに対する私の思いは、家内には解らないかも知れませんが…。

「ねえ、お腹空いたからお昼にしない〜?」

「えッ…!?
まだ11時だけど…!?」

女性にはやっぱり、美味しい物やお土産の方が大事の様です…(笑)。

結局、妻の意見を尊重して、『盛岡手づくり村』内のレストランで食事をとりました…。

レストランの窓から見える、『プレイ・フォー・みちのく』の参加車両たち…。

どれもこれも奇麗に仕上げられてあり、コンディションは甲乙付けがたいと思います…。

これら58台のクラシックカーが…、

午後4時の時報と共に、スタート・ゲートを飛び出して行くのです…!!!!!!!

今日～明日の2日間、これらの旧車たちが一般車輦に混じって一般道に行く訳ですから…、

安全運転を心掛け、しかも古いクルマを壊さないように、慎重に走行するのだろう…、

と、私は想像していました…。

しかしそれは、この『みちのくラリー』をだいぶ甘く見ていたという事に、後で気付かされたのです…(笑)。

受付で渡された、スケジュールに目を通すと…、

そこには、本日のスタート後～栗石までのラン、そして明日は八幡平の山岳コース～盛岡に帰る日程が書かれていました…。

そして、そのコースが描かれた『コマ地図』が何ページにも綴られています…。

数時間後には、この地図を頼りに、ミスコースしないよう注意しながら目的地まで走らなくてはならないのです…。

もし、道に迷ってしまったら…？

それと…、

マーコス2号は、既にトリップメーターが壊れていて動きません…。

勿論、それに加えて何時マシントラブルが発生しても不思議ではありません…。

山岳地帯はとくに、悪天候も予想されます…。

山道のカーブで、家内がクルマ酔いしてしまうかも知れません…。

私たち夫婦は、これから始まる、生まれて初めて望むラリー・イベントを前にして…、

空にドンヨリたれ込める今日の薄暗い雨雲の如く、何だか急に不安な気持ちが襲ってきました…。

不安になった妻が、石巻市でお世話になったクルマ愛好会のA会長に、つい漏らしたのです…。

「あたし、ちゃんとナビ務まるかしら〜？
ちょっと心配で〜、」

するとA会長さんは、こんな返答を我々に下さったのです…。

「ナビが居る、本当の目的はね〜、
運転にアツくなっているドライバーに、指示することによって〜、
冷静さを取り戻させるのが〜、
隠れた大事な役割なんだよ〜。」

なるほど、目から鱗が落ちました…。

▼ゼッケンを愛車に貼る私です。不安定な天候の中、スタート会場の『盛岡手づくり村』には、ぞくぞくとクルマが集まってきました。







[34] 「開催の意義」

私のマーコス2号は、ゼッケン『No.56』…、

つまり、後から3番目のスタートですから、必ず前を走るクルマが沢山いる筈です…。

「前のクルマに付いて行けば、きっと大丈夫だよ…!
気楽に行こうよ…!」

「そうね〜。」

スタートを前にして、ジタバタしても仕方がないのです…。

「何とかなるさ」と開き直った2人、さすがA型人間同士です…(笑)。

…と!?

「あの、こんにちは!」

「僕たち、ゼッケン『No.57』のアルファロメオS.Z.ですー。
後から追い掛けて行きますので、宜しくお願いしますー。」

「こ、こちらこそ…。
私たちも、間違えないように前のクルマにくっついて行くつもりなので…(苦笑)。」

「よろしくね〜。」

彼らも、初参加の様です…。

やっぱり、考えることは一緒なんですね…(笑)。

スタート会場に戻ると、チビッコたちが絵を描いています…。

『自動車お絵かきコンテスト』の真っ最中でした…(笑)。

私のマーコス2号をモデルにして描いている子がいました…。

小2の女の子と、小1の男の子が真剣な顔でデッサンしています…。

邪魔しないように、そーっとしておいて…、

完成したら、いっぱい誉めてあげました…(笑)。

した…。

そして彼らから、今回のイベントの主旨が伝えられました…。

どんな催し物でも、その運営に充たる影の方々の熱意と労力があって成り立つものですが…、

全く一から立ち上げる苦労は、並大抵の事では無かった筈です…。

走るクラシックカーのイベントが不毛だった、この東北に…、

確かな足跡を残し続けている『ツール・ド・みちのく』…!!

しかし、先の震災の影響で、今年の大会は中止に追い込まれかけたのです…。

かつてのコースは、三陸沿岸を走るコースだったそうですが…、

悲しいことに、思い出の道路は震災の直撃をまともに受けてしまいました…。

かつて沿道で手を振り応援してくれた、海岸線沿いにお住まいの方々が、軒並み津波の被害を受け…、

きれいな浜辺も、のどかな漁業の町も、変わり果てた瓦礫の積み上げられた姿になってしまったのです…。

こんな状況下で、『ツール・ド・みちのく』を開催を断念するのは致し方ないと思います…。

そこに、参加者の1人から、こんな時だからこそ復興の応援として開催して欲しいと強い後押しがあったのだとか…。

その方は、TOWAボディの社長さんだとお聞きしました…。

彼は、物静かな御仁ですが、人一倍熱い情熱を持った素敵な方なのです…。

かくして、大会は「復興応援ラン」をテーマに、企画を練り直し…、

『プレイ・フォー・みちのく』として…、

遂に、スタートを切る瞬間を迎えたのです…!!!!!!

マーコス2号の始動です...!

ブォン!!!!!!!! ブォン!!!!!!!! ブォォォン!!!!!!!!
ブロロロロロロロロロロロロロロッ~!!!!!!!!

一発でエンジンが掛かりました...!

かつての世界の名車が、時代を越えて生き延び、そして堂々と走り抜く勇姿を...

世間の人々に披露して、夢と希望を与えるという事は...

大変有意義なことだと思います...!

我々は、どんな困難にもくじげず、必ず乗り越え、強く逞しく生きて行けるのです...!

東北、いや、ニッポン全ての人々の為のプレイ・フォー...

勿論、わたしたち夫婦にとっても新たな人生の出発となる、プレイ・フォー...!

▼クルマを見るチビッコたちの表情はとっても良いですね。
クラシックカーを通じて、人々が夢と希望を掴むきっかけになれば素晴らしい事だと思います。
また、イベント開催を英断した関係者の方々には本当に頭が下がる思いです。







遂に、私たちのマーコス2号はスタートしました...!!!!!!!

ブオオオオオオオオーン!!!!!!!

と、カッコ良くスタートを決めた筈が...

「あれれッ...!？」

「どこ行くの〜？」

「出口はどこだッ...!？」

「あっちだってば...！」

会場の出口を見落とし、赤面しながらその場でクルリと1回転...(笑)!!

今度は、会場を出てから左右どっちか迷って...

結局Uターンして、元の道に戻って行きました...(笑)!!

コースに出る前に、『盛岡手づくり村』内で迷子になっている私たちでした...(笑)!!

これでは、先々が思いやられますね...

そんな訳で、初っぱなからモタモタした為に、前に行くクラシックカーたちは私たちの視界から全く消えていました...

これでは、コバンザメ作戦の手が使えません...(笑)!!

でも....、

「道路標識に『網張』と書いてあるのよ〜、
とにかく、どこまでも『網張』方面に向かって〜。」

「は、はい...！」

何と、我がナビが的確に指示するではありませんか...!

ブオオオオオオオオオーン!!!!!!!







すると、後の1台も負けじと追いつがって来ます...!

まだ夏の名ごりを留める緑豊かな高原地帯の中に刻まれた、なだらかなアップダウンが続く
県道...

右に左に、緩やかなカーブをかわす度に...

水煙を弾き飛ばしながら飛ばす、ヒストリックカーたち...!

前を行く、白い『No.55』シトロエンSM、黄色い『No.52』フェラーリ ディノ、真っ赤な『No.56』
マーコス1600GT、そして白い『No.58』コスモスポーツ...!

残念なのは、生憎の天気で沿道には観光客は1人も居ません...

4台の勇姿を誰も見てないし...(涙)。

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

「シトロエンもディノも、結構飛ばすね...!
置いていかれないようにしなきゃ、コリャ大変だ...!」

「そうなの〜?」

「それにしても、後のコスモもいい走りしてるなあ...!」

「そうなの〜?」

後でお会いしたら『No.58』コスモスポーツのドライバーは、青森県のクラシックカークラブの元
会長さんで、70代後半の方だったのです...!

『プレイ・フォー・みちのく』は、クイズを解きながら走りを楽しむラリー・イベントです...

スピードを競うのが目的ではなく、時間内にいかに正確に走るかを要求される大会なのです...

ですから、恐らく古いクルマを劣りながら慎重に走行するのだらうと、私は想像していました...
。

ところが蓋を開けてみたら...!?

歳を忘れて、皆んなアツい走りをするのです...(驚)!!

▼初日、雨の栗石コースは、ゆとりが無くてあまり写真が撮れませんでした。





クオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

私たちの背後には、東京から参加の黄色い『No.52』フェラーリ ディノがいます…。

彼は今朝、岩手に入って真っ先に、ディノで沿岸部を訪れたのだとか…。

津波で壊滅的な被害を受けた地域を、その目で確かめてきたそうです…。

ブオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

「ほら、『雫石プリンスホテル』の看板が出てきたわよ～。」

「もうゴールだね…!」

クオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

黄色い『No.52』フェラーリ ディノの彼が、何故わざわざ見に行ったのか私は不思議に思っていました…、

やがて、その理由が判りました…。

どうやら彼は、過去の『ツール・ド・みちのく』大会で走った際に、温かい応援をくれた沿岸部の人々の事が気掛かりだったようなのです…。

それで、ここからは遠い太平洋側まで遙々足を運んだのでしょう…。

プロロロッ～!! ブォン!! プロロー!! ブォン!!

1日目のゴールとなる『雫石プリンスホテル』に、ようやく到着した私たち…。

駐車場には、既に多くの参加車両が到着していました…。

マーコス2号を、銀色の『No.36』ジャガーMk IIの隣に停めました…。

「やっとゴールだ…!!!!!!!

良かった、マーコス2号は無事走りきったぞ…!!!!!!!

はあ…、疲れたあ…。」

「着いたわね～。

よいしょっと～。」

ヴォォォォン!! ヴォン!!

間もなく、赤い『No.57』のアルファロメオS.Z.が到着しました…。

「お疲れ様…!!
スタートで『盛岡手づくり村』出る時、左右間違えなかった…?」

「やっぱりですかー。
僕たちも、いきなり間違えましたー。」

「ハハハ…!!!」

「ホホホ〜。」

私は、銀色の『No.36』ジャガーMk IIのオーナーに改めて挨拶をしました…。

「初めまして、マーコスのMiyabiと申します…!!
あの…、有名なTOWAボディの社長さんなんですよね…!
アルファJr.Z.のmouさんから伺っておりました…!」

といった具合に…(笑)。

「やぁ…、マーコスとっても珍しいね…、大事に乗りなさいね…、
ボクは明日走れないんだよ…、メタル打ってるみたいなんだ…、
気を付けてね…、」

残念ながらリタイヤされるそうです…。

宿泊先となった『雫石プリンスホテル』…。

夜7時の親睦会(宴会)では、そのTOWAボディの社長さんからの挨拶がありました…。

彼は…、

この震災時に負けずに開催することは、大変意義の有る事だとおっしゃっておいりました…。

「それではー!!!!!!!
乾杯ー!!!!!!!」

「かんぱーい!!!」「カンパイ!!!」「乾杯〜!!!」
「乾杯…!!!」「かんぱい〜。」

1000年に一度といわれる未曾有の大災害が起こった、この東北に於いて...

クラシックカーでラリー・イベントに参加した58名は、ひょっとしたら...

世間から見れば、大変贅沢な趣味を持った裕福な人種に思われるかも知れません...

しかし、表面だけでは判断出来ないと思います...

その裏側には、これまで何十年も人の目の届かない所で努力を重ねたり、汗水垂らしたて働いて苦勞して築き上げた者も少なくない筈です...

「ふっふっふっふっ!」「ゴクゴクッ。」

「ハハハハ...!」「ワーワー!!!」

例え、時の成功者となり富や財産を手に入れたとしても、今回の大津波のように...

人間が積み重ねてきたものを、一瞬にして奪い去る様なことが起こったとしたら...!?

残念ながら自然災害は、誰にでも降りかかって来ます...

決して人ごとではないのです...

「それでさー、」「エンジンがねえ〜。」

「今度のクルマはさぁ...」「調子がだね」

幸い、私たちには仲間がいます...!

同じ時代に、共通の楽しみを持つ者が...!

それも、クラシックカーをこよなく愛し、一緒に走って楽しむことが出来る同士が集まれば...

例えそれが人間にとって短い人生の、ほんの束の間の時間であっても...

喜びは一生の財産となって、私たちの心に残ることでしょう...!

▼雨の中、1日目のコースを無事走り終えることが出来ました。

宿泊先の『雫石プリンスホテル』では、温泉に浸かって疲れを癒し、夜はお楽しみのお睦会です。

地元歌手の歌のショーや、岩手さんさ踊りまで飛び出しました。







[38] 「2日目、懐かしい香りのする朝」

ブオン!!!!!!! ブオン!!!!!!! ブオオオオン!!!!!!!
ブロロロロロロロロロロロロロロッ~!!!!!!!

霧雨がシトシト降り注いで肌寒い、『雫石プリンスホテル』の駐車場で...

早朝の静寂を掻き消す、粗暴な爆音を伴い火が入ったマーコス2号...!!

9月11日(日)...

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』の...

2日目(最終日)を迎えました...!!!!!!!

朝6時前に起床した私は、まず朝一番に愛車の点検をしたかったです...

一発で始動出来て、ホッとしました...

昨日後半は、雨天走行になってしまったマーコス2号...

ボディに溜まった雨水をタオルで拭き取ったり、アイドリングの調整をしました...

ふと見ると、隣のゴルフ場では芝を整備する車両が稼働しています...

あれッ...!?

この臭い、懐かしいなあ...

雫石の山に生い茂る夏草が、雨に濡れて蒼々とした香りを放っています...

愛車の手入れをしながら、私はある懐かしいシーンを思い出しました...

もう15年も20年以上も昔のことです...

私は、アーチェリー競技に燃えていました...

宮城県の代表選手として東北はもとより、全国各地をアーチェリーの大会で飛び回っていたのです...

幾種類もある大会のひとつに、フィールドアーチェリーという競技種目があります...

フィールドアーチェリーは、野や山に設けられたコースを歩きながら射つというルールなのですが…、

森林で囲まれた中でターゲットを狙っていると、まるでロビンフッドにでもなった様な気分にしたものです…。

若かったあの時も、今朝みたいに…、

山に生い茂る夏草が、雨に濡れて蒼々とした香りを放っていました…。

この臭い、懐かしいなあ…。

イチ競技者として、20年もスポーツで戦ってきた私です…。

クラシックカー・イベント『プレイ・フォー・みちのく』は、勝ち負けを競うのが一番の目的では有りませんが…、

やはり、いい加減な気持ちで取り組んではいけないと思うのです…。

安全で楽しみながら、いい走りをしよう…!

やはりステアリングを握る者として、大会に臨む姿勢が大事ではないでしょうか…。

さて、朝食に間に合うように部屋に戻った私…。

「今日は、このTシャツを着て走るゾ…!
ママの分も貰ったけど…!?!」

「あたしは遠慮しとくわ～(苦笑)。」

濃紺地に白い文字が映えるそれは、石巻のA会長さんに頂いた『石巻』の復興を決意したロゴ入りのTシャツです…!

10年に渡ってお世話になった思い出の町『石巻市』に、ささやかな感謝の気持ちを込めて着たいと私は思ったのです…。

ホテルの朝食会場では、参加者たちが既に各々食べていて…、

ロビーでは、やや慌ただしく出発する準備に追われていました…。

私たち夫婦も、食べた後は早々とチェックアウトを済ませ、外へ出ました…。

再びマーコス2号の元に着く頃、霧雨もほぼ止んでいました…。

うっすらとガスがかってはいるものの、曇りのまざるの天気になりました…。

しかし、気温は昨日を大きく下回って肌寒いのです…。

思わず身震いする家内…。

彼女はカーディガンを着込み、クルマの中で待機する事にしました…。

ブルルルルルルルルルルル!!!!

ブッブッブッブッブッブ!!!!

『雫石プリンスホテル』正面の駐車場いっぱいには並んだクラシックカーたち…。

それぞれエンジンを掛けたり点検をしたりと、出発の準備に余念がありません…。

キュルキュルキュルキュルキュルキュル〜〜!

キュルキュルキュルキュルキュルキュル〜〜!

耳を澄ますと、中には長いクランキングでも一向にエンジンが掛からない車輛がある様です…。

現代のクルマではもうあり得ない現象ですが…、

電子制御装置の無い昔のキャブレター車にとって、気象状況とくに山の天気や気圧は直ぐ影響するのです…。

実は私のマーコス2号は、2日目の険しい山岳コースを睨んで…、

前もって、濃いガス・セッティングにして乗り込んで来たのです…。

それが吉と出るか凶と出るかは、スタートして山を登っていくと嫌でも明らかになる筈です…。

ポッ、ポボンッ〜!!!

どうやら先ほどのクルマが、何とか始動出来たようです…。

パワーを稼ぐためにシビアなレーシング・チューンを施された、私のマーコス2号のエンジンは...

使用する環境に合わせて、まめにジェットの交換等で対処する必要があるのです...

ハイカムで高回転向けの特性に振ってあると、低回転域つまりアイドリングや始動性は極端に悪くなりますから...

そこに今回濃い目の燃調で望むと、始動でカブるのではないかと気になっていたのです...

しかし、今朝のマーコス2号のエンジンはそんな心配をよそに、些かも不安なく始動し、遅しく回ってくれました...

これなら険しい峠でも、きっと良い走りが出るでしょう...!

▼石巻のA会長さんに頂いた、『石巻』の復興を決意するTシャツを着て望みました。

『雫石プリンスホテル』前で、出発の準備をしている各車です。







[39] 「2日目(最終日)のスタート!!」

受付で手渡された、2日目(最終日)の『コマ地図』を開いて見ると…。

何枚にも綴られた冊子に、思わず声を上げる家内…。

「こんなにあるの～?
あら、やっぱりクイズもあるのね～?」

「そりゃそうさ…。」

『コマ地図』には、予想していた通りの険しい峠越え…、

つまり、頂上も含む八幡平に連なる数々の道路が描かれていました…。

合計186.8kmの長いコースです…!!

しかも、途中で仕掛けられた10問のクイズを解きながら走るのです…!!

しかも『SS(スペシャルステージ)』がコースに1ヶ所、待ちかまえているのです…!!

具体的には…、

『雫石プリンスホテル』を出ると…、

滝沢村～西根焼走り～八幡平パノラマライン～八幡平樹海ライン～八幡平頂上～八幡平アスピー
テライン～

『ホテル安比グラウンド』でお昼を食べて…、

沼宮内広域農道～道の駅石神の丘前～盛岡広域農道～名須川町～中央通～映画館通～菜園～開運
橋～館坂交差点～

そして、『盛岡手づくり村』のゴール、というのが詳細です…。

と、そこに…、

「おはようございますー。
僕たち、今日も後から追い掛けて行きますからねー。」

「『No.57』のアルファロメオS.Z.さん、お早うございます…!
私たちも、間違えないように今日も…、
前のクルマにくっついて行くつもりなので…(苦笑)」

雲越しに陽が当たって明るくなり始めた、午前8時15分....

全員が、ホテル脇の本部テント前に集められました....

ここで、ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』の....

正式な開会式が執り行われたのです....

まず、実行委員長のミヤノさんから、本日のランの説明がありました....

そして、東日本大震災で犠牲になられた方々に哀悼の意を表し....

参加者全員で黙祷を捧げたのです....

午前8時45分、深緑に囲まれたのどかな山の朝を....

「3...2...1...、スタートです!」

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』2日目(最終日)の....

最初の1台に、チェッカー・フラッグが振り落とされました...!!!!!!!

ブルルルルルルルルルルル〜〜!!!!!!

サポートカー、そしてゼッケンNo.1、No.2と、30秒間隔で....

観客に見守られながら、クラシックカーたちがスタートして行きます...!

前日と違う点は....

『雫石プリンスホテル』前が、なだらかな下り直線になっていること....

「3...2...1...、スタートです!」







[40] 「クイズを解くのも楽じゃない」

クオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

ヒュルルルルルルルルルルルルーン!!!!!!!!!!

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

今朝の霧雨で濡れて、より深緑色に染まって見える樹木と樹木の間を…、

街中では滅多にお目に掛かれない、年代物のクラシックカーたちがすり抜けていきます…。

私たちの目の前には、白い『No.55』シトロエンSM、銀色の『No.51』ランボルギーニ イスレロ、白い『No.49』ホンダ CR-Xらがいます…。

そして後からは、一緒に走ろうと約束(?)した赤い『No.57』のアルファロメオS.Z.が追ってきます…。

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

「とまれの▽標識があるから、そこを左折ね～。」

「は、はい…!」

早速、ナビの指示が飛び交います…!

2日目(最終日)をスタートした、マーコス2号…。

速度計が動かない以外は、クルマの調子は良さそうです…。

朝の間は外気温が低いのか、車内が少し冷える気がしたので私はヒーターをつけました…。

足下から温かい温風が、そして全開のサイド・ウィンドウから心地よい風が入り込み、涼しくてとても心地良いのです…。

出場前は、むしろ真夏のように蒸し暑くなるのではないかと、オーバーヒートの心配をしていたのですが、うれしい誤算でした…。

愛車のダッシュボードには、自分で取り付けたバイク用のデジタル水温計が有るのですが…、

ラジエーターホースのアップパーで測定する温度は、85℃前後の理想的な水温で安定していました...

。

ブオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

「もう直ぐ、クイズに出題された店舗が出てくるのよ〜!
少しスピード落としてちょうだいね〜!」

「は、はい...!」

「Q1：左の看板の名前は〜?
音楽用語だってよ〜?」

「は、はあ...?」

ナビの指示に従い、やや減速する私...

ブオオオオオー!!!

「あ〜!
ここ、ここ〜!」

「ええと...!?
カ、カンタ...、」

「答えは④の、カンタービレね〜!」

『プレイ・フォー・みちのく』名物の、クイズの第1問を解答した瞬間です...(笑)。

ところで一つ、早めに済ませておこうと思ったのが給油です...

今後、八幡平の山道にはGSが皆無ということを聞いていたので...

山を登る前に、念のため満タンにしておこうと思ったのです...

しかし、ここで車列を離れるということは、道に迷う確率も高くなるということです...

チョットためらいましたが、コースの後半を燃料計を気にしながら走るのはやっぱり嫌なので...

、

GSが目に入り次第、寄ることにします...

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

「今度は、お花よ～!
なんとかガーデンっていう所の前に建ってる看板～!
Q2：看板の写真の花は？だって～!
また、そこでスピード落としてちょうだいね～!」

「は、はい...!」

指示通りに、建物の前で減速する私...

ブオオオオーーー!!!

「え、～っ!?
わかんない～!
これ、②ペゴニアかしら～?
それとも、③リンドウ～?」

「む、難しいね...!
コリャ、花が詳しい人しか解けないよ...!」

室内ミラーをふと見ると、後方の赤い『No.57』のアルファロメオS.Z.が看板の前で突然ストップ
しました...

「あ、レレッ...!?
ヘンだな、アルファロメオS.Z.停まったゾ...!」

「そうなの～?」

キュキュッ～!!!

私たちもクルマを道端に停めて、彼らを待つことにしました...

「故障でもしたのかな...!」

「そうなの～?」

間もなく発車し始めた赤い『No.57』のアルファロメオS.Z....。

何事もなかったように走って来るので、私たちもクルマを出しました....。

「何があったのかな...!?!」

「どうしたのかしらね~?」

後で、彼らに真相を尋ねたら....、

クイズの出題の、花の種類が判らなかったので....、

クルマを停めて、看板をカメラで撮影していたとのことでした...(笑)。

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

県道を進むと、私たちは滝沢村に入りました....。

この辺りには建物が幾つも建ち並び、小学校や中学校もあります....。

やがてコースは国道に入り、一般車両などが行き来する中を進みました....。

程なくして、1つのGSが見つかりました....。

「よしッ、ここでガソリン入れよう...!」

「そうなの~?」

プロロロッ~!! ブォン!! プロロー!! ブォン!!

突如、得体の知れないクルマが入ってきてGSの店員がポカンとしています....。

「ハイオク、満タンお願いします...!!」

これでマーコス2号、3回目の給油です...(笑)。

クオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

赤い『No.57』のアルファロメオS.Z.や、その後の白い『No.58』コスモスポーツも私たちの居るスタンドを通り越していきました…。

「あ～、
みんな行っちゃった～。」

「仕方ないさ…。
これで、きっと我々がビリだろうね…。」

ブオン!!!!!!!! ブオン!!!!!!!! ブオオオン!!!!!!!!
ブロロロロロロロロロロロロロロロッ～!!!!!!!!

隣で給油しているご婦人が呆れた顔で見えていましたが、きっと暴走族だと思ったことでしょう…(笑)。

～ありがとうございましたーッ～!

滝沢村じゅうに響き渡るじゃないかと思うくらいの爆音を蹴散らかせて、発進するマーコス2号…!!

しかし、前にも後にもクラシックカーたちの姿は、どこにも見えません…。

ブオオオオオオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!

スロットルペダルを開けて、加速する私…!

「クソッ、ここから追い上げて皆んなに追いついてやるゾ…!!」

「でも、その前にクイズがあるから～、
そんなに飛ばさないでよ～!」

先を急ぎたい私と、クイズを正確に解きたいナビとの間に葛藤が生まれたのです…。

ブオオオオオオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!

「ええと～、
運転免許試験場の向かい側に～、
あれ、あれよ～!
今度は、動物病院の看板なの～!
Q3：ペアの動物は? だって～!」

「え…?」

「あ～、②犬と猫かしら～？」

「さ、さあ...？」

看板の前で、殆ど減速しなくなった私...

クイズの解答は、視力の良い家内の動体視力に頼ったのでした...(笑)。

ところが...

ブオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

「あ、あらら～!?

おかしいわね、無いわ～!?

Q4：いこいの村キツツキ vs 国際交流村ふくろう、多いのはどっち～、

看板が見つからなかったわ～!?」

「えッ...？」

「通り過ぎたみたい～。

がっかり～。」

「...。」

▼クイズを解きながら走るランは、ドライバーとナビにとっても楽しいものです。

しかし、あまり先を急ぎ過ぎると正確に答えられない様な仕掛けになっていたのです。





[41] 「霧でキリキリ舞い」

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

滝沢村を急ぎ足で駆け抜けた、私たちのマーコス2号…。

焼き走り溶岩流に近づくに従い、上り傾斜の道が増えてきました…。

そして、山岳コースに深く入りつつある事を伺わせるように…、

濃い霧が立ち込めてきたのです…!!

真っ白なガスが、目の前の道路を覆い尽くし…、

行く手を阻もうとしているかの如く、私たちの走りの邪魔をします…!!

「うわぁ…、
進めば進むほど、真っ白だ…!
ドンドン視界が悪くなってきた…!」

「すごいね～。」

ガスで見通しが悪い中に…、

不自然なT字路が出てきて、一瞬たじろぐ私…!

ブオオーン!!ブオン!!プロロロロロー!!

「あゝ レレッ…!?
こっちで良いんだよね…!」

「そうなの～?」

その後も真っ白な霧で視界不良、前方がよく見えないのでキリキリ舞い…。

何度かコースを誤りそうになりながらも…、

「次の標識を左折ね～。
八幡平温泉郷方面に向かって～。」

「は、はい…!」

要所要所は、優秀なナビの指示が飛び交いました…。

岩手山パノラマラインに入って…、

山岳地帯を、慎重ながらも快調に飛ばすマーコス2号でした…。

ブオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

やがて濃霧の中に小さく、どこかで見覚えのあるテールランプが目に入ってきました…。

それは、赤い『No.57』のアルファロメオS.Z.でした…。

「コースは間違っただけか…!
ここからは、アルファロメオの後を付いて行けばいいか…!」

「よかった〜。」

その後ろ姿が見えたときは、正直ホッとしました…。

ところが…!?

私たちに気付いた為か、赤い『No.57』のアルファロメオS.Z.は道端で急にストップしたのです…

。

「もしかしたら、私たちが待ってるのかしら〜?」

「まさか…、
そんな良い人なんか居ないよ…(笑)。」

キュキュッ〜!!!

「どうしたの〜!？」

「お先にどうぞー!」

「えッ…!？」

アルファロメオS.Z.を追い越して、前方に停車した私たち…。

「やっぱりね、せっかく付いていこうと思ったのに...。
コバンザメ作戦出来ないよ...(苦笑)。
ここから山道が続くから、前を走りたくないのかな...。」

「そうなの〜?」

納得して、私たちが発車しようとしたら...

と、その時です...!

シュルルルルルルーッ!!キュキュッ〜!!!

「あのッ!?!?
大丈夫ですかッ!?!?」

「は...!?!」

私たち2台を見つけて、サポートカーが声を掛けてきたのです...。

それは、白いプジョー307と黒いルーフ ポルシェの2台でした...。

「とくに何でもありませんから...、
大丈夫ですから...!!」

と、返答する私たち...。

OKしながら、彼らは前を行きました...。

クオオオオオーンッ!!

シュルルルルルルーッ!!

「...って、
え`え`ッ...!?!
サポートカーが行っちゃうよ...!?!」

「そうなの〜?」

慌ててマーコス2号を発車させる私...。

ブオン!!!!!!! ブオン!!!!!!! ブオオオン!!!!!!!
ブロロロロロロロロロロロロロッ~!!!!!!!

ガスの立ち込める、下倉スキー場の前を横目に...

クオオオオオオオオオオオオオーンッ!!!!!!!

シュルルルルルルルルルルルルルーンッ!!!!!!!

前を凄い勢いで飛ばす、白いプジョー307と黒いルーフ ポルシェの2台のサポートカー...!

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

後を追う私たちのマーコス2号...!

クオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

そして、少し遅れて続く赤い『No.57』のアルファロメオS.Z....!

間もなく、樹海ラインに入りました....。

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

「2台とも、結構飛ばすね...!!

...て、

フツーさあ、サポートカーって後ろを走るんじゃないの...!？」

「そうなの~？」

▼霧のコース中で仲間のクルマを見つけたときは安心しましたが、サポートカーに追い抜かされる始末。







ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

回転が上がり、腹に響く地鳴りのような爆音を轟かせながら坂を駆け上がるマーコス2号...!

「このマーコス2号を侮っちゃいけないよ...!!
こんなヒルクライムが得意なんだから...!!」

「そうなの〜?」

コーナリングで全くと言っていいほどロールしない、マーコス2号...!

極めて低い重心位置と、軽量の車重...!

3,500rpm/hの回転から落とさなければ、十分な登坂能力を発揮します...!

でも、峠の速さの秘密は、それだけではないのです...!

何故でしょう...?

クオオオオオオオオオオオオオーンツ!!!!!!!

シュルルルルルルルルルルルルルーツ!!!!!!!

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

疾走する白いプジョー307と黒いルーフ ポルシェ、そして真っ赤なマーコス2号...!

3台は、坂道を喘ぎ登っている白い『No.28』 MG-B GTをアツという間に抜き去りました...!

また、気が付いた時には、後ろの赤い『No.57』のアルファロメオS.Z.が視界から消えていました...!

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

「ねえ、この古いマーコスがさ...、
現代車、ホットハッチのプジョーと、あのルーフ ポルシェの速いペースに付いて行けるって...、
凄いことだと思わない...!？」

「そうなの〜?」

「まあ、こんな過激な走りで平気で乗ってられるママも凄いと思うけど...(笑)!!」

「だって〜。」

ブォォォーン!!!(ノーブレーキで突っ込み)

ブオン!!!(ダブル・クラッチで回転を上げる音)

ブォォォォォォォォォォォォォォーン!!!!!!!!!!(セカンド・ギアで全開の音)

「ねッ、判る...!?!」

「何が〜?」

「さっきから、全くブレーキを踏んでないんだよ...!!」

「そうなの〜?」

「この走り方はね、牡鹿半島を...、

ミニカ・トッポで何年も走ってマスターしたんだよ...!!」

「そうなの〜?」

ブォォォォォォォォォォォォォォーン!!!!!!!!!!

石巻市に10年住んでいた間...、

私は牡鹿半島(おしかはんとう)を、仕事で往復していたのです...。

そこは、上り下りの急坂と、左右143つもある急カーブが連続しているキツイ道路なのですが...、

恐い者知らずで飛ばす私は...、

ある年、軽自動車による横転事故を起こしてしまったのです...。

そこで、運転技術の未熟さを知った私は...、

基本中の基本である、サーキット走法を学びました...。

ブォォォォォォォォォォォォォォーン!!!!!!!!!!

その後は、安全で速い効率の良い走り方を研究し、腕を磨いていきました...。

その中で最も重視しているのが、コース取りです…。

道幅を左右目一杯使って、アウトインアウトに徹し(反対車線にはみ出ない範囲で)…、

あとはアクセルワークを工夫すれば安全に、しかも速くコーナリングが出来る訳です…。

そうすると結果的にブレーキを多用しない走り、つまりエネルギーロスを最小限抑えて走る走法に辿り着いた訳です…。

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

かくして牡鹿半島の出張は、私にとって峠越えを磨く道場みたいになりました…。

あの頃は、仕事道具を積んだミニカ・トップで毎週半島に出掛けて行っては…、

早朝や深夜、1人でタイムアタックを試みました…(笑)!

安全で速く、しかも効率の良い走り方で峠を走る…!

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

いつしか、牡鹿半島(万石橋→牡鹿支所)(約27km)の峠越えは…、

全くブレーキを掛けないで、しかも安全に速く走るようになったのです…!

こんな芸当出来ますか…!?

ブオオオーン!!!(ノーブレーキで突っ込み)

ブオン!!!(ダブル・クラッチで回転を上げる音)

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!(セカンド・ギアで全開の音)

そして今日…、

『プレイ・フォー・みちのく』最大の難関、八幡平の峠道を…、

マーコス2号を駆使し、殆どブレーキを掛けないで安全に走っているのです…!

クオオオオオオオオオオオオオーンツ!!!!!!!!!!





「遅ッ...!?

クルマから降りて、歩いた方が速いかも...(笑)!?

もう少しで頂上なのにッ...!!」

「そうなの〜?」

この急坂を境にして....

前に行くサポートカーのプジョー307とルーフ ポルシェの姿が、私たちの視界の中でドンドン小さくなっていきました...!

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

「八幡平頂上レストハウスの看板だ...!!

もうチョットだ...!!」

「そろそろ着くのね〜。」

ところが、頂上は目と鼻の先だというのに、マーコス2号は苦しそうに喘ぐばかりで....

まるで壁の様に立ちはだかる急斜面を、ノロノロしか登らないのです...!!

ブオン!!!ブオン!!!(ダブル・クラッチで回転を上る音)

ブオオオオオ...、プ、プスプスッ...、(吹けなくなった音)

3,500rpm/h回転では全く吹けません...!?!?

ブオン!!!ブオン!!!ブオン!!!(ダブル・クラッチで回転を上る音)

ブオオオオオ...、プ、プスプスッ...、(吹けなくなった音)

駄目です、4,500rpm/h回転でも吹けないのです...!?!?!?

ブオオオオオン!!!ブオン!!!ブオン!!!(ダブル・クラッチで回転を上る音)

やっと吹けるのが、5,500rpm/h回転以上...!!!!!!!!!!

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

ローギア(1速)で5,500rpm/h回転以上そのまま、ひたすら我慢の走りになりました...!!!!!!!

「くうーッ...!!!

頑張れッ、マーコスあと一息ッ...(汗)!!!」

「〜。」

薄いガスが立ち込める八幡平頂上に、まるで這いつくばるようにしてジリジリ登り切ったマーコス2号...!!!!!!!

ようやく山頂のレストハウスの門を潜ったのです...!!!!!!!

「カーッ、やっと着いたァ...!!!

頂上だ、頂上に着いたァ...!!!

トイレ...!!!」

「トイレ行きたい〜。」

ブロロロッ〜!! ブォン!! ブロロー!! ブォン!!

410円を支払い、有料駐車場に停車して改めてホッとする私たち...

頂上を登り切った達成感で、何とも言えない良い気分でした...

そこには、先に到着した他のメンバーも居ました...

赤い『No.25』ホンダS800、白い『No.11』ホンダS500...

それに、コスモ小僧さんの『No.19』コスモスポーツらが停まっています...

国産旧車たちは、坂を問題なく上って来れたのでしょうか...?

クルマから降りると、ヒンヤリと肌寒い空気が襲ってきました...

標高1,613mから見下ろす景色は...?

残念ながら辺り一面がうっすら白くて景色がサッパリ見えません...

と、その時です...!?

クオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!

「あッ、赤い『No.57』のアルファロメオS.Z.が...!?
停まらないで通過しちゃった...(笑)。」

「あのひとたちに、抜かされたのね〜。」

やがて、青森の元会長さんの『No.58』コスモスポーツや...、
コスモ小僧さんのお兄さんらが乗る、『No.16』ホンダシティカブリオレも休憩に立ち寄って来
ました...

皆んな、頂上まで来れた安堵感でニコニコしています...

やっぱり嬉しいものですね...

頂上を制覇した記念にと、私たちは...

コスモ小僧さんに頼んで、記念にペア写真を撮ってもらいました...

あとは山を下るだけです...!

フォオオーン!!! フォオオーン!!!

ブッブブルルルルルー!!!

ブロロロッ〜!! ブォン!! ブォン!!

山頂に居合わせた面々の1台1台が、レストハウスを出ていきます...

『No.58』コスモスポーツを先頭に、『No.19』コスモスポーツ、『No.11』ホンダS500、
『No.25』ホンダS800、『No.16』ホンダシティカブリオレが続き...

私たちの乗る『No.56』マーコス1600GTは、後を付いて行くことに...

国産車チームを後ろから眺めるのも、なかなか楽しいものです...

▼最後の最後でキャブレターがグズついたものの、頂上に辿り着いた時には確かな満足感が得ら
れました。

残念ながら、頂上から眺める景色は真っ白で何にも見えませんでした。











[45] 「Special Stageはスペシャルなクルマで!？」

八幡平アスピーテラインを下り終えた私たちは、とある場所で左折…。

間もなくスタッフの誘導で、縦一列に並んで待機させられました…。

ブローン!! ブォン!!

「ここが、SS会場だね…!」

「SSって何なの～?」

ふれあいショップ八幡平の、駐車場に設けられた…、

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』唯一の…、

SSの特設会場(正確には、チェックポイント)では…、

果たして、どんな競技が待ち受けているのでしょうか…!?

前方のクルマから、少しずつ進んでいきます…。

私たちの後方にも、1台また1台とクルマが繋がっています…。

「後に、こんなにクルマが居たなんて…。

あれッ、赤い『No.57』のアルファロメオS.Z.が…!?

抜いていった筈なのに何故か、あんなに後に居たよ…!？」

「あのヒトたち、どこかで休んだのかしらね～。」

どうやら、スタートの合図と共に1台ごとに走って何かを計るようです…。

固唾を飲んで、スタッフの説明を待つ私たち…!

ドキドキドキ…!!!

SSというと…!?

本物のラリー競技では…、

モータースポーツの映像で観た、土煙を上げながらクルマを滑らせたり、ジャンプしたりしながら勢い良く激走するシーンを思い浮かべます…。

ラリーのルート上に、タイムトライアル区間が幾つか設けられているのですが…、

それを『Special Stage／SS』(スペシャルステージ)と呼びます…。

このSSを、全速力で駆け抜けた走行タイムの合計によって、ラリーの勝敗が決まるのです…。

そのコースは、主に林道などの未舗装路であることが多いのです…。

まさか、ここで…、

ガタボコ道を、全開走行する訳じゃないとは思いますが…(汗)!?

と...!?

「競技のルールを説明しますー!」

『停止距離 計測競技』

●20秒以内に、スチロールの壁から『1m手前で停止』してください。

●停車完了でクラクションを鳴らし、エンジンを切る。(安全確保のため)

①STOP!! ②クラクション合図 ③エンジン停止 ④レーザー計測 ⑤速やかに退去

※停車まで20秒越えると失格。ナビは大声でカウントダウン!!

※※車体センターの一番出ている部分で距離を測定。

※※※1mmの誤差でマイナス1ポイント

「要するに、壁の1m前に停まれば良いのね...(笑)!!」

「何～んだ!」

「ハイ、ではスタートして下さいー!」

ブォン!! ブロロー口、口、口、口、口、口口…、
キッ!!

マーコス2号をゆっくりと走らせて、白いスチロール製の壁の前で停める私…。

「え` え` ッ...!?

あまり深く考えたことが無かったのですが…、

何故、前時代的な自動車が好きなのか…？

何故、苦勞して険しい峠道を越えて、何故それが嬉しいのか…!?

恐らく一般の方は、安全で快適な現代車の方が良いに決まってると思うでしょう…。

勿論私も、どこをどうとってても現代車が優れているとは認めます…。

しかし、クルマの進化が、便利さや快適さを追求していった結果が…、

つまらないモノに、なってしまったような気がするのです…。

クルマの技術の進歩は、それはそれは目覚ましいものがあります…。

一昔前では、レーシングカーの様な馬力のあるエンジンが一般のクルマに搭載され…、

安全装置の数々で守られ、誰が運転しても要求する走りが可能になりました…。

初心者マークのビギナーが、280馬力もあるクルマが運転できるのですから…。

でも、誰でも要求する速度が手に入る代わりに、運転技術が未熟なドライバーが増えたような気がします…。

時々見掛けるのですが…、

結構なスピードでカーブを曲がっているのに、ブレーキを平気で踏むクルマがいるのです…。

こんなことを、昔のクルマでやったなら…、

後が滑って、酷いとガードレールにキスすることになります…。

知らず知らずに危険な速度域になっていても、麻痺しているドライバーが増えているような気がします…。

現代車のスタビリティのお陰で速く走れているだけ、つまりクルマに乗せられているということではないでしょうか…。

その点、旧車は…、

ローテク…(笑)。

速く走らせるには、ドライバーの技量が要求されたのです…。

良い走りをするには、セオリー通りの正しい走り方をする必要に迫られると私は思います…。

ですから、上手に走らせられたときは…、

ヤッタ...!!

みたいに嬉しくなるのです...

例えるなら....、

クラシックカーは、楽器のようなモノ...

良い音楽、良い音色を出すにはワザを磨く必要がありますよね...

同じ楽器を与えても、弾き手によって個性が現れるように....、

昔のクルマも、操り手によって走りに差が現れるような気がするのです...

▼ふれあいショップ八幡平に設置された、SS特設会場に並ぶクルマたちです。

田

それにしても、ヤルなあ...!

2人とも結構飛ばすね...!？」

「そうなの～？」

ビィィィィィィィィィィィィィー————ンッ!!!!

ヴォォォォォォォォォォォォォー————ンッ!!!!

ブォォォォォォォォォォォォォー————ンッ!!!!

MG-A、コスモスポーツ、マーコス1600GT....、

松尾八幡平の田園地帯や、自然休養村の脇をかすめるように....、

カッ飛ばす3台...!!

「一番前の鉄つあんも、年輩の方なんだよ...!

彼は、ミッレ・ミリアにも出場したことがある凄い人なんだよ...!」

「そうなの～？」

「MG-A位の年式だと、四輪ドラムブレーキだから、コーナリング中のブレーキは注意しなくちゃいけないし....、

ノンシンクロだから、発進時に1速ギア入れるのだってワザがいるんだよ...!」

「そうなの～？」

ベテランの2人に引っ張られるカタチで、約15kmをアッという間に走った私たち…。

ブロロッ〜!! ブォン!! ブロロー!! ブォン!!

昼食会場となっている、『ホテル安比グランド』に到着しました…。

霧が立ち込めた駐車場には、既に多くの参加車両が停まっています…。

私は、MG-Aコスモスポーツのお2人方の隣に、マーコス2号を停めました…。

「青森の会長さん、お疲れ様でした…!
凄く飛ばすので私、付いていくのがやっとでしたよ…!？」

「そーかい。」

「初めまして、マーコスのMiyabiです…!
有名な、鉄つあんさんですよ…!？」

「アンタかい、
アノ、赤い変わってるクルマ乗ってンのは、」

と、こんな感じで挨拶したのですが…、

親父よりも年上だと思いますが、お2人共とっても気持ちが若々しい方々なのです…!

日焼けした真っ黒な顔で、とても良い笑顔のオジサマ方でした…!

「ハハハハ...!」「ふっふっふっふっ!」
「ゴクゴクッ。」「ワーワー!!!」

『ホテル安比グランド』の中に入ると....、

もう既に沢山の参加者たちが、食事を各々摂りながら....、

目を輝かせながら、クルマ談義に花を咲かせている様です...。

「エンジンがねえ〜。」「調子がだね」
「それでさー、」「今度のクルマはさあ・・・」

ここに居るメンバーは皆んな、三度の飯よりクラシッカーが好き...!

そして、走ることが大好きなのです...!

と....、

石巻市でお世話になったA会長と奥様が手招きして、私たちをテーブルに招き寄せました...。

「おつかれさまです〜。」

「A会長さん、奥さん、お疲れ様です...!
いやあ...、何とかここまで来れましたッ...!
結構キツイ峠越えでしたね...!?
後は、ゴールするだけですわね...!？」

「Miyabi君どうだい、病み付きになりそうだろ〜。」

でも、これが本来なら2日間を目一杯走るんだよ～。
去年は、この倍の距離を走ったんだよ～。」

「いやぁ...、私にはもう十分な距離ですけど...!？」

「Miyabiさん、モーガンのIさんは大阪から走ってきて一、
これが終わった後、よそのイベントにも参加して一、
それから、海外に行くらしいわよー!」

「え`え`ッ...!?
ホントですかッ...!？」

そこに、さらに1人の男性がA会長に話しかけてきました...。

「山の上でガス欠になっちゃってサ、大変だったヨ!」

ロールスロイスで毎年出場される、静岡のW会長さんです...!

「ファントムIは90L入るンだが、うっかり給油忘れてたんだヨ!
なあにネ、予備のガソリンを急いで入れてネ!」

氏は、日本全国のイベントを戦前のロールスロイスで飛び回っている強者なのです...!

「さっき、静岡のW会長さんの話、聞こえたかい...!?
強者だよ...!」

「うん～。」

ここに居合わせた連中ときたら...

1人1人の笑顔には…、

誰もが、キツイ峠越えを制覇した自慢と誇りに満ちた表情を浮かべている様に見えるのです…。

年式が古いクルマほど、クルマを操るのに高い運転技術が必要になります…。

俺こそ運転が日本一上手、あるいは…、

自分のクルマを誰よりも乗りこなしている、みたいな連中でした…。

いわゆる、強者揃いなのかも知れません…。

「Miyabi君、じゃあね～。
先に出るから～。」

「A会長さん、奥さん行ってらっしゃい…!
我々は、ゆっくりと出発しますから…!」

▼『ホテル安比グランド』前に、ズラリ並んだ参加車両たち。霧の中にクラシックカーが現れたら、とても幻想的です。一般の方も思わず覗いて見たくくなります。

□□□

[47] 「ラスト・ラン!!」

2日目(最終日)午後、スタートする前に....、

『ホテル安比グランド』で、意外な人物に逢いました....。

「やーやーやー、
MiyabiさんーMamiさんー、どうもー!」

「あゝッ...!?
庄司電器の、社長さんじゃないですか...!?
わざわざ、此処まで見にいらしたんですか...!？」

「こんにちは〜。」

この方は....、

『Ryu-jin』の店舗に、エアコンを取り付けてくれた電気屋さんなのです....。

「皆さん、凄いクルマばかりですねー、
Miyabiさんのマーコスも見ましたよー!
いやー、凄いですねー!
ところで、エアコンの調子はその後いかがでしょうかー？」

「お陰様で、エアコンはバッチリです...!
それより社長さん、もう間もなく午後のスタートなんですよ...!
スタートする処を、是非ご覧になると良いですよ...!」

「えー、そうしますーそうしますー!

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』の…、

いよいよ最後のスタートが始まったのです…!!!!!!!

盛岡市までの86km、ラスト・ランです…!!!!!!!

サポートカーを先頭に、30秒間隔で…、

観客に見守られながら、クラシックカーたちがスタートして行きます…!

これまでと違う点は…、

ここに到着した順から先に出発していること…。

「3…2…1…、スタートです!」

ヒュルルルル—————ルルルル—————!!!!

スタートと同時に、豪快に飛ばすクルマ…!

「3…2…1…、スタートです!」

ブッブッブルルルルルルルルルルルルルルルルルルル————!!!!

やっぱり、全開走行で飛び出していきます...!

「3··2··1··、スタートです!」

ヴオオオオオオー————ンヴオオオオオオー————ン!!!!

このイベントの、フィナーレなのです...!

私たちは、どうせだからと....、

慌てないで、最後にゆっくり出発することにしました....。

一番うしろから、皆んなのクルマをゆっくり眺めるのも良いし....、

それより、ラスト・ランをじっくり味わいたいと思ったのです....。

ブロロロッ~!! ブォン!! ブロロー!! ブォン!!

前が進み出したので、最後の発車となる私たちのマーコス2号....、

ようやくスタート地点の手前に並びました....。

安比高原を出て、岩手町沼宮内方面に向かう私たち…。

「とうとう、最後のスタートしちゃったね…。
盛岡市まで、ラスト・ランだね…!？」

「Q6：上から正しい並びは～？
あの、APPIの看板のことね～？
えっと、③だわ～!」

「ん…!？」

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

国道を順調に進む、マーコス2号…。

「庄司電器の社長さん、よく来てくれたよね…。
でもさ、やっぱり…、
クラシックカーのラリーなんて、かなり贅沢な世界だよね…。
一般の人から見たら、きっと夢みたいな趣味だよね…!？」

「そうなの～？
T字路交差点を左に曲がって～。」

「は、はい…!」

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

私たちの目の前には、黒色の『No.02』BMW M6、白い『No.55』シトロエンSM、白い『No.49』ホンダ CR-Xらがいます…。

後は…!?

勿論、誰も居ません…。

だって、私たちが最後尾に出発したのですから…。

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

やがて、なだらかなアップダウンが続く、沼宮内広域農道に入りました…。

「実はさ、今まで黙ってたんだけど…、
マーコス2号にとって…、
これがラスト・ランになるかも知れないよ…。」

「そうなの～？」

ブオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

▼写真は、庄司電器(宮城県利府町)さんが撮影して下さいました。

□□

[48] 「盛岡に向かって出た溜息」

「Q7：この先15番目の標識はどれ～？

ええ～？

この変な黄色い標識の事かしら～？」

「こうして、マーコス2号で…、

『みちのくラリー』に出れたって、やっぱり奇跡だと思うよ…。

津波で家も仕事場も失ったのに、マーコス2号は助かった…。

もし、マーコス2号を石巻市に置いてたら…!?

きっと、助からなかった筈さ…。」

「えっと、まず1つ目～!」

「ん…!？」

ブオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

山を切り開いたように長く繋がる、沼宮内広域農道は…、

行き交うクルマが殆どない、カッ飛ばすのにはもってこいの走りやすい道でした…。

ここを順調に過ぎれば、盛岡市の間近に近づき…、

その先には、『盛岡手づくり村』のゴールが、私たちを待ち構えているのです…!

ところが…。

私たちの前を行く3台は、さっきから同じペースで走っているように見えるのです…。

間もなく農道に別れを告げ、国道に流入…。

白い『No.55』シトロエンSM、白い『No.49』ホンダ CR-Xの2台に…、

ピッタリとくっ付いて、後を追う私たち…。

「Q8：右側の警察署入口石像有りだって～？

ええと～？

この変な石像のこと～？

え`え`～、これ①牛かしら～？

②馬かしら～？」

「あ～あ…。

何年も出るの楽しみにしていた『みちのくラリー』も…、

もうチョットで、終わりかあ…。」

「まさか、④カバじゃないわよね～？」

「馬だよ、きっと…。」

ブオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

「Q9：左側の看板の上の果物は、だって～？

ええと～？

あら、①リンゴと②ミカン③カキ④ナシ

一体、何かしら〜?」

「①リンゴだよ、きっと...。

あ〜あ...。

ゴールしたら、もうオシマイかあ...。」

3台のクラシックカーは国道を離れ、盛岡広域農道に入りました...。

「最後のクイズよ〜!

ちょっとゆっくり走って、左側をよく見てね〜!

Q10：道路脇の赤いポスト。

郵便局ではありません。

①鈴木さん②佐藤さん③高橋さん④佐々木さん、だって〜?

ええと〜?」

「面白いクイズだね...!」

「あ、③高橋さんね〜!

ホホホホホホ〜(笑)!

面白いわね〜!」

「ここの高橋さん、きっと...、

何だか今日はヘンなクルマが入れ替わり立ち替わり来ては、ジロジロ見るなあ...、

なんて思ってるだろうね...(笑)」

長い上り坂に入りました...。

前の2台のペースが落ちてきたので、ここでいよいよ...、

「ホントに楽しかったわ～。
また来年、出たらいいじゃない～。」

「...。」

「出れないの～？」

ブオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

盛岡市に入りました...。

「もう少しで車検が切れるンだよ...。
次の車検は受けなかつもりなんだ...。」

「そうなの～？」

▼盛岡市に向かって南下している様子です。クルマの調子は走り込むほどに良くなっていきました。

□□

[49] 「時代遅れって？」

愛車マーコス2号で、私たち夫婦が出場した....、

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』も....、

いよいよ、大詰めを迎えようとしています...!

そのゴールの前に、本大会だけの特別に華やかなステージが用意されているのです...!

それは...!?

「これから、盛岡市内に在る『映画館通り』を通るんだよ...!

聞いた話では....、

そこの前で、クラシックカーの集団がパレードするのを、ひとめ見ようと....、
大勢の人が待っているらしいよ...!」

「そうなの〜？」

ブオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

「もうすぐ▽止まれの標識があるの〜、

そしたら、右折してちょうだいね〜!

あとは盛岡市街まで真っ直ぐ〜!」

「とうとう、ここまで来たかぁ....。

『みちのくラリー』参加まで、想像を絶するような苦しい事だらけだったけど....、」

ブロロロッー、キキッ!! ブオン、ブオオオオーン!!!!!!!!!!

「ゴールする前に、沢山のギャラリーに手を振られたら....、
きっとジーンと来てさあ....、」

「そろそろ左車線に移っててよ~!
ええと、ツルハ、ファミマ、次にラーメン屋さんがある筈~、
あ、そこそこ~!
盛岡駅方面、左、左~!」

「は、はいはい...!」

ブォン!! ブオオオオオーン!!!!!!!!!!

盛岡の市街地に入って往来するクルマの量も増え、信号待ちも増えました...

渋滞する様になって来ました...

気が付くと....、

私たちの背後には、白い『No.55』シトロエンSMが近づいていました...

中心部に進むにつれ、道路が複雑になってきました...

標識や、道路案内板が幾つも立っています...

それに伴い、俄然忙しくなったナビの仕事…。

次々に、細かい指示が飛ぶようになりました…。

「橋の下を潜って、踏切を渡って～!」

「は、はいはい…!」

「岩手大が両脇にあるの～、

そう、これね～!

真っ直ぐ真っ直ぐ～!」

「は、はいはい…!」

「あ、ダメダメ、右車線に入って～、

そうそう、次の交差点を右折～!」

「は、はいはい…!」

今や、クルマにカーナビは、当たり前のように使われる時代となりました…。

行き先をセットすれば、全く足を踏み入れたことの無い町へだって…、

全く迷わず行って帰って来れるのですから、便利な時代になったものです…。

でも....

地図片手に、ナビが行き先を指示しながら走るドライブは、実にやり甲斐があるものですね....。

ドライバー&ナビ、2人の息がピッタリ合っていないと良い走りが出来ないんですね....。

時代遅れかも知れませんが....、

道に迷いそうになりながらも、ハラハラドキドキしながら走らせるなんて....、

ゲームとしては古典的ですが、それがまた良いんです....。

「何か判らないけど橋を渡って～、
ソフトバンク、ソフトバンク～、
そこ、左よ～!」

「は、はいはい...!
左折ッ、と....、」

ブォン!! ブオオオオオーン!!!!!!!!!!

「ここがそうなのね～?」

「ここが、『映画館通り』だねッ...!!」

私たちは、ようやく楽しみにしていた地点に来たのです...!!

小綺麗な建物が縦にズラリと並ぶ路地に....、

真っ赤なマーコス1600GTと、白い『No.55』シトロエンSMの2台が....、

ゆっくりと滑り込みました...!!

ブロロロロロ〜!

盛岡市の中心部に位置する、全国的にも珍しい『映画館通り』...!

人で賑わう繁華街の大通りと交差するこの通りには....、

何と、『12』館もの映画館が建ち並んでいる...!?

筈だったのですが....、

最近流行の商業施設と一体化されたシネコンに圧されてしまい....、

映画館数が『12』館から減って『9』館になってしまい....、

つい最近には、いっぺんに閉館が相次ぎ....、

とうとう、『6』館になってしまったらしいのです....。

時代遅れになったとは言え....、

『映画館通り』なんて、何てロマンチックな名称でしょうか...!!

そこを、時代遅れのクラシックカーに乗って夫婦で訪れるなんて…、

何てロマンチックなのでしょう…!!

と…!?

ブロロロロロ～!

「え` え` ッ…!?

居ないね…!?

人がサッパリ…(泣)。」

「ちょっと寂しいカンジね～。」

若干、手を振ってくれる方もいました…(笑)。

▼『映画館通り』をパレードするクラシックカー集団(2台)に、手を振る大勢の人々(うそ)。

□□

[50] 「ゴール直前、最大のピンチ!？」

初日の強い雨の中のラン、そして今朝は霧の中の険しい峠越え…。

ドライバーとナビを務めた、私たち夫婦は…、

互いに協力しながら、この数々の難関を突破して…、

ついに、フィナーレを迎える直前までに至ったのです…!!

ゴール地点、それは『盛岡手づくり村』…!!

私たちの乗ったマーコス2号は…、

合計223.4kmに及ぶコースを、もはや終えようとしていました…!!

ところが…!?

ここで私たちに…、

最後にして最大の、試練が待ち構えていたのです…!?

それは一体…!?

ブオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

「おしっこしたい〜。」

「トイレ行きたいね...。」

きゅるるるる〜!(お腹の怪しい様子)

ゴールの『盛岡手づくり村』まで、あと10kmちょっとなのに...、

ピンチの2人...(笑)。

実は、盛岡市に入る手前のコンビニで飲み物を買いました...。

とっても冷えたアイスコーヒーを、グビグビと飲んだら...、

適度な振動で刺激になって...、

キタのです...(笑)。

ブオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

「GSに寄って、4回目の給油しながらトイレ休憩しようか...!？」

「そうね〜。」

きゅるるるる〜!(お腹の怪しい様子)

そもそも、私たち『No.56』は何時ゴールするのが規定になっているのでしょうか...!?

改めて、パンフに記載されたタイムシートを見てみると....

「ゲッ...!?

『No.56』 → 『14 : 58 : 30』 と書かれてるぞ...!?

今、間もなく午後3時になるところだよ...!?

おかしいなあ....

結構飛ばしたつもりなのに、規定の時間を過ぎてるなんて...!?

このタイムスケジュール厳しいよ...!?

「そうなの〜？」

予想より時間的にキツイ、定められたゴール時間に....

動揺の色を隠せない、私たちでした....

ブオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

「仕方ない、このままノンストップでゴールするかッ...!!

『盛岡手づくり村』に着いたらトイレね...!!

それまで、我慢できそうかい...!?

「たぶん大丈夫〜。」

こうして私たちは....

トイレを我慢しながら、ひたすらゴールを目指すことにしました...!!

ブォン!! ブォォォォォォォォォォーン!!!!!!!

「橋を渡りきったら、盛岡駅の手前で右に曲がって~!!」

「は、はい...!!」

キュキュッ!! ブォォォォォォォォォォーン!!!!!!!

「こ線橋を潜って、そうそう~!!
今度は左車線に入って~!!」

「は、はい...!!」

ブォン!! ブォォォォォォォォォォーン!!!!!!!

「交差点を左~!!」

「は、はい...!!」

キュキュッ!! ブォォォォォォォォォォーン!!!!!!!

そして....

「突き当たりを右～!!
あとは、どこまでも真っ直ぐ～!!」

「は、はい...!!」

最後のナビの指示が下ったのです…。

この『プレイ・フォー・みちのく』全般に渡り…、

家内は、実に良い仕事をしました…。

優秀なナビでした...!!

市街地を抜け出し、『盛岡手づくり村』に向かって国道を突っ走るマーコス2号...!!

ブオオオオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

「おしっこしたい～!!」

「トイレ行きたい...!!」

きゅるるるる～!(お腹の怪しい様子)

ゴールを目指すというよりも、トイレを目指す2人...(笑)!!

早くトイレに入りたい一心で、アクセルを強く踏む私...(笑)!!

気が付いた時には....、

後に居た筈の、白い『No.55』シトロエンSMの姿が見えなくなっていました....。

代わりに....、

私たちの前方には、クリーム色の『No.32』オースチンヒーレー スプライトの後ろ姿が見えてきました....。

ブオオオオオオオオオオオオオオオオーン!!!!!!!!!!

「おしっこしたい〜!!」

「トイレ行きたい...!!
こんなに遠かったかなあ...!？」

きゅるるるる〜!(お腹の怪しい様子)

やがて、『盛岡手づくり村』の看板が見えてきました...!!

▼難関の市街地を間違えずに抜け出したものの、最後のゴールまで気が抜けない走りが続きました。

□□

[51] 「無駄な物体!?!のゴール、チェッカーを受ける」

クラシックカーなんか、全く興味の無い方から見れば....

こんな『みちのくラリー』の様なイベントなど、何になるのだ...?

と、思うかも知れません...

ただでさえ、環境破壊やエネルギー問題が世界的に叫ばれているのに....

効率の悪い内燃機関を持ったクラシックカーなど、愚の骨頂と云われても仕方がないのです...

。

最新の省エネ・カーが引っ張りだこの、今日からすれば....

そもそも、クラシックカーなんてモノは、考えてみれば無駄な物体なのです...

しかし、無駄なモノだからといって必要無いモノだと言えるでしょうか...!?

そんな筈はないと思います...

ヨーロッパの自動車は100年の歴史が有るそうです...

ところが日本は、たかだか50年足らず...

しかも我が国では、クルマは大量生産・大量消費の使い捨ての様に扱われてきたのです...

では、旧くなったクルマ、時代遅れのクルマは....

果たして、価値のない無駄な物体に成り下がるのでしょうか...?

クラシックカーは単なる乗り物ではないのです...

それは、ヨーロッパの事情を見れば明らかで....

諸外国では、クラシックカーは価値の有る立派な遺産として認められているということ...

名車と呼ばれるクルマほど、ヒストリーを持っています…。

例えば絵画や工芸品等の美術品と同等に、誰がデザインしたか、あるいは設計者や製造者は誰なのか…、

携わった個人名が明確であるほど、その価値が有るのです…。

クルマが、絵画や工芸品等の美術品と大きく違う点は…、

正規の検査を合格すれば、乗車して道を走ることが出来るということです…。

時代を超えて生き延びてきたクルマを手塩に掛けて、製造当時の様に走らせることが出来たら…、

素晴らしい遺産に違いありません…!

キュキュッ!! ブォォォォォーン!!!!!!!

スタッフに導かれながら、『盛岡手づくり村』特設ゴール会場の入り口に進入する…、

私と妻の乗った、マーコス2号…!!

ブォン!! ブォォォォォォーン!!!!!!!

時計の針は、午後3時8分を少し回ったところです…。

昨日雨の中をスタートした、紅白のゲートが見えてきました…!!

1台前の『No.32』オースチンヒーレー スプライトが、今そこを通過…、

いよいよ、私たちのマーコス2号の番です…!!

マーコス2号は…、

合計223.4kmに及ぶ2日間のコースを、殆どノントラブルで走破…!!

夢にまで見たゲートを潜って、ゴールのチェッカーを受ける瞬間を前に…、

私たちの頭の中は...

これまでの苦しかった様々な出来事や、過去の家族との日々が...

まるで走馬燈のように、回って...

たのですが、それよりも頭の中は...

「おしっこしたい〜!!」

「トイレ行きたい...!!」

きゅるるる〜!(お腹の怪しい様子)

あら、トイレのことで精一杯です...(笑)!!

そして...!!!!!!

プロロロッ〜!! ブォン!! プロロー!! ブォン!!

『盛岡手づくり村』の、夢にまで見たゴール・ゲートをくぐり抜け...

「56番1968年式マーコス1600GT、MiyabiさんMamiさん、
只今ゴール致しました...!」

今まさに、ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』の...

栄光のチェッカー・フラッグを受けました...!!!!!!

「やっと、ゴールだ...!!!!!!」

「ついたのね〜!」

パチパチパチパチパチパチパチ〜!!!!!!(ギャラリー、スタッフ、参加者からの拍手)

プロロロッ〜!! ブォン!! プロロー!! ブォン!!

クルマを停めるなり、トイレに駆け込む2人...(笑)!!

何とか、ギリギリ間に合いました...(笑)!!

「ホッ...。」

「～。」

スッキリして(笑)、何とも言えない清々しい気持ちです...!!!!!!

今はただ、走り終えた開放感に浸っている私たち...。

と、そこに...!?

『盛岡手づくり村』の会場で...

私たちがゴールするのを待っていた人物がいたのです...!

「Miyabiさん奥さんー、お疲れ様でしたー。

いやぁー、ゴールしたマーコス格好良かったですよー。

クラシックカーの大会は、初めて見るんですがー、

良いですねー。」

それは、サーブのオーナー、山形県のサブクラさんでした...!

「サブクラさん...!

わざわざ見に来たんですか...!?

ゴールしたところを見てくれたなんて、嬉しいなぁ...!]

「こんにちは～。

ひさしぶり～!]

クラシックカーという無駄な物体を、2日間走らせた『みちのくラリー』...。

それでも私たちは、5年越しで憧れていたこのイベントに...

クズ鉄のようなボロ車、マーコス2号で出来る限りのトライをしたつもりです...。

では、このイベントを客観的に見た場合...

人はどう感じるのでしょうか...!?

その一つの答えが、サブクラさんの率直な感想でした....。

「この辺りは、
私も、過去にダートラで幾度も走りに来たことことが有るんですが、
皆さんのクルマを見て、
ホントにこれで、あの峠道を越えて来ちゃったの？
大したモンですねー。
凄いなあー。
そう思いましたよー。」

▼サブクラさんに撮って頂いた、感動のゴールシーンです。





[52] 「『プレイ・フォー・みちのく』の絆」

岩手県を舞台に、2日間に渡って繰り広げられたクラシックカーのラリー・イベント...

ヒストリックカー復興ラン in 岩手『プレイ・フォー・みちのく』...!!

私たち夫婦がドライバー&ナビで乗った...

『No.56』1968年式 マーコス1600GTは...

所有して以来の、最も負担を掛ける様なコースに挑んだのですが...

ほぼノントラブルで完走を果たしました...!!

(マーコス2号、また頼んだよ)と...

心の中で、そう呼び掛けた私...

ホッとすると同時に、終わってしまった寂しさを感じてしまいます...

「マーコス、初めてみましたー!」「エンジン見せてもらっていいですか?」
「座席に座らせてもらえませんかあ!!」「マーコス、今まで見たことなかったなア。」

既にゴールを終え、後方に停めていた私のマーコス2号は...

居合わせた参加者や、チビッコなどのギャラリーにモテモテでした...

やっぱり、珍しいクルマですからね...

その一方で...

コスモ小僧さんをはじめ、一部の方々が...

愛車が海水に浸かったエピソードや...

私たちが震災によって様々なものを失い、色んな危機を乗り越えた復活劇を...

ご存じの方が居たので、恥ずかしいやら照れるやらでした...

ヒュルルルルー——ルルルル———!!!

パチパチパチパチパチパチパチ〜!!!!!!(ギャラリー、スタッフ、参加者からの拍手)

スタート&ゴールの特設会場となった『盛岡手づくり村』では...

無事完走を果たしたクルマがゲートを潜る度に、拍手がまき起こり...

車種は多種多様ですが、共に走り切った仲間同士健闘を讃え合っている様子を伺わせていました...

その、会場の中央に建っている紅白のスタート・ゲートを何度も見つめてしまう私...

つい先ほど、この真っ赤な絨毯の上を...

このマーコス2号に、妻と2人乗ってゴールしたなんて...

未だに信じられない気持ち、何だか夢を見ているようです...

そして、目頭が熱くなる私でした...

一方、家内は...!?

ゴールを見届けてくれた、山形のサブクラさんと話をしたり...

すっかり仲良くなった、『No.57』アルファロメオS.Z.の方々とお喋りに夢中...

何人も知り合いが出来て、とっても楽しそう...

今大会、『プレイ・フォー・みちのく』は...

初日の強い雨、霧の中の険しい峠越えという過酷な条件下でしたが...

腕自慢の走り屋にとっては、タマらないコース設定で...

ラリー気分を、十分に満喫出来た筈です...!!

ブブブブルルルルルルルルーッ!!!

パチパチパチパチパチパチパチ〜!!!!!!!!!!!!(ギャラリー、スタッフ、参加者からの拍手)

どうやら、ここ『盛岡手づくり村』に、無事ゴールを果たした最後のクルマが入ったようです...

。

途中、クラッシュして痛々しい姿のまま完走を果たしたクルマもありました...

中には、ゴール直前にドライブシャフトが折れてしまったクルマまで出たそうです...

聞いた話では、最終的に58台中9台がリタイヤ...

過去最悪の、過酷な大会になってしまったとのこと...

一方で、愉快的クイズや、微笑ましいSSも備わった盛り沢山のアイデアで...

ドライバーだけでなく、ナビや同乗者も一緒に楽しめる充実したイベントでした...!!

夢と感動のステージをありがとう...!!

閉会式が始まりました...

実行委員長のミヤノさんから、成績発表...

そして引き続き、第1位から第3位までの表彰です...

クイズの得点からSSの誤差を差し引いたポイントで、総合成績が決定された様です...

表彰台に立った方々、皆んなとっても嬉しそう...!!

やがて、プログラムの全てが終了しました...

本当に素晴らしいラリー・イベントでした...!!

「それでは、又!」「また来年。」「来年も『みちのく』でお会いしましょう!」

「お疲れ様ーッ」「来年も『みちのく』でお会いしましょう!」「また来年ね!」







[53] 【最終回】 「本当の勝負はこれから！」

帰宅した翌々日のこと…、

『Ryu-jin』に、ラリーと聞いただけでアツク語る人物が来店されました…。

「Miyabiさん～、
それで～、クラシックカーのラリーは如何でしたか～。
マーコスの調子は如何でしたか～。
最後まで走れましたか～。」

「ほう～、ノントラブルで～。
それは何よりでしたね～。
私が、ナビ兼メカニックで付いていきたかったんですが～、
奥さんが、ナビばかりだったんですか～。
いや～、それは～、
大したもんですね～。」

「Miyabiさん～、
これを切っ掛けに、本格的なラリーやってみませんか～。
私が、ラリーの走り方教えますから～。
何だったら、一緒に練習に行きますか～。
ラリー楽しいですよ～。」

と…、

全日本ラリー選手権で、3度シリーズチャンピオンという輝かしい経歴を持つ…、

元ダイハツ・ワークスドライバーの…、

『小野寺 清之(おのでら きよゆき)』選手(石巻市)に、祝福を受けました…。

勿論、本格的なラリーはご遠慮申し上げましたが…(笑)。

20世紀最大の発明は、自動車であると云われています…。

確かに、そうかも知れません…。

だって、クルマがあれば自分の思うままに…、

好きな時間に、好きな場所へ移動したり、物を運ぶことが出来るのですから…。

しかし、かつてクルマは高嶺の花だったのです…。

それが、私たちニッポン国の、今の時代に於いては...

私の様な庶民でも、働けばクルマが手に入るのです...

しかも、憧れていた名車でさえ...

頑張れば、手に入れて乗ることさえ可能なのです...

何と幸せな事でしょうか...

私にとって、マーコス憧れの存在...

決して名車では有りませんが...

私にとっては、無くてはならない特別なクルマです...

でも、客観的に見れば、マーコスなんてクルマは...

生活に有っても無くてもいいような、無駄な物体かも知れません...

が、しかし...

小6で出会って以来、私はマーコスが大好きなのです...

そしてなお、昔も今も憧れのクルマであることに変わらないのです...

何故かは、そこに理屈はないのです...

あるとすれば、マーコスは感動するからです...

一目惚れというのでしょうか、初めて出会ってから30年も経つのに...

1号車から10数年ブランクを経て、2号車も入手したのに...

不思議な見る角度によって変化自在するそのスタイルに、30年以上見飽きないのです...

何年経っても、毎日見ている、見るとハッと感動があるのです...

私は、憧れのマーコスに乗れて幸せです…。

私たち家族も、クルマも津波で大ピンチでしたが…、

奇跡の復活を果たせて、とても幸せです…。

そして、憧れのラリー・イベントに夫婦で出場を果たすことが出来て…、

しかも…、

結婚20周年の良い思い出が作れて、本当に幸せです…。

今年ほど、生きているという実感を味わったことは無かったと思います…。

震災で気付いたことは…、

明日どうなるかは誰にも判らないということでした…。

今日の生活が、又明日も手に入るという保証はどこにもないのだと思い知らされたのです…。

所詮、自然現象に人間は勝てないのです…。

考えてみれば人の一生など、ちっぽけでアッという間に終わるものなのです…。

もう一つ、震災で気付いたことは…、

人間は、無駄なことが好きなんだということでした…。

震災直後の避難生活の頃…、

極度に物資が手に入らない生活に、我慢の日々を送らざるを得ませんでした…。

水も電気も食糧も燃料はおろか…、

勿論、クルマも自由に使えない生活は、本当にツラく感じました…。

一見すると、規則正しくて、ある意味において経済的ですが…、

しかし、食べて寝るだけでは、家畜と変わらないのです…。

人は、無駄なことをする為に生きています…。

食べて寝るだけでは、生きていけないのです…。

人は、無駄なものがあった方が幸せを感じるのです…。

人は、ある許容範囲に於いてですが、無駄な浪費が好きなのです…。

水も電気も食糧も燃料も、勿論クルマも自由に使いたいです…。

それは人間だからです…。

では、人は何の為に存在するのか…。

自分は、何故生まれてきたのか…。

私はいつしか、そんなことを心の中で思っていました…。

一昨年前、仙台のかんながらさんの…、

スピリチュアルをテーマに書いた日記を、読んだことがあります…。

私は思わず、目から鱗が落ちてしまいました…。

そこには…、

『人は何のために生まれてきたのか、

それは、

魂が感動するのが目的なのです。

嬉しいことも感動。

悲しいことも感動。

この世で起こること全てに対して、

感動しなさい。』

といったことが書かれてありました…。

感動とは、心が動くということ…。

泣いたり笑ったり、嬉しいことも悲しいことも…、

感動するのは、人間だけに与えられた特徴なのです…。

有り難いことなのです…。

感動するのは、この世に生きている証拠…。

だから、毎日どんな小さなことでも感動することが大事なのです…。

(かながらさん、ありがとうございました…。)

私たちは、震災で辛く悲しい経験をさせられました…。

同時に、それをどう乗り越えるかという課題を与えられたのかも知れません…。

私は、マーコス2号で『みちのくラリー』に出るという目標をバネにして…、

強い気持ちでここまで来れました…。

それを達成した今は、感動で満ちあふれています…。

まさに、生きていればこそ味わえた感動なのです…。

しかし、現実には厳しいものです…。

私たちの生活は、以前に比べると経済的に苦しい状況であることに間違いありません…。

大好きなマーコスも、暫くは車検を通すゆとりがありません…。

でも、それも絶対に乗り越えてみせます…。

幸い、優秀なナビがありますから…。

2人で手を合わせて頑張れば....

また近い内に、マーコス2号で....

『みちのくラリー』に、再び出場できる日が来ると信じています....

本当の勝負はこれからなのです...!!

これからも、クラシックカーという無駄な物体と共に....

私は歩んでいきます....

生きているという、感動を味わうために....

【完】







MARCOS

Rival cheer run by historic car in IWATE
Pray for Michinoku



56

DRIVER

MARCOS

Rival cheer run by historic car in IWATE
Pray for Michinoku



56

NAVIGATER

Revival cheer run by Historic car
Pray for Michinoku
がんばろう東北
ヒストリックカー 復興応援ラン
56
Tour de Michinoku



Pray for Tohoku

ちあがろう！東北！
好きです！とうほく！
ONE FOR ALL

[54] 「お知らせ」

このたび、
「中国式の整体院」
がオープンしましたので、御案内させていただきます…。

『Ryu-jin 瀧口東洋整体院』 (りゅうじん たきぐちとうようせいいたいん)
ホームページ → <http://www.ryu-jin.com>
と申します…。

もし、お体のことが気になっていたら
ぜひ、御利用下さいませ…。

頸椎ヘルニア
ムチ打ち
四十肩
ギックリ腰
椎間板ヘルニア
ひざの悩み

気持ちが良いくて、しかも治療効果の高い
「中国伝統療法」を基にした、
『龍神推拿』 (りゅうじん すいな)
にて、全身施術をします…。

ストレス
肉体疲労
不眠症
頭 痛
肩こり
腰 痛
足の疲れ

『龍神推拿』 (りゅうじん すいな)
とは…?

◆整体・ほぐしを組み合わせた、全て手による技法です。

体中にあるツボを押さえながら、凝り固まった筋肉や関節をゆるやかに動かして、しなやかさを復元させることで、全身の歪みを正しバランスを整え、血液の循環を促すと同時に、気の流れを良くするのが目的です。

◆優しく「自然かつ無理がない」ので、気持ち良く「リラックス」が出来て、しかも「高い治療効果」が有ります。

◆お一人ごとに、体の状態に合わせ「オーダーメイド」で施しますから、どなた様にも「安心」して受けて頂けます。

【施術料金】

初めの方……7,000円 (約90分)

2回目の方……6,000円 (約75分)

3回目以降・・・5,000円(約60分)

【割引】

パプーの電子書籍『みちのくラリー参加への道』を、読んで頂いた方には
3回まで 男性の方→500円引き 女性の方→1,000円引き
と、させていただきます。

【予約制】

TEL 022-259-4088

【駐車場完備】

店頭2台可能

【受付時間】

あさ9時から
よる8時まで

【定休日】

無し(日曜祝日も営業します)

Ryu-jin 瀧口東洋整体院

〒983-0011 宮城県仙台市宮城野区栄2-1-18 (誓渡寺うら)

予約優先制 TEL 022-259-4088

『Ryu-jin 瀧口東洋整体院』 (りゅうじん たきぐちとうようせいいたいん)
ホームページ → <http://www.ryu-jin.com>







